

札幌市ヤングケアラーに関する実態調査業務 報告書

令和4年1月

札幌市

目次

I 調査の概要	3
1 調査目的	3
2 調査構成	3
II 中高生の生活実態に関するアンケート調査	4
1 中高生の生活実態に関するアンケート調査 実施概要.....	4
(1) 調査対象	4
(2) 調査方法	4
(3) 調査期間	4
(4) 回収状況	4
2 中高生の生活実態に関するアンケート調査 調査結果.....	5
(1) 基本情報	5
(2) 家庭や家族のこと	8
(3) ヤングケアラーについて.....	24
3 中高生の生活実態に関するアンケート調査 追加分析.....	26
(1) 家族構成	26
(2) お世話を必要としている人.....	29
(3) お世話の頻度	32
(4) お世話をすることについて感じていること	34
4 中高生の生活実態に関するアンケート調査 自由意見.....	39
(1) お世話をしている家族がいると回答した生徒からの要望	39
(2) ヤングケアラーに必要だと思う支援	40
III 学校におけるヤングケアラーへの対応に関するアンケート調査	41
1 学校におけるヤングケアラーへの対応に関するアンケート調査 実施概要.....	41
(1) 調査対象	41
(2) 調査方法	41
(3) 調査期間	41
(4) 回収状況	41
2 学校におけるヤングケアラーへの対応に関するアンケート調査 調査結果.....	42
(1) 基本情報	42
(2) 支援が必要だと思われる子どもへの対応	43
(3) ヤングケアラーについて.....	48
IV 集計表	61
1 中高生の生活実態に関するアンケート調査	61
2 学校におけるヤングケアラーへの対応に関するアンケート調査	79
V 資料（調査票及び協力依頼文）	89
1 中高生の生活実態に関するアンケート調査	90
2 学校におけるヤングケアラーへの対応に関するアンケート調査	102
3 協力依頼文.....	114

I 調査の概要

1 調査目的

ヤングケアラーは、年齢や成長の度合いに見合わない重い責任や負担を負うことで、本人の育ちや教育に影響があることから実態の把握及び支援の強化が求められている。

本調査は、札幌市におけるヤングケアラーと思われる子どもを正確に把握するため、中学生や高校生、市立学校に対して実態調査を実施し、教育現場や要保護児童対策地域協議会等においてヤングケアラーと思われる子どもを早期発見し、支援につなげる仕組みづくりの検討を行うための資料とすることを目的とする。

2 調査構成

- (1) 中高生の生活実態に関するアンケート調査
- (2) 学校におけるヤングケアラーへの対応に関するアンケート調査

II 中高生の生活実態に関するアンケート調査

1 中高生の生活実態に関するアンケート調査 実施概要

(1) 調査対象

① 中学生

札幌市の市立中学校 99 校に在籍する生徒 (約 43,600 人)

② 高校生

札幌市の市立高等学校 7 校に在籍する生徒 (約 6,300 人)

③ 中等教育学校生

札幌市の市立中等教育学校 1 校に在籍する生徒 (約 900 人)

④ 特別支援学校生

札幌市の特別支援学校 5 校に在籍する中学部・高等部の生徒 (約 300 人)

(2) 調査方法

各学校を通じて生徒に調査協力依頼文を配布するとともに、配布時には教員から生徒へ調査の趣旨等を説明した。回答は任意。WEB環境にない生徒や紙媒体を希望する生徒等には紙媒体の調査票を配布し、回答は生徒から直接子ども未来局宛て返信用封筒で回収した。

(3) 調査期間

令和3年11月12日(金)～令和3年12月10日(金)

※当初予定の調査期間(11月30日(火)まで)を延長

(4) 回収状況

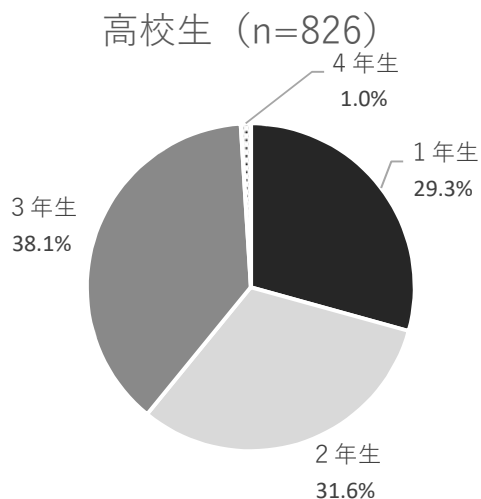
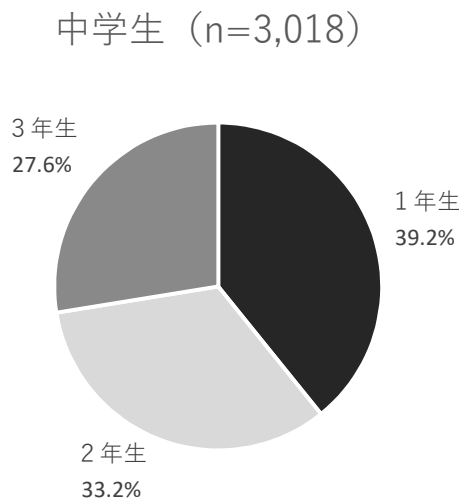
区分	調査対象数	有効回答数	回収率
中学生	約 44,000	3,018	約 6.9%
高校生	約 7,100	826	約 11.6%
計	約 51,100	3,844	約 7.5%

2 中高生の生活実態に関するアンケート調査 調査結果

(1) 基本情報

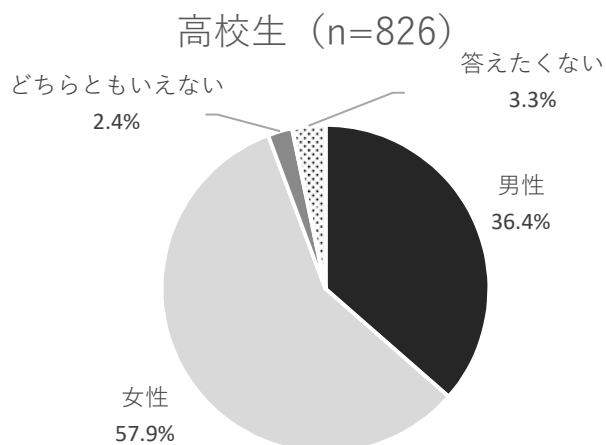
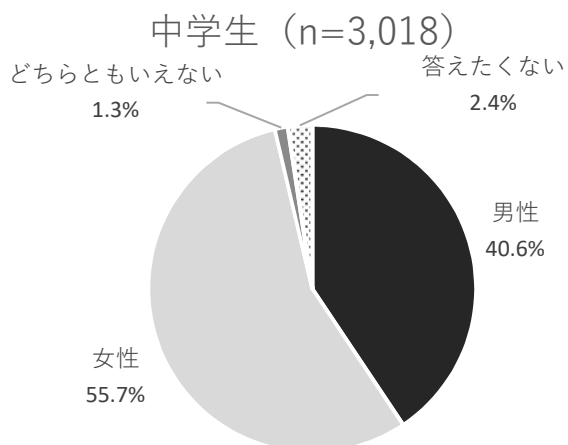
問1 回答者の学年

回答者の学年は、以下のとおり。



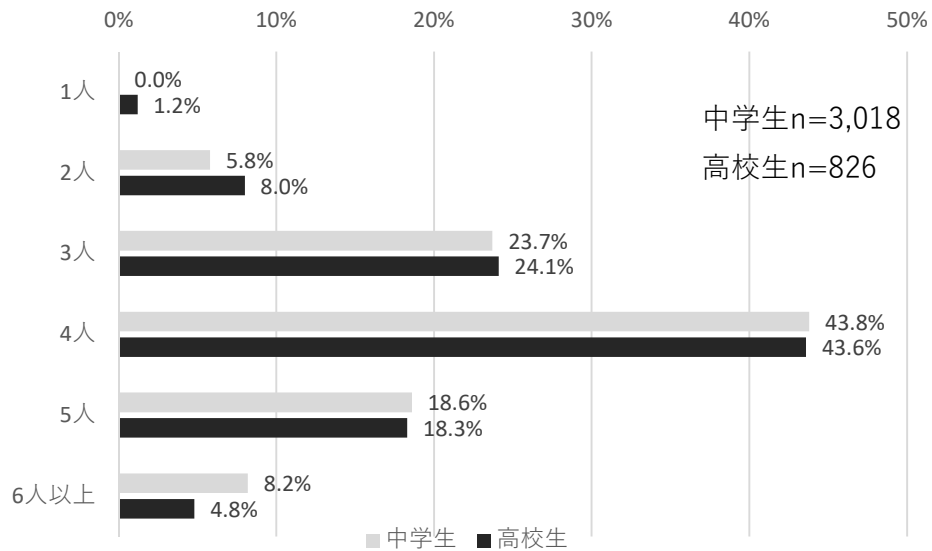
問2 回答者の性別

回答者の性別は、以下のとおり。



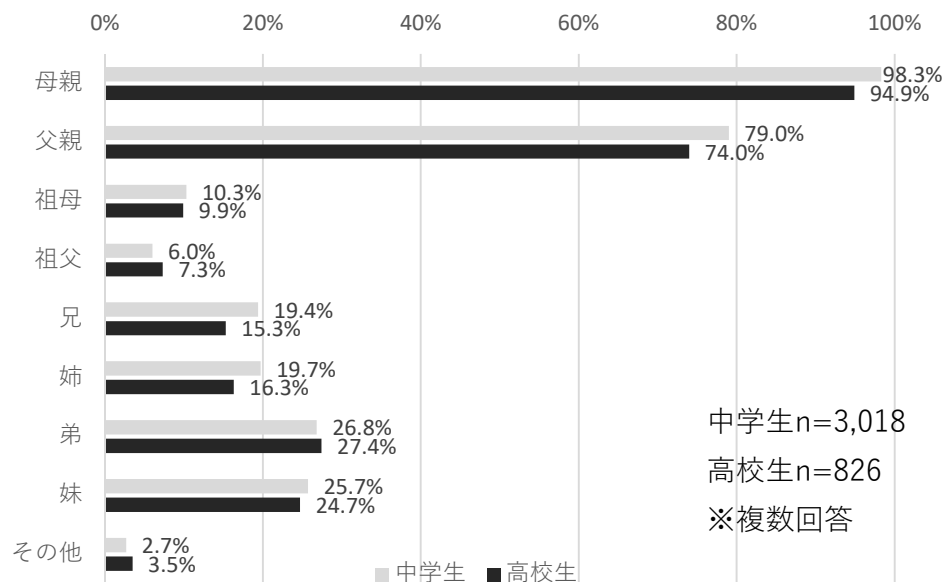
問3-① 家族の人数

同居する家族の人数は、中学生・高校生いずれも「4人」が最も高く、次いで「3人」、「5人」となっている。

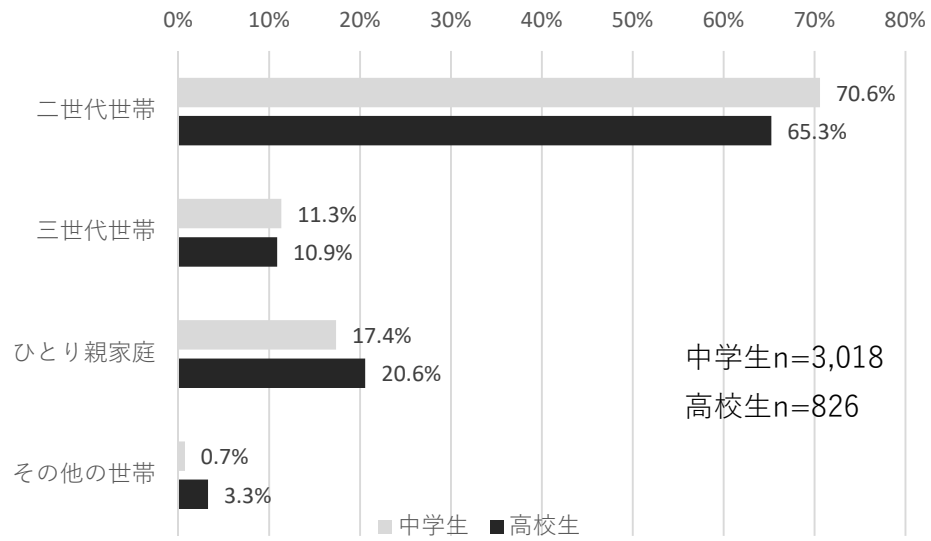


問3-② 家族の内訳

同居する家族の内訳は、中学生・高校生いずれも「母親」が最も高く、次いで「父親」、「弟」、「妹」となっている。



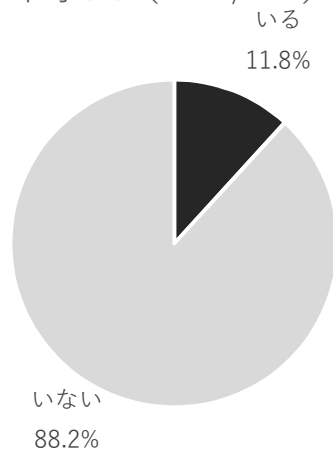
また、同居する家族の内訳を家族構成で整理した結果は以下のとおり。



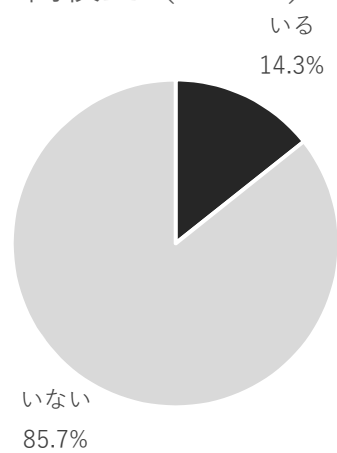
問3-③ 単身赴任している父母の有無

単身赴任している父母は、中学生・高校生いずれも「いる」が1割強となっている。

中学生 (n=3,018)



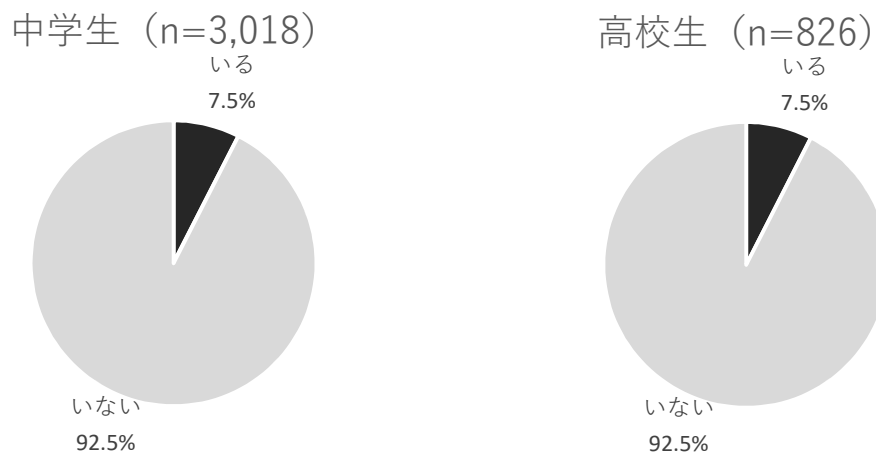
高校生 (n=826)



(2) 家庭や家族のこと

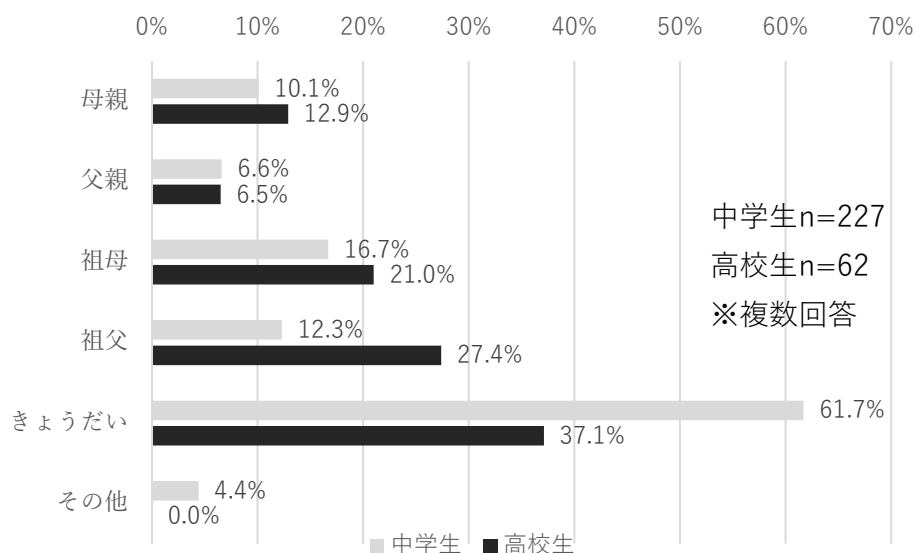
問4 家族の中でお世話が必要な人の有無

お世話が必要な人は、中学生・高校生いずれも「いる」が7.5%となっている。



問5 お世話が必要な人の内訳

お世話が必要な人の内訳は、中学生・高校生いずれも「きょうだい」が最も高くなっている。次いで、中学生では「祖母」、「祖父」、高校生では、「祖父」、「祖母」となっている。「きょうだい」と答えた人の割合が中学生では61.7%と高校生の37.1%より高くなっている。



問6 自分がお世話をしている家族の有無

自分がお世話をしている家族がいると回答した人（ヤングケアラー）の割合は、中学生で4.3%、高校生で4.1%となっている。また、自分がお世話をしている家族の続柄の内訳を見ると、中学生では「きょうだい」が72.1%と最も高く、次いで「母親」（14.0%）、「祖母」（9.3%）となっている。高校生では「きょうだい」の割合が58.8%と最も高く、次いで「母親」（17.6%）、「祖母」（17.6%）となっている。

[自分がお世話をしている家族の有無]

区分	サンプル数	自分がお世話をしている家族がいる	割合
中学生	3,018	129	4.3%
高校生	826	34	4.1%

[自分がお世話をしている家族の続柄]

区分	サンプル数	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	その他
中学生	129	14.0%	7.0%	9.3%	4.7%	72.1%	1.6%
高校生	34	17.6%	5.9%	17.6%	5.9%	58.8%	0.0%

※複数回答

問6-① お世話を必要としている人の状況

お世話を必要としている人の状況については、お世話を必要としている人が「母親」では、中学生・高校生ともに「精神的な病気（気分の不安定さや極度の不安などがあり生活に支障がある状態）（疑い含む）」が最も高くなっている。お世話を必要としている人が「父親」では、中学生・高校生ともに「身体が不自由（身体障がい、視覚障がい、聴覚障がいを含む）」が最も高くなっている。お世話を必要としている人が「祖母」・「祖父」では、中学生・高校生ともに「高齢（65歳以上）」が最も高くなっている。お世話を必要としている人が「きょうだい」では、中学生・高校生ともに「若い」が最も高くなっている。

	お世話を必要としている人											
	母親		父親		祖母		祖父		きょうだい		その他	
	中学生	高校生	中学生	高校生	中学生	高校生	中学生	高校生	中学生	高校生	中学生	高校生
サンプル数	23	8	15	4	38	13	28	17	140	23	10	0
高齢（65歳以上）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	97.4%	100.0%	92.9%	88.2%	0.0%	0.0%	50.0%	-
若い	0.0%	25.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	73.6%	60.9%	20.0%	-
要介護（介護が必要な状態）	0.0%	25.0%	20.0%	0.0%	21.1%	0.0%	28.6%	35.3%	0.7%	4.3%	30.0%	-
認知症	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	31.6%	23.1%	25.0%	23.5%	0.0%	0.0%	20.0%	-
身体が不自由（身体障がい、視覚障がい、聴覚障がいを含む）	17.4%	37.5%	46.7%	50.0%	21.1%	15.4%	28.6%	41.2%	11.4%	13.0%	20.0%	-
知的障がい	4.3%	0.0%	6.7%	0.0%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	13.0%	20.0%	-
発達障がい（知的障がいを除く）	8.7%	0.0%	6.7%	0.0%	2.6%	0.0%	3.6%	0.0%	7.9%	21.7%	10.0%	-
精神的な病気（気分の不安定さや極度の不安などがあり生活に支障がある状態）（疑い含む）	65.2%	50.0%	13.3%	0.0%	10.5%	0.0%	0.0%	5.9%	5.0%	8.7%	0.0%	-
依存症（お酒の飲み過ぎや、かけごとのしすぎなどにより生活に支障の出る状態）（疑い含む）	17.4%	12.5%	26.7%	0.0%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-
上記以外の病気やけが	17.4%	12.5%	6.7%	25.0%	21.1%	15.4%	14.3%	23.5%	2.1%	4.3%	0.0%	-
その他	8.7%	0.0%	0.0%	25.0%	2.6%	7.7%	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	-
未回答等	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-

※複数回答

問6-② お世話をしている人の内訳

お世話を必要としている人が母親以外では、お世話をしている人の内訳は「母親」が最も高い。

一方、お世話を必要としている人が母親では、「自分」がお世話をしていると回答した人が、中学生で78.3%、高校生では75.0%と高くなっている。

	お世話を必要としている人											
	母親		父親		祖母		祖父		きょうだい		その他	
	中学生	高校生	中学生	高校生	中学生	高校生	中学生	高校生	中学生	高校生	中学生	高校生
サンプル数	23	8	15	4	38	13	28	17	140	23	10	0
母親	8.7%	12.5%	73.3%	100.0%	78.9%	92.3%	78.6%	52.9%	92.1%	87.0%	70.0%	-
父親	34.8%	37.5%	6.7%	0.0%	15.8%	53.8%	14.3%	23.5%	63.6%	52.2%	10.0%	-
祖母	21.7%	12.5%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	46.4%	23.5%	8.6%	13.0%	70.0%	-
祖父	4.3%	0.0%	6.7%	0.0%	13.2%	23.1%	0.0%	0.0%	3.6%	4.3%	10.0%	-
きょうだい	47.8%	50.0%	33.3%	50.0%	7.9%	7.7%	17.9%	0.0%	37.1%	30.4%	20.0%	-
しんせきの人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	15.8%	15.4%	10.7%	17.6%	0.7%	0.0%	20.0%	-
自分	78.3%	75.0%	60.0%	50.0%	31.6%	46.2%	21.4%	11.8%	66.4%	87.0%	20.0%	-
福祉サービス（ヘルパーなど）を利用	4.3%	12.5%	13.3%	0.0%	31.6%	7.7%	25.0%	52.9%	6.4%	13.0%	40.0%	-
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	-
未回答等	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-

※複数回答

問6-③ 自分が担っている役割

どのような役割を担っているかについて、全体的には「きょうだい」をはじめ「見守り」と回答した人の割合が高い。また、お世話を必要としている人が「母親」では、「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」の割合が高くなっている。

	お世話を必要としている人											
	母親		父親		祖母		祖父		きょうだい		その他	
	中学生	高校生	中学生	高校生	中学生	高校生	中学生	高校生	中学生	高校生	中学生	高校生
サンプル数	18	6	9	2	12	6	6	2	93	20	2	0
家事（食事の準備や掃除、洗濯）	50.0%	100.0%	33.3%	50.0%	41.7%	16.7%	33.3%	0.0%	30.1%	45.0%	0.0%	-
きょうだいの世話や保育所等への送迎など	11.1%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	48.4%	30.0%	0.0%	-
身体的な介護（入浴やトイレのお世話など）	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	50.0%	19.4%	15.0%	0.0%	-
外出の付き添い（買い物、散歩など）	33.3%	66.7%	0.0%	50.0%	66.7%	66.7%	0.0%	50.0%	21.5%	25.0%	0.0%	-
病院への付き添い	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	16.7%	0.0%	50.0%	0.0%	5.0%	0.0%	-
感情面のサポート（ぐちを聞く、話し相手、遊び相手になるなど）	72.2%	50.0%	44.4%	0.0%	33.3%	33.3%	50.0%	50.0%	60.2%	50.0%	50.0%	-
見守り	38.9%	50.0%	55.6%	0.0%	50.0%	33.3%	33.3%	100.0%	69.9%	65.0%	100.0%	-
通訳（日本語や手話など）	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	3.2%	5.0%	0.0%	-
金銭管理	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%	50.0%	-
薬の管理（薬を小分けにしたり、渡したりするなど）	5.6%	16.7%	0.0%	50.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%	0.0%	0.0%	-
医療的ケア（たんの吸引や経管栄養の管理など）	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	5.0%	0.0%	-
家計のサポート（家計を支えるためにアルバイトや労働をするなど）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	-
福祉サービス（ホームヘルパーやデイサービスなど）の申込みや連絡	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%	0.0%	0.0%	-
その他	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	16.7%	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%	-
未回答等	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-

※複数回答

問6-④ お世話が必要な人の医療機関の利用状況

お世話が必要な人の医療機関利用の有無について、「きょうだい」以外では利用している人の割合が高い。

	お世話が必要としている人											
	母親		父親		祖母		祖父		きょうだい		その他	
	中学生	高校生	中学生	高校生	中学生	高校生	中学生	高校生	中学生	高校生	中学生	高校生
サンプル数	18	6	9	2	12	6	6	2	93	20	2	0
はい	61.1%	83.3%	55.6%	100.0%	83.3%	100.0%	66.7%	100.0%	21.5%	30.0%	0.0%	-
いいえ	22.2%	16.7%	33.3%	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%	68.8%	70.0%	100.0%	-
わからない	16.7%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	9.7%	0.0%	0.0%	-
未回答等	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-

問6-⑤ お世話が必要な人について医療関係者に相談した経験の有無

お世話が必要な人に関する医療関係者へ相談の有無は以下のとおり。

	お世話が必要としている人											
	母親		父親		祖母		祖父		きょうだい		その他	
	中学生	高校生	中学生	高校生	中学生	高校生	中学生	高校生	中学生	高校生	中学生	高校生
サンプル数	11	5	5	2	10	6	4	2	20	6	0	0
はい	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	20.0%	16.7%	0.0%	50.0%	5.0%	50.0%	-	-
いいえ	100.0%	60.0%	100.0%	100.0%	80.0%	83.3%	100.0%	50.0%	95.0%	50.0%	-	-
未回答等	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-	-

問6-⑥ お世話が必要な人の福祉サービスなどの利用状況

お世話が必要な人の福祉サービスなど利用の有無について、全体的に利用していない割合が高い。

	お世話が必要としている人											
	母親		父親		祖母		祖父		きょうだい		その他	
	中学生	高校生	中学生	高校生	中学生	高校生	中学生	高校生	中学生	高校生	中学生	高校生
サンプル数	18	6	9	2	12	6	6	2	93	20	2	0
はい	0.0%	16.7%	11.1%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	50.0%	21.5%	25.0%	0.0%	-
いいえ	83.3%	66.7%	77.8%	0.0%	50.0%	100.0%	66.7%	0.0%	75.3%	75.0%	100.0%	-
わからない	16.7%	16.7%	11.1%	100.0%	16.7%	0.0%	0.0%	50.0%	3.2%	0.0%	0.0%	-
未回答等	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-

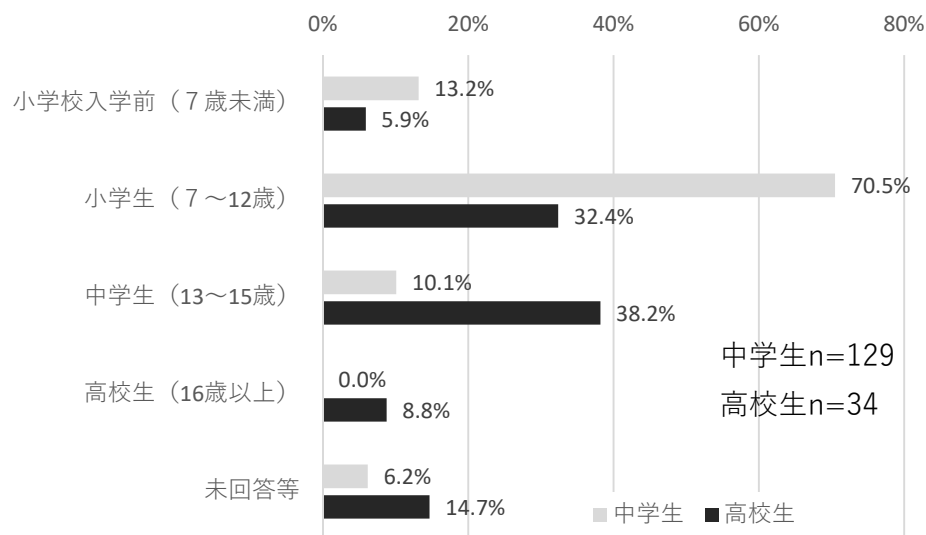
問6-⑦ お世話が必要な人について福祉サービスの方に相談した経験の有無

お世話が必要な人に関する福祉サービスの方へ相談の有無は以下のとおり。

	お世話が必要としている人											
	母親		父親		祖母		祖父		きょうだい		その他	
	中学生	高校生	中学生	高校生	中学生	高校生	中学生	高校生	中学生	高校生	中学生	高校生
サンプル数	0	1	1	0	4	0	2	1	20	5	0	0
はい	-	100.0%	0.0%	-	25.0%	-	0.0%	0.0%	50.0%	60.0%	-	-
いいえ	-	0.0%	100.0%	-	75.0%	-	100.0%	100.0%	50.0%	40.0%	-	-
未回答等	-	0.0%	0.0%	-	0.0%	-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-	-

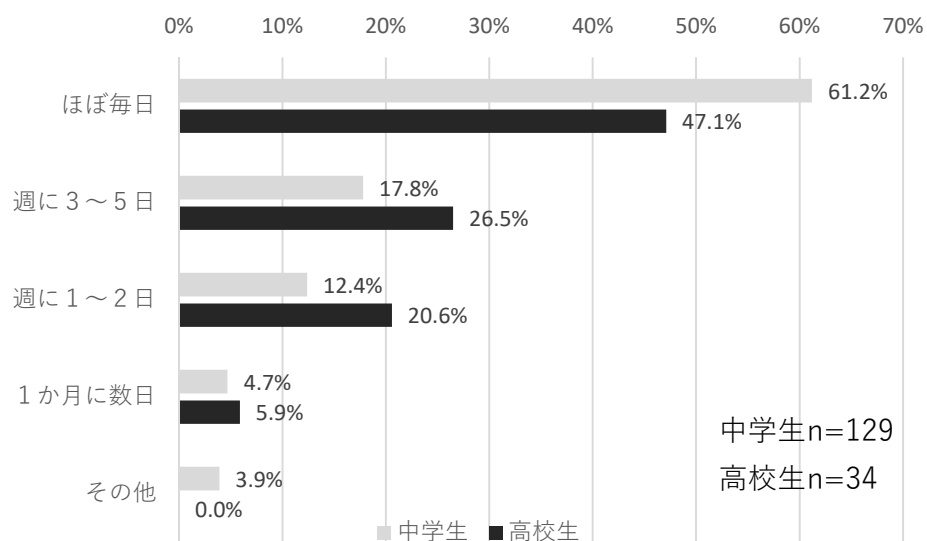
問7-① お世話を始めた年齢

お世話を始めた年齢は、中学生では「小学生(7~12歳)」(70.5%)の階級が70.5%と高くなっている。一方、高校生では、「中学生(13~15歳)」(38.2%)が高く、次いで「小学生(7~12歳)」(32.4%)となっている。



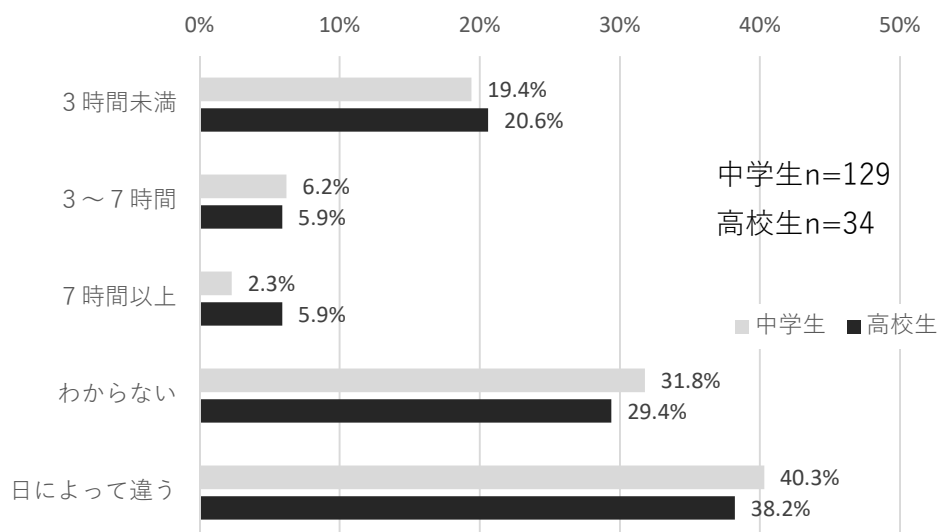
問7-② お世話の頻度

お世話の頻度は、中学生、高校生ともに「ほぼ毎日」が最も高く、中学生が61.2%、高校生が47.1%となっている。



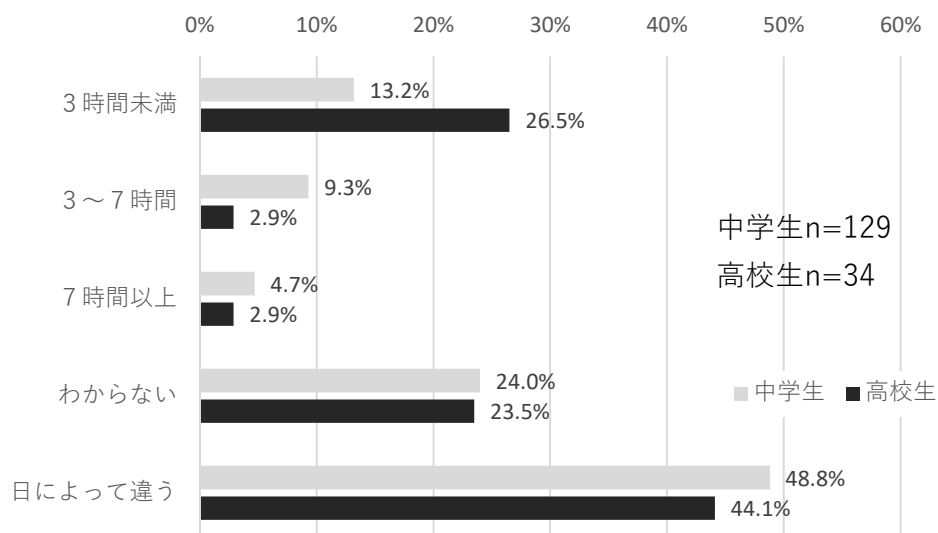
問7-③ 平日にお世話をしている時間

平日にお世話をしている時間は、中学生・高校生ともに「日によって違う」が最も高く4割程度を占めている。また、「7時間以上」の階級が中学生で2.3%、高校生で5.9%となっている。



問7-④ 休日にお世話をしている時間

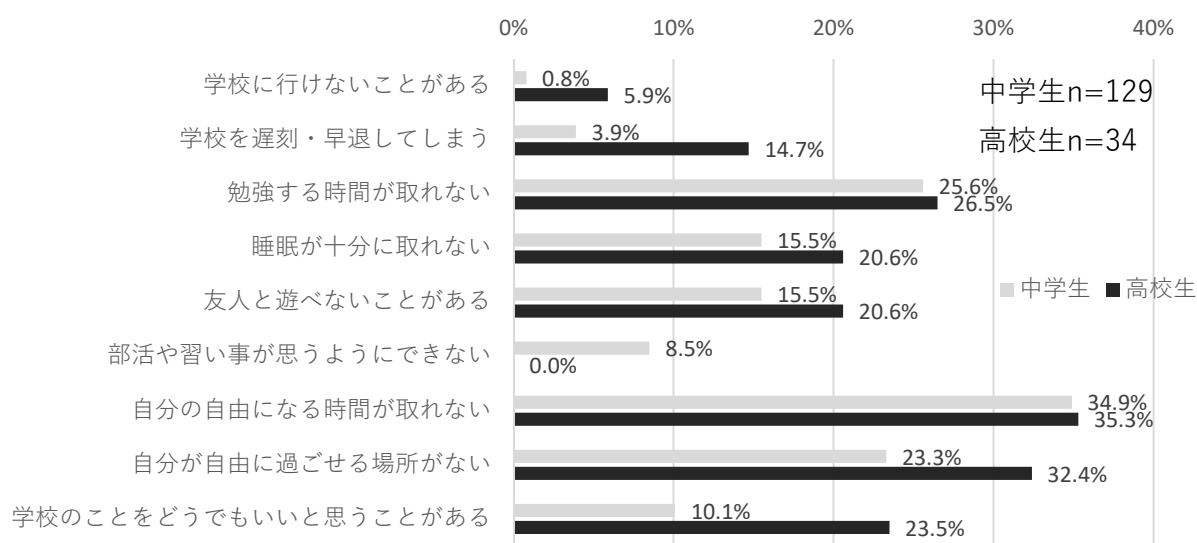
休日にお世話をしている時間は、中学生・高校生ともに「日によって違う」が最も高く4割程度を占めている。また、「7時間以上」の階級が中学生で4.7%、高校生で2.9%となっている。



問8 お世話をすることによる生活への影響

お世話をすることによる生活への影響について、3区分（「よくある」、「たまにある」、「ほぼない」）で聞いたところ、「よくある」と「たまにある」を合わせた割合は、中学生で「自分の自由になる時間が取れない」が最も高く、次いで、「勉強する時間がとれない」、「自分が自由に過ごせる場所がない」となっている。高校生では、「自分の自由になる時間が取れない」が最も高く、次いで、「自分が自由に過ごせる場所がない」、「勉強する時間がとれない」となっている。

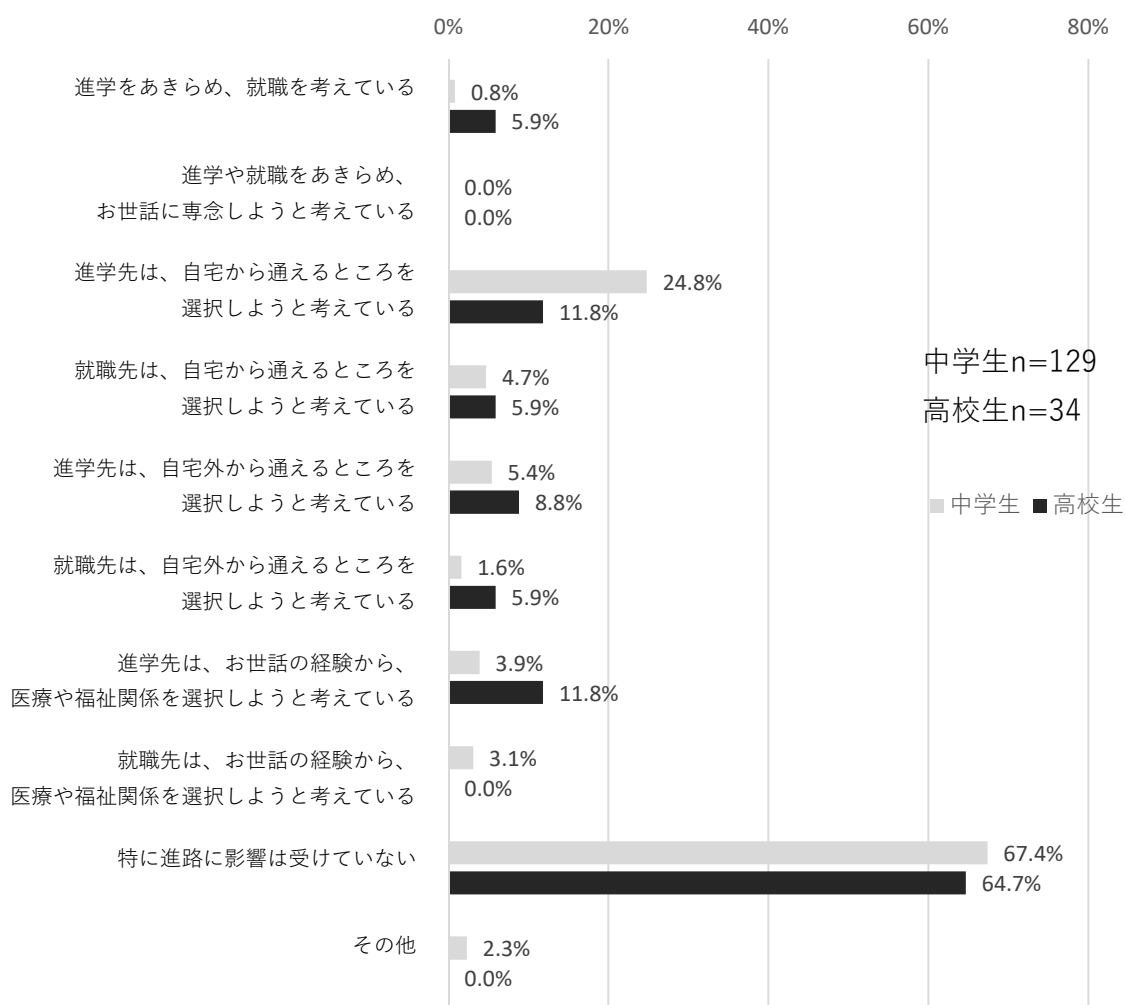
また、「学校のことをどうでもいいと思うことがある」と回答した人は、中学生の10.1%に対して高校生が23.5%と割合が高くなっている。



※複数回答

問9 今後の進路への影響

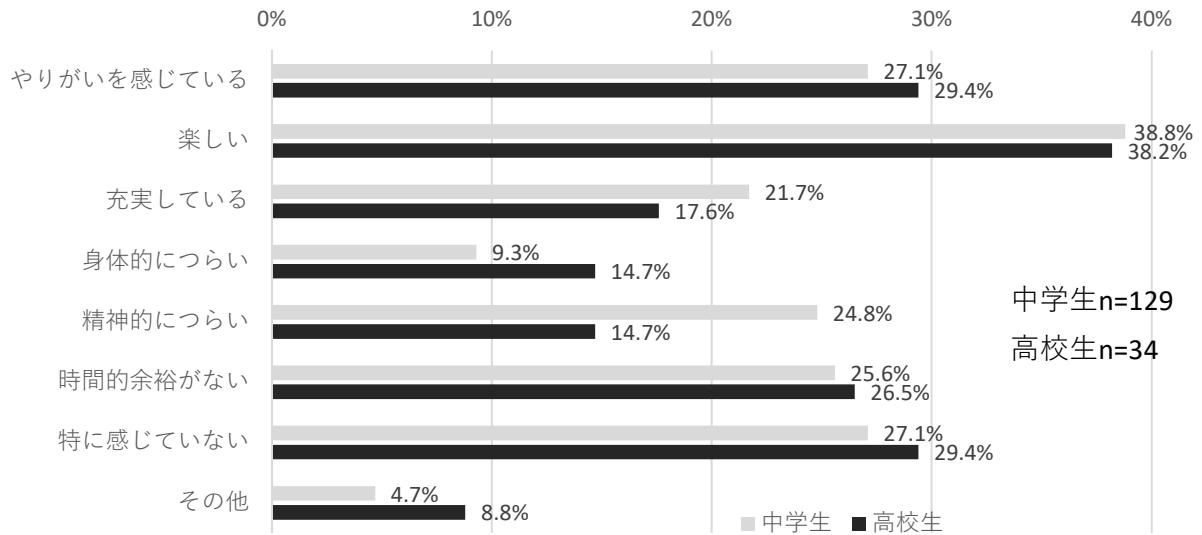
中学生・高校生ともに「特に進路に影響は受けていない」が最も割合が高い。また、中学生では「進学先は自宅から通えるところを選択しようと考えている」が24.8%、高校生では「進学先は自宅から通えるところを選択しようと考えている」、「進学先は、お世話の経験から、医療や福祉関係を選択しようと考えている」が11.8%と次いで割合が高くなっている。



※複数回答

問10 お世話をすることについて感じていること

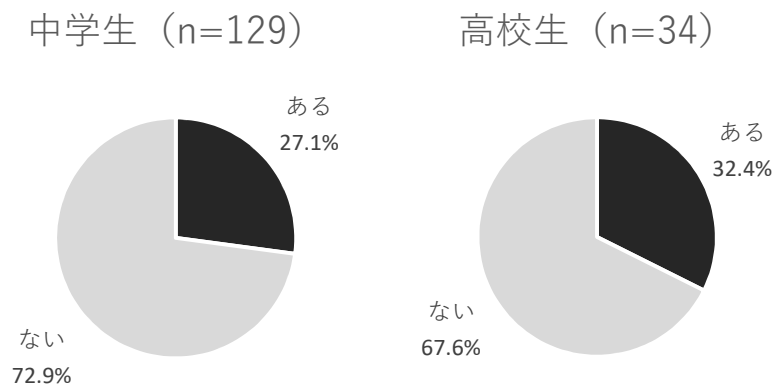
普段の生活への影響は、中学生・高校生ともに約4割が「楽しい」と回答しており、「やりがいを感じている」、「特に感じていない」「時間的余裕がない」が高い。また、中学生は「精神的につらい」が高校生に比べて割合が高くなっている。



※複数回答

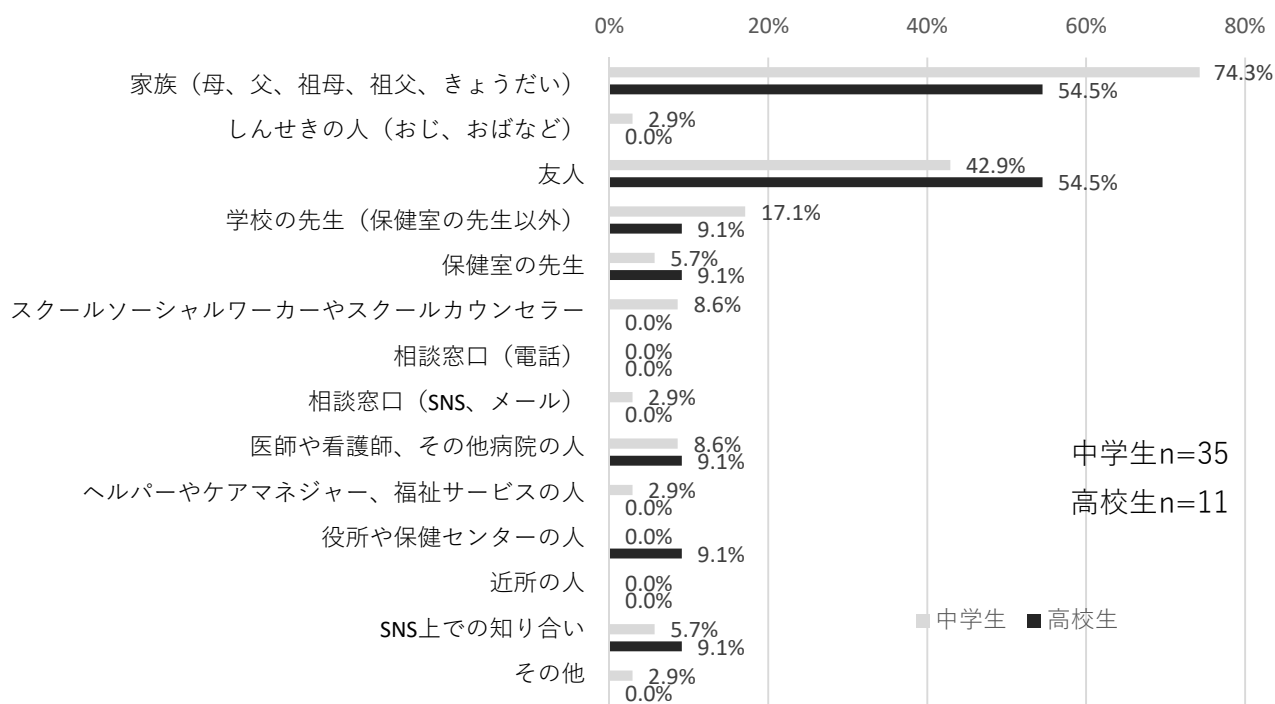
問11 お世話の悩みを相談した経験の有無

中学生・高校生ともに約7割が「ない」と回答している。



問12 相談した相手

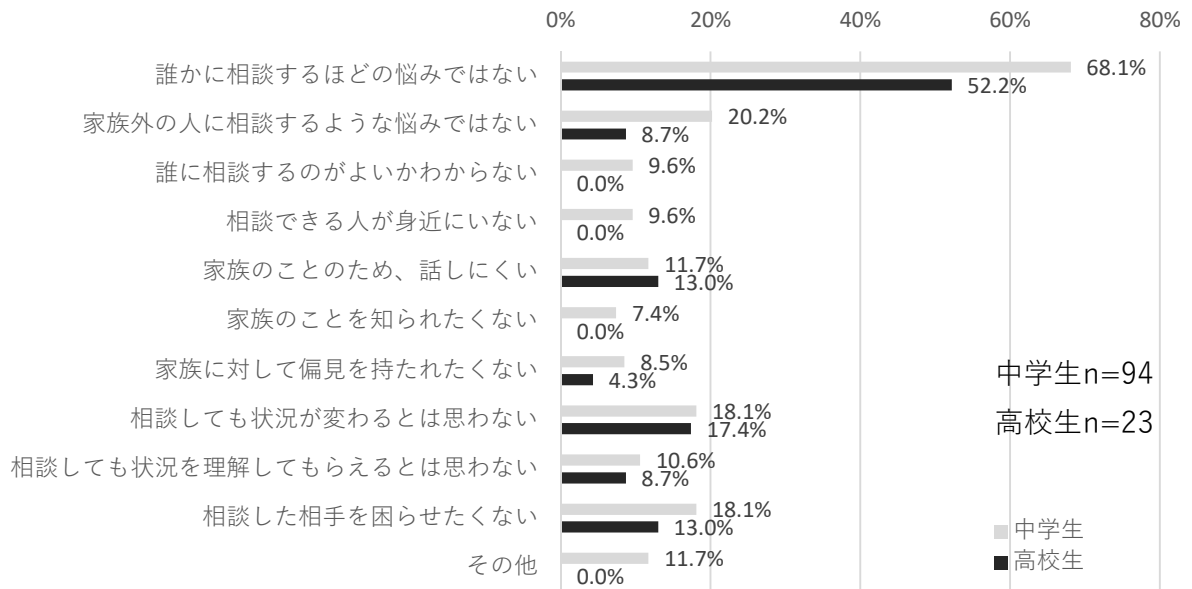
相談した相手は、中学生で「家族（母、父、祖母、祖父、きょうだい）」が74.3%と最も割合が高く、次いで「友人」が42.9%となっている。高校生では、「家族（母、父、祖母、祖父、きょうだい）」、「友人」が54.5%となっている。



※複数回答

問13 相談していない理由

中学生・高校生ともに「誰かに相談するほどの悩みではない」が最も高い。また、「家族外の人に相談するような悩みではない」、「家族のこのため、話しにくい」、「相談しても状況が変わるとは思わない」、「相談した相手を困らせたくない」も高い。

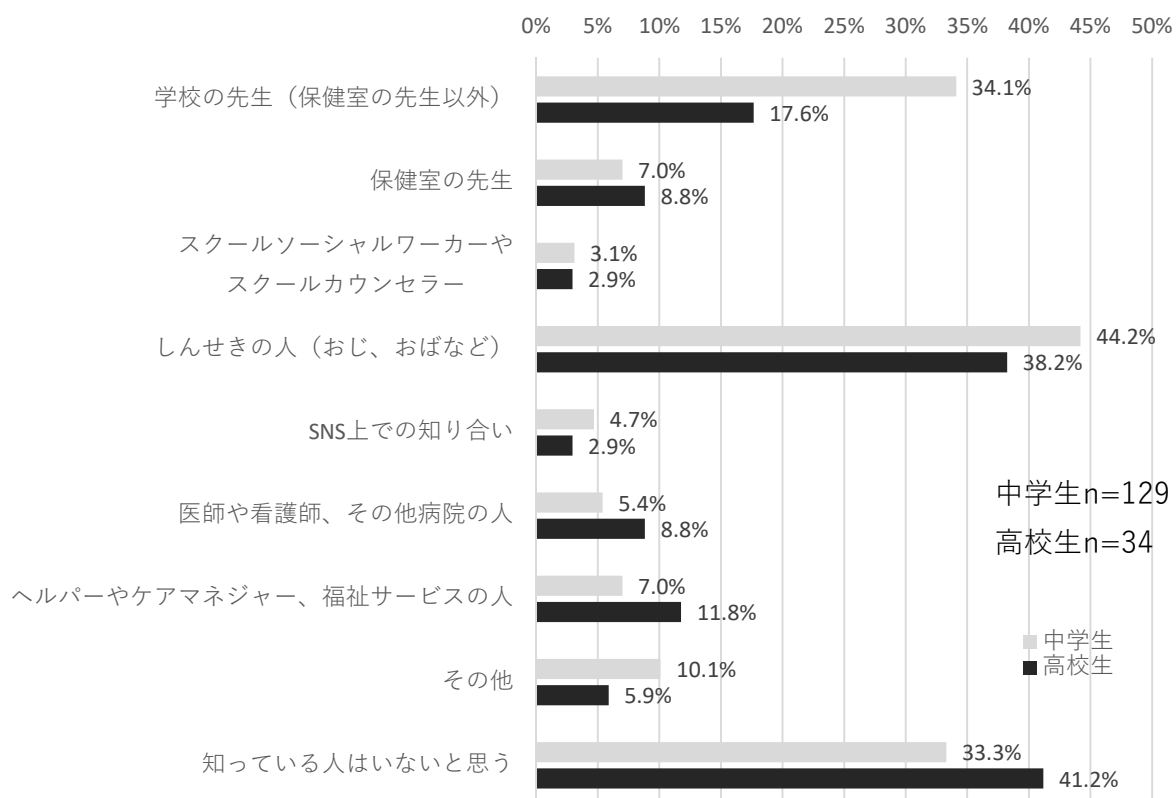


※複数回答

問14 お世話をしている現状を知っている人

中学生では「しんせきの人（おじ、おばなど）」が最も高く、次いで「学校の先生（保健室の先生以外）」、「知っている人はいないと思う」となっている。高校生では「知っている人はいないと思う」が最も高く、次いで「しんせきの人（おじ、おばなど）」、「学校の先生（保健室の先生以外）」となっている。

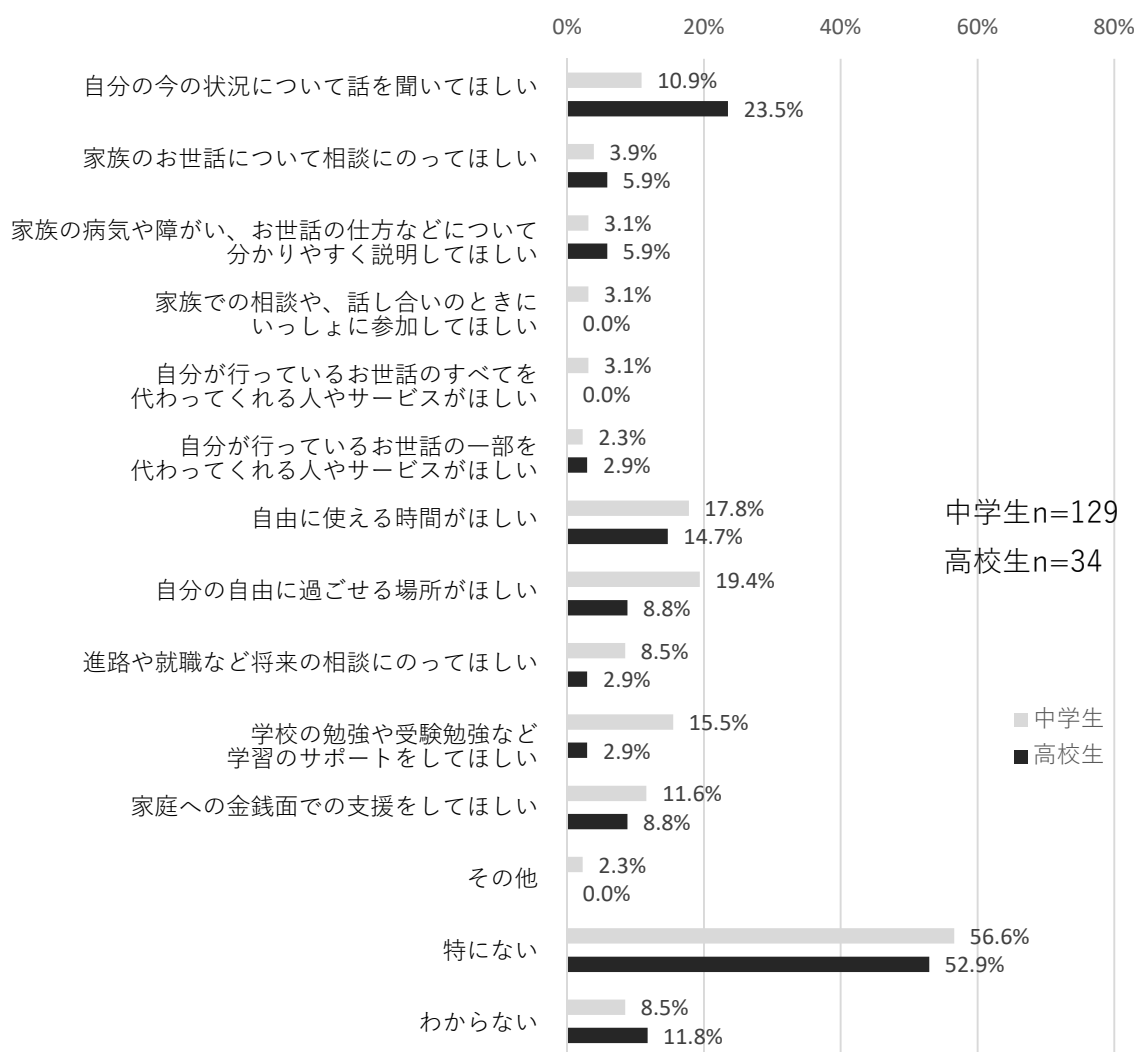
また、「学校の先生（保健室の先生以外）」と答えた人の割合は、中学生で 34.1% に対し、高校生では 17.6% と低くなっている。



※複数回答

問15 学校の先生や周りの大人に支援してほしいこと

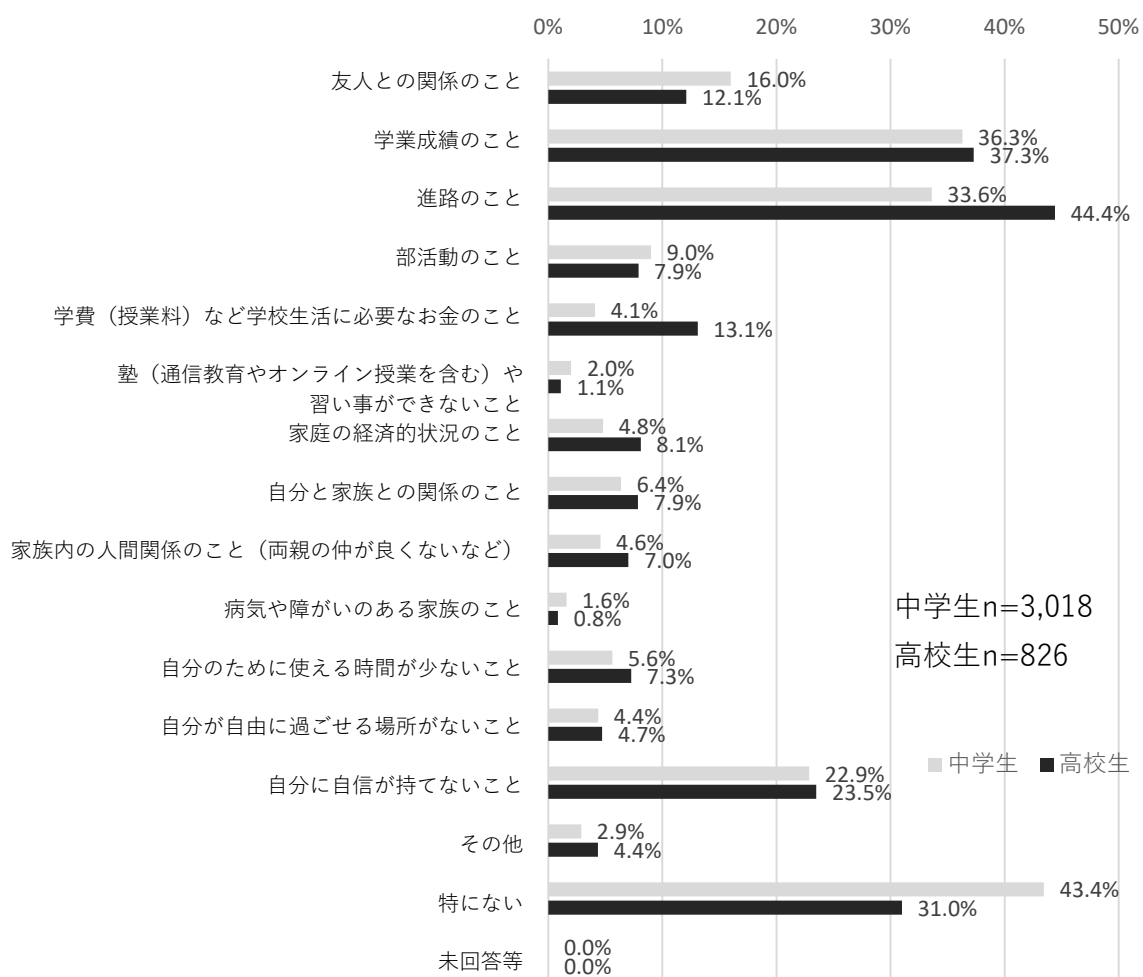
中学生・高校生ともに「特にない」が最も割合が高くなっている。中学生では「自分の自由に過ごせる場所がほしい」が2番目に高くなっている。高校生では「自分の今の状況について話を聞いてほしい」が2番目に高くなっている。



※複数回答

問16 悩んだり困ったりしていること

中学生では「特にない」が最も割合が高く、次いで「学業成績のこと」、「進路のこと」となっている。高校生では「進路のこと」が最も割合が高く、次いで「学業成績のこと」、「特にない」となっている。

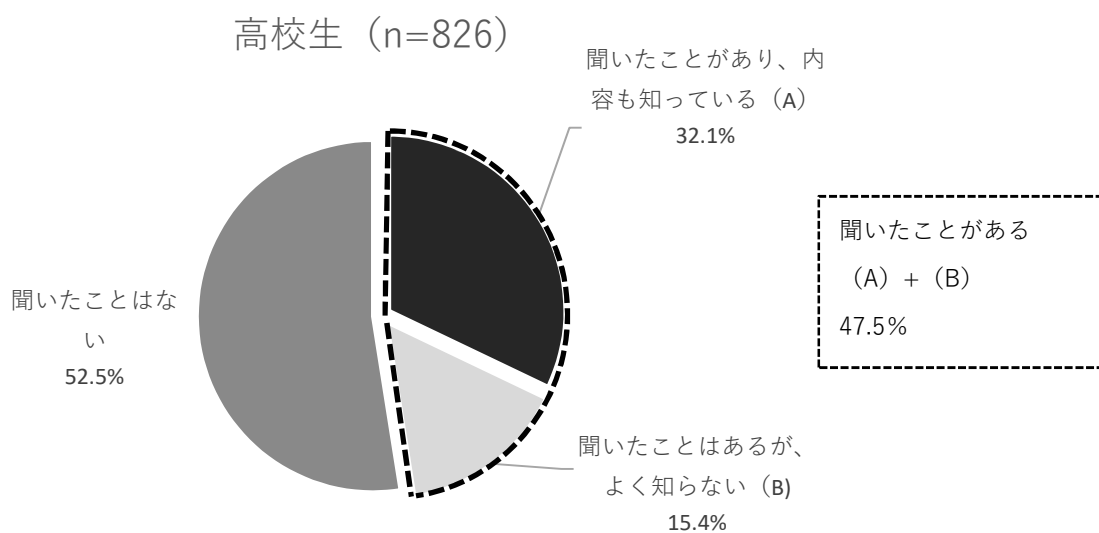
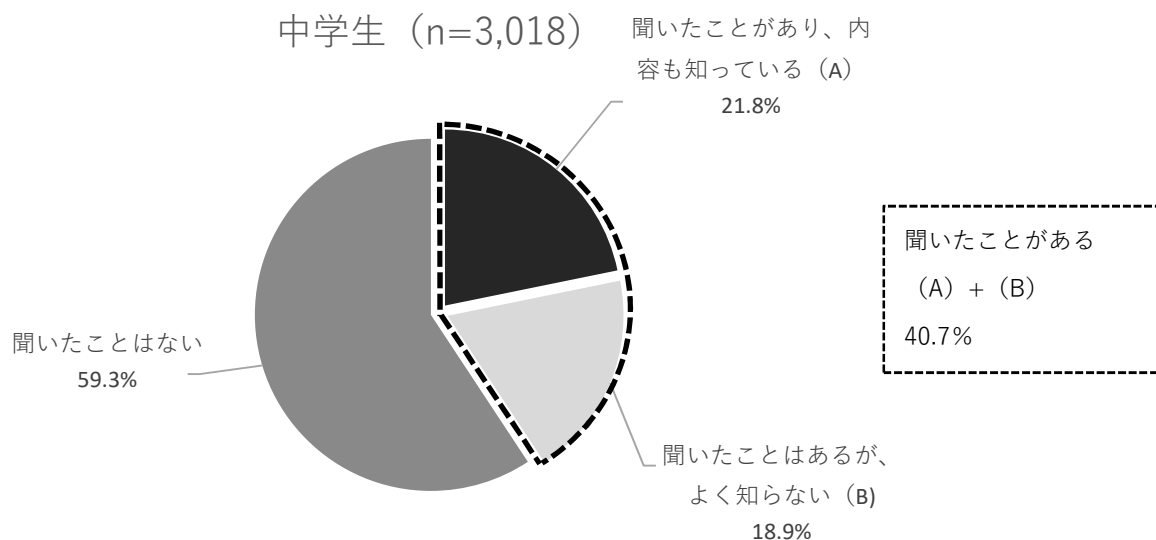


※複数回答

(3) ヤングケアラーについて

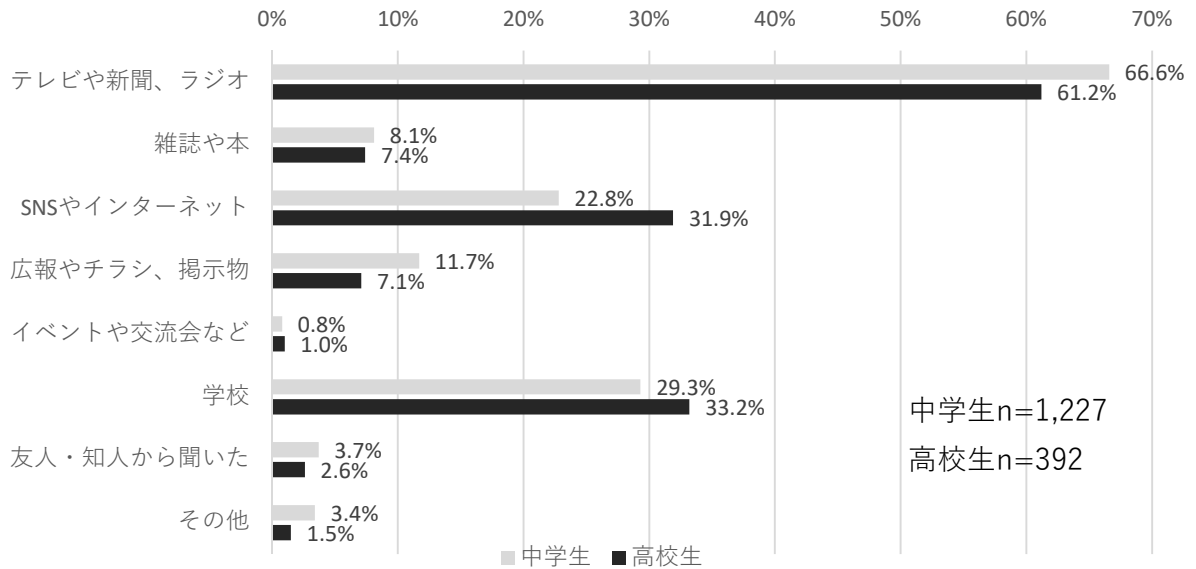
問17 ヤングケアラーという言葉の認知度

「聞いたことがあり、内容も知っている」と回答した人は、中学生で21.8%、高校生で32.1%となっている。また、中学生・高校生の4割以上がヤングケアラーという言葉に「聞いたことがある」と答えている。



問18 ヤングケアラーという言葉を知ったきっかけ

中学生・高校生ともに「テレビや新聞、ラジオ」が最も割合が高く、次いで「学校」、
「SNS やインターネット」となっている。



※複数回答

3 中高生の生活実態に関するアンケート調査 追加分析

以下、自分がお世話をしている家族がいると回答した人（ヤングケアラー）について追加分析を行った。

(1) 家族構成

① 家族構成×お世話をする事による生活への影響（よくある・たまにある）

ひとり親家庭の場合、他の世帯に比べて生活への影響があると回答した人の割合が全体的に高くなっている。

	サンプル数	学校に行けないことがある	学校を遅刻・早退してしまう	勉強する時間が取れない	睡眠が十分に取れない	友人と遊べないことがある	部活や習い事が思うようにできない	自分の自由になる時間が取れない	自分が自由に過ごせる場所がない	学校のことをどうでもいいと思うことがある	未回答等
全体	163 100.0%	3 1.8%	10 6.1%	42 25.8%	27 16.6%	27 16.6%	11 6.7%	57 35.0%	41 25.2%	21 12.9%	0 0.0%
二世帯世帯	95 100.0%	0 0.0%	2 2.1%	24 25.3%	11 11.6%	16 16.8%	6 6.3%	34 35.8%	24 25.3%	6 6.3%	0 0.0%
三世帯世帯	31 100.0%	0 0.0%	1 3.2%	4 12.9%	4 12.9%	1 3.2%	1 3.2%	7 22.6%	3 9.7%	4 12.9%	0 0.0%
ひとり親家庭	34 100.0%	2 5.9%	6 17.6%	13 38.2%	11 32.4%	9 26.5%	4 11.8%	15 44.1%	14 41.2%	10 29.4%	0 0.0%
その他の世帯	3 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%

② 家族構成×お世話をする事について感じていること

ひとり親家庭の場合、他の世帯に比べて「やりがいを感じている」「楽しい」「充実している」と回答した人の割合が低くなっている。一方、「身体的につらい」「精神的につらい」「時間的余裕がない」と回答した人の割合は高くなっている。また、三世帯世帯では、「やりがいを感じている」と回答した人の割合が他の世帯と比べて高くなっている。

	サンプル数	やりがいを感じている	楽しい	充実している	身体的につらい	精神的につらい	時間的余裕がない	特に感じていない	その他	未回答等
全体	163 100.0%	45 27.6%	63 38.7%	34 20.9%	17 10.4%	37 22.7%	42 25.8%	45 27.6%	9 5.5%	0 0.0%
二世帯世帯	95 100.0%	26 27.4%	44 46.3%	20 21.1%	4 4.2%	14 14.7%	21 22.1%	28 29.5%	4 4.2%	0 0.0%
三世帯世帯	31 100.0%	13 41.9%	10 32.3%	8 25.8%	2 6.5%	7 22.6%	4 12.9%	9 29.0%	2 6.5%	0 0.0%
ひとり親家庭	34 100.0%	6 17.6%	8 23.5%	6 17.6%	9 26.5%	14 41.2%	16 47.1%	8 23.5%	3 8.8%	0 0.0%
その他の世帯	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

③ 家族構成×お世話の悩みを相談した経験の有無、相談していない理由

相談した経験の有無については、家族構成別で顕著な差はみられなかった。一方、相談していない理由について、ひとり親家庭の場合、他の家族構成に比べて「誰に相談するのがよいかわからない」、「相談できる人が身近にいない」の割合が高くなっており、一人で悩みを抱えている様子が見えてくる。

[お世話の悩みを相談した経験の有無]

	サンプル数	ある	ない	未回答等
全体	163 100.0%	46 28.2%	117 71.8%	0 0.0%
二世代会世帯	95 100.0%	25 26.3%	70 73.7%	0 0.0%
三世代会世帯	31 100.0%	10 32.3%	21 67.7%	0 0.0%
ひとり親家庭	34 100.0%	10 29.4%	24 70.6%	0 0.0%
その他の世帯	3 100.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%

[相談していない理由]

	サンプル数	誰かに相談するほどの悩みではない	家族外の人に相談するようない	誰に相談するのがよいかわからない	相談できる人が身近にいない	家族のこのため、話しにくい	家族のことを知られたくない	家族に対して偏見を持たれたくない	相談しても状況が変わると思わない	相談しても状況を理解してもらえない	相談した相手を困らせたくない	その他	未回答等
全体	117 100.0%	76 65.0%	21 17.9%	9 7.7%	9 7.7%	14 12.0%	7 6.0%	9 7.7%	21 17.9%	12 10.3%	20 17.1%	11 9.4%	0 0.0%
二世代会世帯	70 100.0%	48 68.6%	14 20.0%	5 7.1%	5 7.1%	9 12.9%	7 10.0%	5 7.1%	12 17.1%	8 11.4%	8 11.4%	9 12.9%	0 0.0%
三世代会世帯	21 100.0%	14 66.7%	4 19.0%	1 4.8%	0 0.0%	2 9.5%	0 0.0%	2 9.5%	2 9.5%	1 4.8%	4 19.0%	0 0.0%	0 0.0%
ひとり親家庭	24 100.0%	13 54.2%	2 8.3%	3 12.5%	4 16.7%	3 12.5%	0 0.0%	2 8.3%	7 29.2%	3 12.5%	8 33.3%	1 4.2%	0 0.0%
その他の世帯	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%

④ 家族構成×学校の先生や周りの大人に支援してほしいこと

ひとり親家庭では「自分の今の状況について話を聞いてほしい」が他の家族構成に比べて高くなっている。また、「自由に使える時間がほしい」「自分の自由に過ごせる場所がほしい」「家庭への金銭面での支援をしてほしい」も高い。

	サンプル数	自分の今の状況について話を聞いてほしい	家族のお世話について相談してほしい	家族の病気や障がい、お世話の仕方などについて分かりやすく説明してほしい	家族での相談や、話し合いのときにいっしょに参加してほしい	自分が行っているお世話のすべてを代わりに参加してほしい	自分が行っているお世話の一部を代わりにしてくれる人やサービスがほしい	自由に使える時間がほしい	自分の自由に過ごせる場所がほしい	進路や就職など将来の相談にのってほしい	学校の勉強や受験勉強などのサポートをしてほしい	家庭への金銭面での支援をしてほしい	その他	特になし	わからない	未回答等
全体	163	22 13.5%	7 4.3%	6 3.7%	4 2.5%	4 2.5%	4 2.5%	28 17.2%	28 17.2%	12 7.4%	21 12.9%	18 11.0%	3 1.8%	91 55.8%	15 9.2%	0 0.0%
二世帯世帯	95	6 6.3%	2 2.1%	4 4.2%	1 1.1%	3 3.2%	2 2.1%	16 16.8%	16 16.8%	5 5.3%	10 10.5%	8 8.4%	2 2.1%	58 61.1%	8 8.4%	0 0.0%
三世帯世帯	31	5 16.1%	2 6.5%	1 3.2%	2 6.5%	0 0.0%	0 0.0%	3 9.7%	3 9.7%	3 9.7%	4 12.9%	2 6.5%	0 0.0%	20 64.5%	3 9.7%	0 0.0%
ひとり親家庭	34	10 29.4%	2 5.9%	1 2.9%	1 2.9%	1 2.9%	2 5.9%	8 23.5%	9 26.5%	3 8.8%	6 17.6%	8 23.5%	1 2.9%	12 35.3%	3 8.8%	0 0.0%
その他の世帯	3	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%

⑤ 家族構成×悩んだり困ったりしていること

ひとり親家庭では「学費（授業料）など学校生活に必要なお金のこと」、「家庭の経済的状況のこと」、「家族内の人間関係のこと（両親の仲が良くないなど）」が他の家族構成と比べて高くなっている。

	サンプル数	友人との関係のこと	学業成績のこと	進路のこと	部活動のこと	学費（授業料）など学校生活に必要なお金のこと	塾（通信教育やオンライン授業を含む）や習い事ができないこと	家庭の経済的状況のこと	自分と家族との関係のこと	家族内の人間関係のこと（両親の仲が良くないなど）	病気や障がいのある家族のこと	自分のために使える時間が少ないこと	自分が自由に過ごせる場所がないこと	自分に自信が持てないこと	その他	特になし	未回答等
全体	163	44 27.0%	78 47.9%	69 42.3%	11 6.7%	29 17.8%	9 5.5%	39 23.9%	36 22.1%	33 20.2%	21 12.9%	36 22.1%	32 19.6%	63 38.7%	12 7.4%	44 27.0%	0 0.0%
二世帯世帯	95	29 30.5%	42 44.2%	37 38.9%	5 5.3%	11 11.6%	6 6.3%	12 12.6%	18 18.9%	16 16.8%	12 12.6%	22 23.2%	18 18.9%	35 36.8%	9 9.5%	27 28.4%	0 0.0%
三世帯世帯	31	7 22.6%	16 51.6%	17 54.8%	2 6.5%	7 22.6%	1 3.2%	10 32.3%	8 25.8%	3 9.7%	4 12.9%	3 9.7%	2 6.5%	12 38.7%	1 3.2%	9 29.0%	0 0.0%
ひとり親家庭	34	8 23.5%	19 55.9%	15 44.1%	4 11.8%	10 29.4%	2 5.9%	16 47.1%	9 26.5%	13 38.2%	5 14.7%	10 29.4%	12 35.3%	15 44.1%	2 5.9%	7 20.6%	0 0.0%
その他の世帯	3	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%

(2) お世話を必要としている人

① 自分がお世話をしている家族×お世話の頻度

自分がお世話をしている家族が母親・父親の場合、お世話の頻度が「ほぼ毎日」と回答した人の割合が他に比べて高くなっている。

	サンプル数	ほぼ毎日	週に3～5日	週に1～2日	1か月に数日	その他	未回答等
全体	163 100.0%	95 58.3%	32 19.6%	23 14.1%	8 4.9%	5 3.1%	0 0.0%
母親	24 100.0%	18 75.0%	3 12.5%	0 0.0%	3 12.5%	0 0.0%	0 0.0%
父親	11 100.0%	8 72.7%	1 9.1%	1 9.1%	0 0.0%	1 9.1%	0 0.0%
祖母	18 100.0%	7 38.9%	6 33.3%	3 16.7%	0 0.0%	2 11.1%	0 0.0%
祖父	8 100.0%	2 25.0%	2 25.0%	3 37.5%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%
きょうだい	113 100.0%	67 59.3%	24 21.2%	17 15.0%	3 2.7%	2 1.8%	0 0.0%
その他	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%

② 自分がお世話をしている家族×お世話をすることによる生活への影響（よくある・たまにある）

自分がお世話をしている家族が母親や父親の場合、全体的に生活への影響があると答えた人の割合が高くなっている。

	サンプル数	学校に行けないことがある	学校を遅刻・早退してしまう	勉強する時間が取れない	睡眠が十分に取れない	友人と遊べないことがある	部活や習い事が思うようにできない	自分の自由になる時間が取れない	自分が自由に過ごせる場所がない	学校のこともどうでもいと思うことがある	未回答等
全体	163 100.0%	3 1.8%	10 6.1%	42 25.8%	27 16.6%	27 16.6%	11 6.7%	57 35.0%	41 25.2%	21 12.9%	0 0.0%
母親	24 100.0%	0 0.0%	3 12.5%	8 33.3%	9 37.5%	5 20.8%	4 16.7%	14 58.3%	11 45.8%	5 20.8%	0 0.0%
父親	11 100.0%	0 0.0%	2 18.2%	2 18.2%	2 18.2%	4 36.4%	3 27.3%	4 36.4%	4 36.4%	2 18.2%	0 0.0%
祖母	18 100.0%	0 0.0%	1 5.6%	3 16.7%	3 16.7%	1 5.6%	1 5.6%	7 38.9%	2 11.1%	4 22.2%	0 0.0%
祖父	8 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	1 12.5%	1 12.5%	0 0.0%
きょうだい	113 100.0%	3 2.7%	6 5.3%	31 27.4%	18 15.9%	20 17.7%	6 5.3%	39 34.5%	27 23.9%	13 11.5%	0 0.0%
その他	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%

③ 自分がお世話をしている家族×お世話をすることについて感じていること

自分がお世話をしている家族が母親の場合、「身体的につらい」、「精神的につらい」、「時間的余裕がない」と回答した人の割合が他に比べて高くなっている。また、お世話を必要としている人が「祖母」、「祖父」の場合、「やりがいを感じている」と回答した人の割合が他に比べて高くなっている。

	サンプル数	やりがいを感じている	楽しい	充実している	身体的につらい	精神的につらい	時間的余裕がない	特に感じていない	その他	未回答等
全体	163 100.0%	45 27.6%	63 38.7%	34 20.9%	17 10.4%	37 22.7%	42 25.8%	45 27.6%	9 5.5%	0 0.0%
母親	24 100.0%	5 20.8%	4 16.7%	4 16.7%	5 20.8%	11 45.8%	9 37.5%	5 20.8%	3 12.5%	0 0.0%
父親	11 100.0%	1 9.1%	1 9.1%	1 9.1%	1 9.1%	5 45.5%	2 18.2%	5 45.5%	1 9.1%	0 0.0%
祖母	18 100.0%	7 38.9%	4 22.2%	4 22.2%	3 16.7%	7 38.9%	4 22.2%	3 16.7%	1 5.6%	0 0.0%
祖父	8 100.0%	4 50.0%	4 50.0%	3 37.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
きょうだい	113 100.0%	31 27.4%	50 44.2%	23 20.4%	11 9.7%	20 17.7%	29 25.7%	32 28.3%	6 5.3%	0 0.0%
その他	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

④ 自分がお世話をしている家族×お世話の悩みを相談した経験の有無

自分がお世話をしている家族が母親の場合、お世話の悩みを相談した経験があると回答した人の割合が高くなっている。

	サンプル数	ある	ない	未回答等
全体	163 100.0%	46 28.2%	117 71.8%	0 0.0%
母親	24 100.0%	10 41.7%	14 58.3%	0 0.0%
父親	11 100.0%	4 36.4%	7 63.6%	0 0.0%
祖母	18 100.0%	7 38.9%	11 61.1%	0 0.0%
祖父	8 100.0%	1 12.5%	7 87.5%	0 0.0%
きょうだい	113 100.0%	31 27.4%	82 72.6%	0 0.0%
その他	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%

⑤ 自分がお世話をしている家族×悩んだり困っていること

自分がお世話をしている家族が母親の場合、悩んだり困っていることを回答した人の割合が全体的に高い傾向がある。

	サンプル数	友人との関係のこと	学業成績のこと	進路のこと	部活動のこと	学費（授業料）など学校生活に必要なお金のこと	塾（通信教育やオンライン授業を含む）や習い事ができないこと	家庭の経済状況のこと	自分と家族との関係のこと	家族内の人間関係のこと（両親の仲が良くないなど）	病気や障がいのある家族のこと	自分のために使える時間が少ないこと	自分が自由を過ごす場所がないこと	自分に自信が持てないこと	その他	特になし	未回答等
全体	163	44 27.0%	78 47.9%	69 42.3%	11 6.7%	29 17.8%	9 5.5%	39 23.9%	36 22.1%	33 20.2%	21 12.9%	36 22.1%	32 19.6%	63 38.7%	12 7.4%	44 27.0%	0 0.0%
母親	24	7 29.2%	10 41.7%	14 58.3%	2 8.3%	8 33.3%	1 4.2%	12 50.0%	9 37.5%	10 41.7%	8 33.3%	6 25.0%	7 29.2%	10 41.7%	4 16.7%	5 20.8%	0 0.0%
父親	11	4 36.4%	2 18.2%	3 27.3%	0 0.0%	3 27.3%	0 0.0%	3 27.3%	4 36.4%	4 36.4%	3 27.3%	3 27.3%	3 27.3%	3 27.3%	1 9.1%	4 36.4%	0 0.0%
祖母	18	4 22.2%	10 55.6%	10 55.6%	0 0.0%	3 16.7%	1 5.6%	8 44.4%	6 33.3%	3 16.7%	4 22.2%	2 11.1%	2 11.1%	8 44.4%	1 5.6%	4 22.2%	0 0.0%
祖父	8	2 25.0%	5 62.5%	2 25.0%	1 12.5%	1 12.5%	0 0.0%	1 12.5%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 37.5%	0 0.0%	2 25.0%	0 0.0%
きょうだい	113	32 28.3%	59 52.2%	47 41.6%	8 7.1%	16 14.2%	8 7.1%	22 19.5%	21 18.6%	22 19.5%	11 9.7%	28 24.8%	24 21.2%	44 38.9%	9 8.0%	29 25.7%	0 0.0%
その他	2	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%

(3) お世話の頻度

① お世話の頻度×今後の進路への影響

お世話の頻度が「ほぼ毎日」の人は、今後の進路への影響があると回答した人の割合が高くなっている。

	サンプル数	進学をあきらめ、就職を考えている	進学や就職をあきらめ、お世話に専念しようと考えている	進学先は、自宅から通えるところを選択しようと考えている	就職先は、自宅から通えるところを選択しようと考えている	進学先は、自宅外から通えるところを選択しようと考えている	就職先は、自宅外から通えるところを選択しようと考えている	進学先は、お世話の経験から、医療や福祉関係を選択しようと考えている	就職先は、お世話の経験から、医療や福祉関係を選択しようと考えている	特に進路に影響は受けていない	その他	未回答等
全体	163 100.0%	3 1.8%	0 0.0%	36 22.1%	8 4.9%	10 6.1%	4 2.5%	9 5.5%	4 2.5%	109 66.9%	3 1.8%	0 0.0%
ほぼ毎日	95 100.0%	2 2.1%	0 0.0%	25 26.3%	7 7.4%	6 6.3%	3 3.2%	5 5.3%	3 3.2%	57 60.0%	2 2.1%	0 0.0%
週に3～5日	32 100.0%	1 3.1%	0 0.0%	6 18.8%	1 3.1%	3 9.4%	0 0.0%	2 6.3%	1 3.1%	23 71.9%	0 0.0%	0 0.0%
週に1～2日	23 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 17.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 8.7%	0 0.0%	18 78.3%	0 0.0%	0 0.0%
1か月に数日	8 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 87.5%	0 0.0%	0 0.0%
その他	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%

② お世話の頻度×お世話をすることについて感じていること

お世話の頻度が「ほぼ毎日」の人は、「精神的につらい」「時間的余裕がない」と回答した人の割合が全体よりも高くなっている。一方、「やりがいを感じている」や「楽しい」と回答した人の割合も高くなっている。

	サンプル数	やりがいを感じている	楽しい	充実している	身体的につらい	精神的につらい	時間的余裕がない	特に感じていない	その他	未回答等
全体	163 100.0%	45 27.6%	63 38.7%	34 20.9%	17 10.4%	37 22.7%	42 25.8%	45 27.6%	9 5.5%	0 0.0%
ほぼ毎日	95 100.0%	28 29.5%	41 43.2%	21 22.1%	11 11.6%	29 30.5%	29 30.5%	20 21.1%	5 5.3%	0 0.0%
週に3～5日	32 100.0%	8 25.0%	9 28.1%	8 25.0%	4 12.5%	3 9.4%	8 25.0%	11 34.4%	4 12.5%	0 0.0%
週に1～2日	23 100.0%	4 17.4%	8 34.8%	3 13.0%	1 4.3%	2 8.7%	2 8.7%	11 47.8%	0 0.0%	0 0.0%
1か月に数日	8 100.0%	4 50.0%	4 50.0%	2 25.0%	0 0.0%	1 12.5%	1 12.5%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	5 100.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	2 40.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%

③ お世話の頻度×学校の先生や周りの大人に支援してほしいこと

お世話の頻度が「ほぼ毎日」・「週に3～5日」と頻度を多く回答した人は、全体的に支援してほしいことを回答した割合が高くなっている。反対に、お世話の頻度が「週に1～2日」・「1か月に数日」と頻度が少なく回答した人は、支援してほしいと回答した割合が低くなっている。

	サンプル数	自分の今の状況について話を聞いてほしい	家族のお世話について相談してほしい	家族の病気や障がい、お世話の仕方などについて分かりやすく説明してほしい	家族での相談や、話し合いのときにいっしょに参加してほしい	自分が行っているお世話のすべてを代わりにしてくれる人やサービスがほしい	自分が行っているお世話の一部を代わりにしてくれる人やサービスがほしい	自由に使える時間がほしい	自分の自由に過ごせる場所がほしい	進路や就職など将来の相談がほしい	学校の勉強や受験勉強などの学習のサポートをしてほしい	家庭への金銭面での支援をしてほしい	その他	特にな	わから	未回答等
全体	163 100.0%	22 13.5%	7 4.3%	6 3.7%	4 2.5%	4 2.5%	4 2.5%	28 17.2%	28 17.2%	12 7.4%	21 12.9%	18 11.0%	3 1.8%	91 55.8%	15 9.2%	0 0.0%
ほぼ毎日	95 100.0%	14 14.7%	3 3.2%	3 3.2%	2 2.1%	4 4.2%	4 4.2%	21 22.1%	21 22.1%	8 8.4%	12 12.6%	11 11.6%	3 3.2%	46 48.4%	10 10.5%	0 0.0%
週に3～5日	32 100.0%	5 15.6%	3 9.4%	1 3.1%	1 3.1%	0 0.0%	0 0.0%	4 12.5%	4 12.5%	2 6.3%	4 12.5%	3 9.4%	0 0.0%	18 56.3%	3 9.4%	0 0.0%
週に1～2日	23 100.0%	2 8.7%	0 0.0%	2 8.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.3%	1 4.3%	1 4.3%	2 8.7%	2 8.7%	0 0.0%	18 78.3%	1 4.3%	0 0.0%
1か月に数日	8 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	1 12.5%	0 0.0%	7 87.5%	0 0.0%	0 0.0%
その他	5 100.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 40.0%	2 40.0%	1 20.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%

④ お世話の頻度×悩んだり困ったりしていること

お世話の頻度が「ほぼ毎日」・「週に3～5日」と頻度を多く回答した人は、全体的に悩みや困りごとを回答した割合が高くなっている。反対に、お世話の頻度が週に「1～2日」・「1か月に数日」と頻度が少なく回答した人は、悩みや困りごとを回答した割合が低くなっている。

	サンプル数	友人との関係のこと	学業成績のこと	進路のこと	部活動のこと	学費（授業料）など学校生活に必要なお金のこと	塾（通信教育やオンライン授業を含む）や習い事ができないこと	家庭の経済状況のこと	自分と家族との関係のこと	家族内の人間関係のこと（両親の仲が良くないなど）	病気がいる家族のこと	自分のために使える時間が少ないこと	自分が自由に過ごせる場所がないこと	自分が自信が持てないこと	その他	特にな	未回答等
全体	163 100.0%	44 27.0%	78 47.9%	69 42.3%	11 6.7%	29 17.8%	9 5.5%	39 23.9%	36 22.1%	33 20.2%	21 12.9%	36 22.1%	32 19.6%	63 38.7%	12 7.4%	44 27.0%	0 0.0%
ほぼ毎日	95 100.0%	30 31.6%	46 48.4%	44 46.3%	8 8.4%	17 17.9%	7 7.4%	21 22.1%	26 27.4%	23 24.2%	15 15.8%	26 27.4%	23 24.2%	40 42.1%	8 8.4%	23 24.2%	0 0.0%
週に3～5日	32 100.0%	8 25.0%	14 43.8%	14 43.8%	2 6.3%	5 15.6%	1 3.1%	9 28.1%	6 18.8%	5 15.6%	3 9.4%	6 18.8%	6 18.8%	12 37.5%	2 6.3%	10 31.3%	0 0.0%
週に1～2日	23 100.0%	4 17.4%	12 52.2%	5 21.7%	1 4.3%	3 13.0%	1 4.3%	4 17.4%	3 13.0%	4 17.4%	2 8.7%	3 13.0%	1 4.3%	9 39.1%	2 8.7%	5 21.7%	0 0.0%
1か月に数日	8 100.0%	1 12.5%	3 37.5%	3 37.5%	0 0.0%	2 25.0%	0 0.0%	3 37.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	1 12.5%	1 12.5%	0 0.0%	4 50.0%	0 0.0%
その他	5 100.0%	1 20.0%	3 60.0%	3 60.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%	2 40.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%

(4) お世話をすることについて感じていること

① お世話をすることについて感じていること×お世話をすることによる生活への影響
(よくある・たまにある)

お世話をすることについて感じていることで「やりがいを感じている」、「楽しい」、「充実している」(以下楽しい等)と回答した人は、「身体的につらい」、「精神的につらい」、「時間的余裕がない」(以下つらさ等)と回答した人に比べて、生活への影響がある割合が低い。また、「身体的につらい」と回答した人は「睡眠が十分に取れない」の割合が70.6%と高く、「時間的余裕がない」と回答した人は「自分の自由になる時間が取れない」が85.7%と高い。

	サンプル数	学校に行けないことがある	学校を遅刻・早退してしまう	勉強する時間が取れない	睡眠が十分に取れない	友人と遊べないことがある	部活や習い事が思うようにできない	自分の自由になる時間が取れない	自分が自由に過ごせる場所がない	学校のことをどうでもいいと思うことがある	未回答等
全体	163 100.0%	3 1.8%	10 6.1%	42 25.8%	27 16.6%	27 16.6%	11 6.7%	57 35.0%	41 25.2%	21 12.9%	0 0.0%
やりがいを感じている	45 100.0%	0 0.0%	1 2.2%	9 20.0%	7 15.6%	7 15.6%	2 4.4%	15 33.3%	10 22.2%	5 11.1%	0 0.0%
楽しい	63 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	17 27.0%	7 11.1%	8 12.7%	3 4.8%	19 30.2%	16 25.4%	5 7.9%	0 0.0%
充実している	34 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 29.4%	6 17.6%	4 11.8%	2 5.9%	12 35.3%	9 26.5%	4 11.8%	0 0.0%
身体的につらい	17 100.0%	2 11.8%	6 35.3%	11 64.7%	12 70.6%	6 35.3%	1 5.9%	12 70.6%	9 52.9%	9 52.9%	0 0.0%
精神的につらい	37 100.0%	2 5.4%	7 18.9%	20 54.1%	17 45.9%	15 40.5%	6 16.2%	27 73.0%	22 59.5%	11 29.7%	0 0.0%
時間的余裕がない	42 100.0%	3 7.1%	7 16.7%	28 66.7%	17 40.5%	16 38.1%	4 9.5%	36 85.7%	24 57.1%	12 28.6%	0 0.0%
特に感じていない	45 100.0%	0 0.0%	1 2.2%	4 8.9%	1 2.2%	4 8.9%	2 4.4%	6 13.3%	4 8.9%	3 6.7%	0 0.0%
その他	9 100.0%	0 0.0%	1 11.1%	2 22.2%	1 11.1%	3 33.3%	1 11.1%	4 44.4%	3 33.3%	2 22.2%	0 0.0%

② お世話をすることについて感じていること×今後の進路への影響

お世話をすることについて感じていることで「身体的につらい」と回答した人は、「進学先は、自宅外から通えるところを選択しようと考えている」、「就職先は、自宅外から通えるところを選択しようと考えている」と回答した割合が高くなっている。

	サンプル数	進学をあきらめ、就職を考えている	進学や就職をあきらめ、お世話に専念しようと考えている	進学先は、自宅から通えるところを選択しようと考えている	就職先は、自宅から通えるところを選択しようと考えている	進学先は、自宅外から通えるところを選択しようと考えている	就職先は、自宅外から通えるところを選択しようと考えている	進学先は、お世話の経験から、医療や福祉関係を選択しようと考えている	就職先は、お世話の経験から、医療や福祉関係を選択しようと考えている	特に進路に影響は受けていない	その他	未回答等
全体	163 100.0%	3 1.8%	0 0.0%	36 22.1%	8 4.9%	10 6.1%	4 2.5%	9 5.5%	4 2.5%	109 66.9%	3 1.8%	0 0.0%
やりがいを感じている	45 100.0%	1 2.2%	0 0.0%	10 22.2%	2 4.4%	3 6.7%	0 0.0%	5 11.1%	3 6.7%	30 66.7%	0 0.0%	0 0.0%
楽しい	63 100.0%	1 1.6%	0 0.0%	16 25.4%	2 3.2%	2 3.2%	0 0.0%	3 4.8%	2 3.2%	43 68.3%	0 0.0%	0 0.0%
充実している	34 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	11 32.4%	1 2.9%	1 2.9%	0 0.0%	2 5.9%	2 5.9%	20 58.8%	0 0.0%	0 0.0%
身体的につらい	17 100.0%	2 11.8%	0 0.0%	4 23.5%	1 5.9%	7 41.2%	4 23.5%	1 5.9%	0 0.0%	3 17.6%	1 5.9%	0 0.0%
精神的につらい	37 100.0%	2 5.4%	0 0.0%	14 37.8%	4 10.8%	6 16.2%	4 10.8%	3 8.1%	0 0.0%	13 35.1%	2 5.4%	0 0.0%
時間的余裕がない	42 100.0%	3 7.1%	0 0.0%	14 33.3%	2 4.8%	7 16.7%	3 7.1%	4 9.5%	1 2.4%	17 40.5%	1 2.4%	0 0.0%
特に感じていない	45 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 8.9%	2 4.4%	0 0.0%	0 0.0%	2 4.4%	1 2.2%	39 86.7%	1 2.2%	0 0.0%
その他	9 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 77.8%	1 11.1%	0 0.0%

③ お世話をすることについて感じていること×お世話の悩みを相談した経験の有無、相談していない理由

お世話をすることについて感じていることでつらさ等と回答した人は、楽しい等と回答をした人に比べて、相談経験「あり」と回答した割合が高くなっている。また、相談していない理由については、楽しい等と回答をした人で「誰かに相談するほどの悩みではない」の割合が高くなっている。一方つらさ等と回答をした人は、「相談しても状況が変わらない」の割合が高くなっている。

[日頃の悩みを相談した経験の有無]

	サンプル数	ある	ない	未回答等
全体	163 100.0%	46 28.2%	117 71.8%	0 0.0%
やりがいを感じている	45 100.0%	13 28.9%	32 71.1%	0 0.0%
楽しい	63 100.0%	18 28.6%	45 71.4%	0 0.0%
充実している	34 100.0%	9 26.5%	25 73.5%	0 0.0%
身体的につらい	17 100.0%	7 41.2%	10 58.8%	0 0.0%
精神的につらい	37 100.0%	19 51.4%	18 48.6%	0 0.0%
時間的余裕がない	42 100.0%	16 38.1%	26 61.9%	0 0.0%
特に感じていない	45 100.0%	7 15.6%	38 84.4%	0 0.0%
その他	9 100.0%	4 44.4%	5 55.6%	0 0.0%

[相談していない理由]

	サンプル数	誰かに相談するほどの悩みではない	家族外の人に相談するような悩みではない	誰に相談するのがよいかわからない	相談できる人が身近にいない	家族のこのため、話しにくい	家族のことを知られたくない	家族に対して偏見を持たれたくない	相談しても状況が変わると思わない	相談しても状況を理解してもらえない	相談した相手困らせたくない	その他	未回答等
全体	117 100.0%	76 65.0%	21 17.9%	9 7.7%	9 7.7%	14 12.0%	7 6.0%	9 7.7%	21 17.9%	12 10.3%	20 17.1%	11 9.4%	0 0.0%
やりがいを感じている	32 100.0%	23 71.9%	10 31.3%	0 0.0%	1 3.1%	3 9.4%	2 6.3%	3 9.4%	5 15.6%	2 6.3%	4 12.5%	2 6.3%	0 0.0%
楽しい	45 100.0%	32 71.1%	12 26.7%	1 2.2%	3 6.7%	4 8.9%	2 4.4%	1 2.2%	7 15.6%	1 2.2%	5 11.1%	6 13.3%	0 0.0%
充実している	25 100.0%	18 72.0%	8 32.0%	1 4.0%	3 12.0%	4 16.0%	2 8.0%	1 4.0%	7 28.0%	2 8.0%	4 16.0%	2 8.0%	0 0.0%
身体的につらい	10 100.0%	5 50.0%	2 20.0%	2 20.0%	2 20.0%	4 40.0%	1 10.0%	1 10.0%	5 50.0%	2 20.0%	3 30.0%	0 0.0%	0 0.0%
精神的につらい	18 100.0%	6 33.3%	5 27.8%	6 33.3%	6 33.3%	6 33.3%	3 16.7%	3 16.7%	10 55.6%	5 27.8%	10 55.6%	1 5.6%	0 0.0%
時間的余裕がない	26 100.0%	9 34.6%	5 19.2%	6 23.1%	7 26.9%	7 26.9%	3 11.5%	3 11.5%	14 53.8%	7 26.9%	11 42.3%	1 3.8%	0 0.0%
特に感じていない	38 100.0%	27 71.1%	4 10.5%	2 5.3%	0 0.0%	3 7.9%	2 5.3%	2 5.3%	2 5.3%	3 7.9%	5 13.2%	3 7.9%	0 0.0%
その他	5 100.0%	2 40.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	3 60.0%	2 40.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%

- ④ お世話をすることについて感じていること×お世話をしている現状を理解している人
 楽しい等と回答をした人では、お世話をしている現状を理解している人で「しんせき
 の人（おじ、おばなど）」の割合が高くなっている。反対につらさ等と回答をした人では
 「知っている人はいないと思う」の割合が高くなっている。

	サンプル 数	学校の先 生（保健 室の先生 以外）	保健室の 先生	スクール ソーシャル ワーカーやス クールカ ウンセ ラー	しんせき の人（お じ、おば など）	SNS上で の知り合 い	医師や看 護師、そ の他病院 の人	ヘルパー やケアマ ネ ジャー、 福祉サー ビスの人	その他	知ってい る人はい ないと思 う	未回答等
全体	163 100.0%	50 30.7%	12 7.4%	5 3.1%	70 42.9%	7 4.3%	10 6.1%	13 8.0%	15 9.2%	57 35.0%	0 0.0%
やりがいを感じ ている	45 100.0%	15 33.3%	3 6.7%	0 0.0%	25 55.6%	3 6.7%	4 8.9%	5 11.1%	4 8.9%	9 20.0%	0 0.0%
楽しい	63 100.0%	27 42.9%	6 9.5%	0 0.0%	39 61.9%	4 6.3%	4 6.3%	7 11.1%	5 7.9%	11 17.5%	0 0.0%
充実している	34 100.0%	12 35.3%	4 11.8%	1 2.9%	16 47.1%	1 2.9%	2 5.9%	4 11.8%	3 8.8%	9 26.5%	0 0.0%
身体的につらい	17 100.0%	8 47.1%	5 29.4%	3 17.6%	4 23.5%	0 0.0%	3 17.6%	2 11.8%	2 11.8%	6 35.3%	0 0.0%
精神的につらい	37 100.0%	15 40.5%	4 10.8%	2 5.4%	10 27.0%	2 5.4%	2 5.4%	2 5.4%	4 10.8%	17 45.9%	0 0.0%
時間的余裕がな い	42 100.0%	19 45.2%	4 9.5%	3 7.1%	12 28.6%	2 4.8%	1 2.4%	4 9.5%	3 7.1%	18 42.9%	0 0.0%
特に感じていな い	45 100.0%	6 13.3%	0 0.0%	1 2.2%	17 37.8%	2 4.4%	3 6.7%	4 8.9%	3 6.7%	19 42.2%	0 0.0%
その他	9 100.0%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	4 44.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	3 33.3%	2 22.2%	0 0.0%

⑤ お世話をすることについて感じていること×学校の先生や周りの大人に支援してほしいこと

つらさ等と回答をした人では、全体的に支援してほしいことの回答が高くなっている。また、特に「自分の今の状況について話を聞いてほしい」、「自由に使える時間がほしい」、「自分の自由に過ごせる場所がほしい」の割合が高くなっている。

	サンプル数	自分の今の状況について話を聞いてほしい	家族のお世話について話を聞いてほしい	家族の病気や障がい、お世話の仕方などについて分かりやすく説明してほしい	家族での相談や、話し合いのときにいっしょに参加してほしい	自分が行っているお世話をすべてを代わりにやってくれる人やサービスがほしい	自分が行っているお世話の一部を代わりにやってくれる人やサービスがほしい	自由に使える時間がほしい	自分の自由に過ごせる場所がほしい	進路や就職など将来の相談にのってほしい	学校の勉強や受験勉強などのサポートをしてほしい	家庭への金銭面での支援をしてほしい	その他	特にない	わからない	未回答等
全体	163 100.0%	22 13.5%	7 4.3%	6 3.7%	4 2.5%	4 2.5%	4 2.5%	28 17.2%	28 17.2%	12 7.4%	21 12.9%	18 11.0%	3 1.8%	91 55.8%	15 9.2%	0 0.0%
やりがいを感じている	45 100.0%	5 11.1%	2 4.4%	4 8.9%	2 4.4%	1 2.2%	2 4.4%	7 15.6%	8 17.8%	4 8.9%	6 13.3%	4 8.9%	0 0.0%	27 60.0%	3 6.7%	0 0.0%
楽しい	63 100.0%	6 9.5%	1 1.6%	4 6.3%	1 1.6%	2 3.2%	2 3.2%	9 14.3%	11 17.5%	4 6.3%	6 9.5%	6 9.5%	0 0.0%	39 61.9%	4 6.3%	0 0.0%
充実している	34 100.0%	3 8.8%	2 5.9%	3 8.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.9%	6 17.6%	7 20.6%	4 11.8%	5 14.7%	5 14.7%	0 0.0%	19 55.9%	3 8.8%	0 0.0%
身体的につらい	17 100.0%	7 41.2%	4 23.5%	1 5.9%	2 11.8%	1 5.9%	1 5.9%	7 41.2%	5 29.4%	3 17.6%	6 35.3%	6 35.3%	0 0.0%	3 17.6%	2 11.8%	0 0.0%
精神的につらい	37 100.0%	15 40.5%	5 13.5%	2 5.4%	4 10.8%	4 10.8%	3 8.1%	18 48.6%	15 40.5%	6 16.2%	12 32.4%	10 27.0%	2 5.4%	4 10.8%	4 10.8%	0 0.0%
時間的余裕がない	42 100.0%	15 35.7%	5 11.9%	3 7.1%	3 7.1%	2 4.8%	3 7.1%	20 47.6%	15 35.7%	6 14.3%	12 28.6%	8 19.0%	1 2.4%	7 16.7%	4 9.5%	0 0.0%
特に感じていない	45 100.0%	1 2.2%	0 0.0%	1 2.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.2%	2 4.4%	2 4.4%	2 4.4%	1 2.2%	0 0.0%	36 80.0%	3 6.7%	0 0.0%
その他	9 100.0%	3 33.3%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	2 22.2%	1 11.1%	0 0.0%	1 11.1%	1 11.1%	2 22.2%	2 22.2%	3 33.3%	0 0.0%

⑥ お世話をすることについて感じていること×悩んだり困ったりしていること

つらさ等と回答をした人では、悩んだり困ったりしていることがあると回答した割合が高くなっている。

	サンプル数	友人との関係のこと	学業成績のこと	進路のこと	部活動のこと	学費(授業料)など学校生活に必要なお金のこと	塾(通信教育やオンライン授業を含む)や習い事ができないこと	家庭の経済状況のこと	自分と家族との関係のこと	家族内の人間関係のこと(両親の仲が良くないなど)	病気や障がいのある家族のこと	自分のために使える時間が少ないこと	自分が自由に過ごせる場所がないこと	自分が自信が持てないこと	その他	特にない	未回答等
全体	163 100.0%	44 27.0%	78 47.9%	69 42.3%	11 6.7%	29 17.8%	9 5.5%	39 23.9%	36 22.1%	33 20.2%	21 12.9%	36 22.1%	32 19.6%	63 38.7%	12 7.4%	44 27.0%	0 0.0%
やりがいを感じている	45 100.0%	13 28.9%	20 44.4%	17 37.8%	1 2.2%	7 15.6%	4 8.9%	12 26.7%	6 13.3%	3 6.7%	4 8.9%	7 15.6%	5 11.1%	13 28.9%	1 2.2%	16 35.6%	0 0.0%
楽しい	63 100.0%	15 23.8%	26 41.3%	22 34.9%	3 4.8%	8 12.7%	4 6.3%	11 17.5%	7 11.1%	5 7.9%	3 4.8%	10 15.9%	8 12.7%	18 28.6%	1 1.6%	25 39.7%	0 0.0%
充実している	34 100.0%	9 26.5%	15 44.1%	12 35.3%	1 2.9%	7 20.6%	2 5.9%	10 29.4%	5 14.7%	3 8.8%	2 5.9%	6 17.6%	5 14.7%	10 29.4%	2 5.9%	12 35.3%	0 0.0%
身体的につらい	17 100.0%	8 47.1%	11 64.7%	12 70.6%	2 11.8%	9 52.9%	3 17.6%	11 64.7%	9 52.9%	10 58.8%	5 29.4%	10 58.8%	9 52.9%	11 64.7%	2 11.8%	0 0.0%	
精神的につらい	37 100.0%	16 43.2%	24 64.9%	24 64.9%	4 10.8%	13 35.1%	5 13.5%	21 56.8%	21 56.8%	21 56.8%	15 40.5%	18 48.6%	18 48.6%	24 64.9%	3 8.1%	2 5.4%	0 0.0%
時間的余裕がない	42 100.0%	13 31.0%	27 64.3%	26 61.9%	5 11.9%	15 35.7%	6 14.3%	19 45.2%	19 45.2%	21 50.0%	10 23.8%	26 61.9%	18 42.9%	24 57.1%	5 11.9%	2 4.8%	0 0.0%
特に感じていない	45 100.0%	12 26.7%	18 40.0%	17 37.8%	4 8.9%	4 8.9%	0 0.0%	2 4.4%	5 11.1%	5 11.1%	4 8.9%	3 6.7%	2 4.4%	16 35.6%	3 6.7%	14 31.1%	0 0.0%
その他	9 100.0%	3 33.3%	6 66.7%	4 44.4%	0 0.0%	1 11.1%	1 11.1%	2 22.2%	3 33.3%	2 22.2%	2 22.2%	3 33.3%	4 44.4%	6 66.7%	3 33.3%	0 0.0%	0 0.0%

4 中高生の生活実態に関するアンケート調査 自由意見

中高生の生活実態に関するアンケートにおいて、さまざまな自由意見が寄せられたため、その一部を紹介する。以下に記載する意見は、原文のままではないが、なるべく回答者の表現を用いる形で記載している。

(1) お世話をしている家族がいると回答した生徒からの要望

- ・政府や自治体による支援、ボランティアなどによる手助けがヤングケアラーさんたちにはもっと必要だと思う
- ・みんながヤングケアラーの存在を知るために、もっと実態を伝えて行くべき。私には関係ない……ではなく、ひとりひとりが、病気を持つ人、障害の方達に寄り添う気持ちを持ち、できる事をして支えてあげる事が必要だと思います。
- ・ヤングケアラーが生まれる原因とは、相談できる大人がいないことや誰に相談したら良いのかわからないことにあると思う。また、多くが家庭内でのケアなのでなかなか周囲の人が気付くことは難しいのかもしれない。ヤングケアラーの問題を解決するためには若い世代でも情報を得ることができるよう SNS 等でここに頼ってください、など呼びかけや広告を多く出していくことが必要だと思う。また学校などで相談してねなどと言われると尚更相談しづらくなってしまいう人もいると思うので、声をかけたり一対一で話す機会を設けるよりも掲示板にこういう機関がありますよというようなポスターを張り出しておくの方がいいと思った。
- ・家族のお世話をしていることで困っていることは、気が滅入ったり、憂鬱になって何もかも嫌になったりすること。あとたまにふと「自分は今何やってるんだろうな」と思う。
- ・幼い兄弟がいて、家庭学習の時間がなかなか確保できなかったり、勉強の邪魔をされたり、睡眠時間が短くなってしまったりして困っています。でも、小さい子は好きなので面倒を見ていていやになることはないです。
- ・支援をしてあげべきだと思います。お金のことや精神的に辛かったりと思うのでそばで見守るというだけでもいいから対応をしてあげるのが1番いいと思います。
- ・支援を広げていくのは良い事だと思うが、すごく心配してくるとかたくさん家族のことを聞いてくるとか、そういう風にならないでほしいと思います。怖い思いをしてしまうので。
- ・ヤングケアラーという子供がいることを初めて知りました。私のように知らない人も沢山だと思うので、このようなアンケートなどでヤングケアラーの認知度を広げて、ヤングケアラーの子供もいて当然だという社会、国にしてほしいと思います。私も、この機会からヤングケアラーというものを知ってしっかり覚えていようと思います。
- ・弟がたくさんいて世話をするのが当たり前の生活だったので、兄弟が多いから困っているのか、ヤングケアラーだから困っているのか、関係ないのかが自分で分からない。勉強する場所・時間を選べないといった不自由さは感じるが、自分が怠っているだけのようにも思えて、相談しにくい。母と単身赴任中の父の関係が良好でなく、板挟みになっているように感じてストレスになる。

- ・子供が家族をサポートするのはとても大変だと思います。自分は母や父がいるけれど、いない人はもっと大変だと思うので、その事にすぐ気づいてくれる大人がいたら良いと思います。
- ・もっと色々な人に知ってもらい、誰かに手助けしてもらおうことで少しは楽な気持ちになると思います。

(2) ヤングケアラーに必要なと思う支援

[相談体制や相談しやすい環境づくり]

- ・ヤングケアラーの方達が苦しい思いをしたときに、素直に相談できる場所をつくるのが大切だと思う
- ・本人が相談できる相手が必要だと思う。LINE などを使うと相談しやすいと思う。

[学校におけるサポート]

- ・学校内でも、友達同士で理解して助け合ったり、教員がサポートに回ったりといったことも出来ると思う。
- ・この状況なので出来ませんが、必ず学生一人一人家庭での三者面談も必要だと思う。そうすることにより、虐待児童の確認もできて、家庭での相談できない事を持っている児童が減ると思う。
- ・ヤングケアラーという言葉が学生が耳にする機会はほとんどないと思うので、学校でお話していただいたり授業で扱ったりと知ることが大切だと思います。
- ・気軽に相談できる場所が必要。私たちにとって一番身近な、家族以外の大人は学校の先生。学校の先生にも知識や理解が必要。

[周囲の大人の理解]

- ・大人と子供たちの信頼関係を深めていくことが大切だと思いました。
- ・ラジオで「他人に迷惑をかけてはいけない」「家族が面倒をみないで他人に任せるのは可哀想なこと」という大人の考えからヤングケアラーが生まれる場合があると知りました。そういう考え方から変わって、助けを受けやすい社会になってほしいなと思いました。

[ヤングケアラーの普及啓発]

- ・CM、インターネットなどでお知らせや宣伝、広告をすると良いと思います
- ・募金活動や、ヤングケアラーについて分かりやすく解説したやつをテレビで放映する。
- ・自分はこの質問があって初めてヤングケアラーを知ったのでもっとヤングケアラーを知ってもらうためポスターや広告など広めることが必要だと思います。
- ・SNS (TikTok、YouTube など) で発信していったら若い人もよく見るし理解が深まると思う
- ・学校での特別授業を行うなどのことをしていけばいいと思う。ヤングケアラーということがみんなにまずは知ってもらうことが、やっぱり大切だと思う。

Ⅲ 学校におけるヤングケアラーへの対応に関するアンケート調査

1 学校におけるヤングケアラーへの対応に関するアンケート調査 実施概要

(1) 調査対象

札幌市立の中学校（99校）、高等学校（7校）、中等教育学校（1校）及び特別支援学校（5校）の計112校

(2) 調査方法

調査票を配布し、返信用封筒で回収を行った。

(3) 調査期間

令和3年11月12日（金）～令和3年12月10日（金）

※当初予定の調査期間（11月30日（火）まで）を延長

(4) 回収状況

調査対象数	有効回答数	回収率
112	111	99.1%

2 学校におけるヤングケアラーへの対応に関するアンケート調査 調査結果

(1) 基本情報

問1 回答者の役職

回答者の役職は「教頭」が70.3%と最も高くなっている。

サンプル数 (n)	校長	教頭	主幹・ 主任教諭	養護教諭	スクール ソーシャル ワーカー (SSW)	スクール カウンセ ラー (SC)	その他	未回答等
111	5.4%	70.3%	20.7%	0.9%	0.0%	0.0%	2.7%	0.9%

※複数回答

問2 学校区分

学校区分は以下のとおり。

サンプル数 (n)	中学校	中等教育 学校	高等学校 (全日制)	高等学校 (定時制)	特別支援 学校	未回答等
111	87.4%	0.9%	5.4%	0.9%	4.5%	0.9%

問3 学校規模（全校生徒数）

学校規模は以下のとおり。

サンプル数 (n)	150 人未満	150 人以上～ 300 人未満	300 人以上～ 500 人未満	500 人以上	未回答等
111	9.9%	12.6%	38.7%	36.0%	2.7%

(2) 支援が必要だと思われる子どもへの対応

問4 支援が必要だと思われる子どもについての校内での共有ケース

校内で共有している子どものケースは、「学校を休みがちである」が97.3%と最も高く、次いで、「精神的な不安定さがある」(82.9%)、「保健室で過ごしていることが多い」(76.6%)、「遅刻や早退が多い」(73.9%)となっている。

サンプル数 (n)	111
学校を休みがちである	97.3%
遅刻や早退が多い	73.9%
保健室で過ごしていることが多い	76.6%
精神的な不安定さがある	82.9%
身だしなみが整っていない	36.9%
学力が低下している	39.6%
宿題や持ち物の忘れ物が多い	35.1%
保護者の承諾が必要な書類等の提出遅れや提出忘れが多い	35.1%
学校に必要なものを家庭で用意してもらえない	27.9%
部活を途中でやめてしまった	35.1%
修学旅行や宿泊行事等を欠席する	51.4%
諸納金の支払いが遅れる、未払い	46.9%
居眠りが多い	35.1%
非常に疲れている様子がある	30.6%
その他	11.7%
未回答等	0.9%

※複数回答

問5 情報共有・対応の検討を行う体制の状況

校内で共有している子どものケースについての情報共有・対応の検討体制については、「不登校の子どもに関する校内の検討体制で検討している」が67.6%と最も高く、次いで「不登校以外の子どもに関する校内の検討体制で検討している」(21.6%)、「個別に対応している（決まった検討体制はない）」(9.9%)となっている。

サンプル数 (n)	不登校の子どもに関する校内の検討体制で検討している	不登校以外の子どもに関する校内の検討体制で検討している	個別に対応している（決まった検討体制はない）	未回答等
111	67.6%	21.6%	9.9%	0.9%

問6-(1) 情報共有・対応の種類

「不登校の子どもに関する校内の検討体制で検討している」「不登校以外の子どもに関する校内の検討体制で検討している」と回答した学校に、校内の情報共有・対応の検討体制について聞いたところ、「生徒指導部・委員会など」が74.8%と最も高くなっている。

サンプル数 (n)	スクリーニング会議	ケース会議	生徒指導部・委員会など	児童生徒理解・支援シートなど共通様式による情報共有	教育相談コーディネーターなど調整役として活動する教職員の配置	その他	未回答等
99	12.1%	56.6%	74.8%	46.5%	48.5%	16.2%	0.0%

※複数回答

問6-(2) スクリーニング会議等の参加者と開催頻度

情報共有・対応の検討方法で、「スクリーニング会議」、「ケース会議」、「生徒指導部・委員会など」、「その他」と回答した学校に、それぞれの会議の参加者、頻度を聞いた結果は以下のとおり。

[会議の参加者]

	サンプル数 (n)	校長	教頭	学年主任	担任教諭	生徒指導担当	養護教諭	S S W	S C	外部の 関係機関	その他	未回答等
スクリーニング 会議	12	75.0%	91.7%	83.3%	66.7%	83.3%	66.7%	0.0%	33.3%	8.3%	25.0%	0.0%
ケース会議	56	51.8%	94.6%	82.1%	83.9%	87.5%	64.3%	17.9%	64.3%	12.5%	26.8%	0.0%
生徒指導部・委 員会など	74	56.8%	71.6%	62.2%	37.8%	94.6%	55.4%	2.7%	39.2%	1.4%	16.2%	0.0%
その他	16	43.8%	75.0%	62.5%	62.5%	75.0%	68.8%	12.5%	31.3%	6.3%	43.8%	0.0%

その他：

[会議の頻度]

	サンプ ル数 (n)	2週間に 1回以上	月に1回 程度	半年に1 回程度	年に1回 程度	必要な時 に随時開 催	未回答等
スクリーニン グ会議	12	8.3%	50.0%	33.3%	8.3%	0.0%	0.0%
ケース会議	56	8.9%	8.9%	16.1%	0.0%	66.1%	0.0%
生徒指導部・委 員会など	74	12.2%	55.4%	13.5%	2.7%	13.5%	2.7%
その他	16	31.3%	37.5%	18.8%	0.0%	6.3%	6.3%

※複数回答

問7 個別対応の場合の情報共有・対応の検討方法など

個別対応の場合の情報共有、対応の検討方法について聞いたところ、以下のような回答があった。

- ・すべての教員が、共通のシートを利用して生徒情報を入力している。ケースによって対応が異なるが、学級担任が対応する場合や、学年体制での対応、指導部を中心とした学校としての対応、管理職が入った対応など様々である。どのような対応でも、情報は共有され、全体で周知が図られている。
- ・毎日の出欠の確認を教頭が把握し、必要に応じて、気になる生徒について担任や学年、生徒指導等と情報を共有し、対応を検討している。
- ・情報共有について、校内サーバーの「掲示板」で生徒情報を共有している。必要や場合に応じて、学年や生徒支援部等で対応を検討している。
- ・不登校、家庭環境、問題行動等、心配な生徒の情報については、所定の様式に入力し、校務支援システムのメッセージ機能を使って全教職員に共有されている（基本的に毎日更新されている）。
- ・基本的には週1回会議を行っている。参加者は、教頭、養教、各学年1名、SC、学びのサポーター、教育相談係。各学年の授業中や生活面で気になる生徒について、情報交流をしている。場合によっては、別室登校を促したり、よりよい方向へ進めるように検討もしている。
- ・担任、特別支援パートナー、管理職その他関係する教職員でケース会議
- ・欠席（旅行行事の欠席も含む）や遅刻・早退に関しては、その都度保護者・生徒から理由を聞き確認。職員室内の所定の掲示板に記載し、全職員がわかるようにしている。保健室は心の相談窓口としての機能を有している。生徒が相談し、内容によって担任や管理職に連絡、場合によってケース会議を持ち情報共有と対応を行こなっている。身だしなみや授業中の居眠り、精神的な様子の変化など、生徒の把握については教科担当を含めすべての職員が日常的に情報共有と対応を行っている。また、同時に5回程度、定期的に配慮が必要とされる生徒についての情報共有と対応を管理職およびカウンセラーを交えて会議を行っている。
- ・ケースによっても異なるが、担任・学年主任・養護教諭・事務職員らが気づいたことを、その生徒が関わる教職員間で共有するように心がけている。共有された情報をもとに、必要に応じてケース会議を開き、場合によっては保護者や外部機関とも連携し対応を考えるようにしている。

問8 学校と関係機関との連携体制の状況

校内で共有している子どものケースについて学校以外の関係機関と連携する体制があるかどうか、また体制がある場合、連携する関係機関については、以下のとおり。

体制の有無では、「不登校のケース」で「ある」が88.3%と高くなっている。

連携する関係機関では、「不登校のケース」で「SSW、SC」(66.7%)が最も高くなっている。「その他のケース」では、「児童相談所」(35.1%)が最も高くなっている。

[学校以外の関係機関との連携体制]

	サンプル数 (n)	ある	特にない	未回答等
不登校のケース	111	88.3%	6.3%	5.4%
その他のケース	111	46.9%	6.3%	46.9%

[連携する関係機関]

	サンプル数 (n)	教育委員会	SSW、SC	各区の福祉部門 (保健センターを除く)	各区の保健部門 (保健センター)	各区家庭児童相談室(要対 協調整機関/虐待対応部門)	教育支援センター (適応指導教室)
不登校のケース	111	43.2%	66.7%	15.3%	8.1%	56.8%	52.3%
その他のケース	111	26.1%	33.3%	6.3%	5.4%	33.3%	11.7%

	フリースクール・子ども食堂などの民間団体・施設	児童相談所	民生委員	医療機関	警察や刑事司法関係機関	その他	未回答等
不登校のケース	21.6%	50.5%	9.9%	24.3%	9.9%	2.7%	5.4%
その他のケース	5.4%	35.1%	9.9%	11.7%	12.6%	2.7%	46.9%

※複数回答

(3) ヤングケアラーについて

問9 ヤングケアラーという言葉の認知度

ヤングケアラーの概念については、「言葉は知っているが、学校としては特別な対応をしていない」(68.5%)が最も高くなっている。次いで、「言葉を知っており、学校として意識して対応している」(28.8%)、「言葉を知らない」(2.7%)となっている。

サンプル数 (n)	言葉を知らない	言葉を聞いたことがあるが、具体的には知らない	言葉は知っているが、学校としては特別な対応をしていない	言葉を知っており、学校として意識して対応している	未回答等
111	2.7%	0.0%	68.5%	28.8%	0.0%

問10 ヤングケアラーの実態の把握の有無

ヤングケアラーの概念について「言葉を知っており、学校として意識して対応している」と回答した学校について、子どもの実態把握の状況については、「把握している」(65.6%)が最も高くなっている。次いで、「「ヤングケアラー」と思われる子どもはいるが、その実態は把握していない」(18.8%)、「該当する子どもはいない(これまででもいなかった)」(12.5%)となっている。

サンプル数 (n)	把握している	「ヤングケアラー」と思われる子どもはいるが、その実態は把握していない	該当する子どもはいない(これまででもいなかった)	未回答等
32	65.6%	18.8%	12.5%	3.1%

問11 把握方法

ヤングケアラーを「把握している」と回答した学校に、把握方法について聞いたところ、「特定のツールはないが、できるだけ「ヤングケアラー」の視点を持って検討・対応している」(66.7%)が最も高くなっている。

サンプル数 (n)	特定のツールはないが、できるだけ「ヤングケアラー」の視点を持って検討・対応している	特定のツールはないが、できるだけ「ヤングケアラー」の視点を持って検討・対応している	その他	未回答等
21	4.8%	66.7%	33.3%	0.0%

[その他の内容]

<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談 ・児童相談所、家庭児童相談室などと連携 ・小学校と連携 など
--

問12 ヤングケアラーの有無

ヤングケアラーの概念を示したうえで、ヤングケアラーに該当すると思われる子どもの有無について聞いたところ、「いる」が44.1%となっている。

サンプル数 (n)	いる	いない	わからない	未回答等
111	44.1%	16.2%	39.6%	0.0%

問12 再掲 ヤングケアラーという言葉の認知度×ヤングケアラーの有無

ヤングケアラーという言葉の認知度別にヤングケアラーの有無をみると、「言葉を知っており、学校として意識して対応している」では、「いる」と回答した割合が78.1%と高くなっている。一方、「言葉を知っているが、学校としては特別な対応をしていない」では、「わからない」と回答した割合が55.3%と高くなっている。

		サンプル数	いる	いない	わからない
ヤングケアラーという言葉の認知度	全体	111 100.0%	49 44.1%	18 16.2%	44 39.6%
	言葉を知らない	3 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%
	言葉を聞いたことがあるが、具体的には知らない	0 -	0 -	0 -	0 -
	言葉を知っているが、学校としては特別な対応をしていない	76 100.0%	23 30.3%	11 14.5%	42 55.3%
	言葉を知っており、学校として意識して対応している	32 100.0%	25 78.1%	6 18.8%	1 3.1%

問13-(1) ヤングケアラーの人数

ヤングケアラーが「いる」と回答した学校に、「ヤングケアラー」の人数を聞いた結果は以下の通り。

サンプル数 (n)	1人	2人	3人	4人	5人以上	未回答等
49	30.6%	42.9%	14.3%	6.1%	6.1%	0.0%

問13-(2) 上記のうち、子どもの権利が守られていない子どもの人数

ヤングケアラーが「いる」と回答した学校に、子どもの権利が守られていない子どもの人数を聞いた結果は以下の通り。

サンプル数 (n)	0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	未回答等
49	26.5%	34.7%	28.6%	6.1%	2.0%	2.0%	0.0%

問13-(3) ヤングケアラーと思われる子どもの状況（お世話の内容）

ヤングケアラーと思われる子どもの状況について聞いたところ、「家族の代わりに、幼いきょうだいの世話をしている」（77.6%）が最も高くなっている。次いで、「障がいや病気のある家族に代わり、家事（買い物、料理、洗濯、掃除など）をしている」（30.6%）となっている。

サンプル数（n）	49
障がいや病気のある家族に代わり、家事（買い物、料理、洗濯、掃除など）をしている	30.6%
家族の代わりに、幼いきょうだいの世話をしている	77.6%
家族の代わりに、障がいや病気のあるきょうだいの世話をしている	6.1%
目を離せない家族の見守りや声かけをしている	14.3%
家族の通訳をしている	8.2%
家計を支えるために、アルバイト等をしている	4.1%
アルコール・薬物・ギャンブルなどの問題のある家族に対応している	8.2%
病気の家族の看病をしている（たんの吸引や経管栄養の管理等、医療的ケアを含む）	2.0%
障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている	4.1%
障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている	0.0%
精神的に不安定な家族のケアをしている	12.2%
障がいや病気の家族の世話や介護のことをいつも気にかけている	6.1%
その他	12.2%
未回答等	0.0%

※複数回答

問13-(4) 学校以外の外部の支援につないだケースの有無

ヤングケアラーと思われる子どもについて、学校以外の外部の支援につないだケースがあるか聞いたところ、「外部の支援にはつないでいない（学校内で対応している）」（63.3%）が最も高くなっている。

サンプル数（n）	区家庭児童相談室又は児童相談所に児童虐待通告したケースがある	児童虐待通告の対象とまで言えないが、学校以外の外部の支援につないだケースがある	外部の支援にはつないでいない（学校内で対応している）	未回答等
49	18.4%	24.5%	63.3%	0.0%

※複数回答

問13-(5) 個別の事例

①区家庭児童相談室又は児童相談所に児童虐待通告したケース、②児童虐待通告の対象とまで言えないが、学校以外の外部の支援につないだケースについて、直近のケースを1件ずつ聞いたところ、主な結果は以下のとおり。

i 世帯がつながっていた機関

①、②のケースともに「その他」の割合が最も高く、その内訳の中でも「家庭児童相談室」、「児童相談所」の割合が高かった。

	①家児相、児相	②学校以外の外部の支援
サンプル数 (n)	9	12
医療機関や訪問医療	22.2%	16.7%
介護保険や障がいなどの福祉サービス	11.1%	0.0%
その他	55.6%	58.3%
わからない	22.2%	25.0%
未回答	11.1%	8.3%

※複数回答

[その他の内訳]

<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭児童相談室 (①、②) ・ 児童相談所 (①、②) ・ 子どもアシストセンター (②) ・ 保護課 (①、②) ・ ソーシャルワーカー (②) ・ 教育委員会 (②)
--

ii 学校が直接連携した機関（つないだ機関）

①、②のケースともに「SSW、SC」の割合が最も高くなっている。①のケースでは、次いで「その他」、「各区の保健部門（保健センター）」となっている。②のケースでは、次いで「各区の福祉部門（保健センターを除く）」、「その他」となっている。

なお、その他の内訳は①、②のケースともに「家庭児童相談室」、「児童相談所」となっている。

	①家児相、児相	②学校以外の外部の支援
サンプル数 (n)	9	12
教育委員会	22.2%	8.3%
SSW、SC	44.4%	50.0%
各区の福祉部門（保健センターを除く）	11.1%	33.3%
各区の保健部門（保健センター）	33.3%	16.7%
教育支援センター（適応指導教室）	11.1%	8.3%
フリースクール・子ども食堂などの 民間団体・施設	0.0%	0.0%
民生委員	22.2%	0.0%
医療機関	11.1%	0.0%
警察や刑事司法関係機関	0.0%	0.0%
その他	44.4%	25.0%
未回答	11.1%	0.0%

※複数回答

[その他の内訳]

<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭児童相談室（①、②） ・ 児童相談所（①、②）
--

iii 区家庭児童相談室又は児童相談所への通告ルート（①のケース）

①のケースについて、「学校から直接連絡」の割合が最も高くなっており、約9割を占める。次いで、「その他」となっており、その他の内訳は「警察」である。

	①家児相、児相
サンプル数 (n)	9
教育委員会経由	0.0%
S S W・S C 経由	0.0%
学校から直接連絡	88.9%
その他	11.1%
未回答	11.1%

※複数回答

[その他]

・警察

iv 外部機関へのつなぎ方（②のケース）

「学校から直接連絡」の割合が最も高くなっており、約6割を占める。次いで、「教育委員会経由」、「その他」となっている。その他の内訳は「祖父母から」、「学校から父親を通して」となっている。

	②学校以外の外部の支援
サンプル数 (n)	12
教育委員会経由	16.7%
S S W・S C 経由	8.3%
学校から直接連絡	58.3%
その他	16.7%
未回答	0.0%

※複数回答

[その他]

・祖父母から ・学校から父親を通して

v その他記述内容

①、②のケースいずれかを回答した学校 19 校からの回答は以下のとおり。

[ヤングケアラーと気づいた理由・きっかけ]

- ・担任から本人の聞きとりで発覚。放課後、友人と遊んでいても、無理やり(この中に暴力もあり)連れ戻され、家事をさせられるなどと話したため。
- ・本生徒が担任に話した。
- ・小学校からの引継
- ・要保護対策児童協議会より
- ・子どもの出席状況や不自然な欠席理由
- ・別居している祖父母からの情報
- ・教育相談

[学校で行った支援]

- ・児童相談所との連携
- ・家庭訪問、登校の働きかけ
- ・生徒本人との面談
- ・市教委就学援助申請

[支援した結果子どもの変化]

- ・大きな変化はない。
- ・表情の変化(明るくなった)欠席がなくなり、遅刻・早退が減った。
- ・担任との関係が構築されつつある。
- ・困ったときには、いつでも SOS を出してよいことを伝えたことにより、生徒の安心感につながった。

[学校から見た支援の難しさ]

- ・保護者と連絡がつきにくい。
- ・家庭の内容については、なかなか踏み込めない。
- ・家庭の状況を把握できない。
- ・保護者が支援を必要としていなく、対応が難しい。
- ・保護者はしつけの一環と主張。
- ・学校ができる範囲が生徒への支援だけであるため、抜本的な解決に至らない。
- ・ヤングケアラーの対象者を判断する場合、その線引きが難しい。
- ・子供に関して働きかけることはできるが、保護者と関わるのは難しい。

問13-(6) 外部の支援につないでいない（学校内で対応している）理由

外部の支援につないでいないケース（学校内で対応している）(31校)について、
つないでいない理由と対応方法について聞いたところ、以下のような回答があった。

つないでいない理由
<ul style="list-style-type: none">・ 本人納得の上でのことであり、過度な負担とはなっていないため。・ 家庭の状況を具体的に把握できていないため。・ 経過観察、把握中のため。・ 外部につなぐかははっきりと判断できないため。 など
対応方法
<ul style="list-style-type: none">・ 声かけや見守・ 校内で情報共有・ 養護教諭、SC、SSW などとつないでいる。・ 面談を行う。 など

問13-(7) ヤングケアラーの把握や支援にあたって工夫等していること

ヤングケアラーの把握や支援にあたって工夫していること、気をつけていること
について聞いたところ、以下のような回答があった。

<ul style="list-style-type: none">・ 子どもが自分の気持ちを表出することができるよう、コミュニケーションを大切にしながら、信頼関係を構築している。・ アンケートや相談などで状況把握に努めている。・ 日常の学校生活（欠席や遅刻の有無など）について注意深く観察する。・ 認知した際には、学校での周知を行い、教育委員会等、関係機関と連携を速やかに取る。・ 見守りや声掛けを行い、情報の共有を行っている。・ 家庭への介入は慎重に行うように配慮している。・ 行事に参加できなかった場合でも、疎外感を感じさせないように配慮している。

問13-(8) ヤングケアラーの把握や支援にあたって難しいと感じること

ヤングケアラーの把握や支援にあたって難しいと感じることについて聞いたところ、以下のような回答があった。

- ・保護者の協力が得られない。
- ・表面化しづらい。
- ・通常の「お手伝い」と「ヤングケアラー」の線引きが難しい。
- ・家庭の問題に対して、学校がどこまで介入できるのか、判断が難しい。
- ・子どもが親をかばって本当のことを話してくれないことがある。
- ・子どもが助けを求めないことがある。
- ・正確な実態の把握が困難。

問13-(9) ヤングケアラーと思われる子どもを把握するためのチェック項目

ヤングケアラーと思われる子どもを把握するためのチェック項目について、意見や変更・追加項目を聞いたところ、以下のような回答があった。

※変更項目案はなかったため掲載していない。

ご意見

- ・いじめや虐待といった件でも使える選択肢である。
- ・よく見かける生徒の状態なので、それだけでヤングケアラーと判断はできない。
- ・これらの選択肢に該当しない事例が多いと思う。

追加項目案

- ・保護者との連絡がつきにくい。
- ・欠席や遅刻等の連絡が保護者から入ってこない。
- ・家族に障がいがある人がいる。
- ・友人と遊ぶ様子が見られない。
- ・頻繁に急いで帰宅する。

問14 ヤングケアラーを把握していない理由

ヤングケアラーの定義に該当すると思われる子どもがいるか「わからない」と回答した学校に、その理由を聞いたところ、「家族内のことで問題が表に出にくく、実態の把握が難しい」(95.5%)が最も高くなっている。次いで、「ヤングケアラーである子ども自身やその家族が「ヤングケアラー」という問題を認識していない」(38.6%)となっている。

サンプル数 (n)	44
学校において、「ヤングケアラー」の概念や支援対象としての認識が不足している	13.6%
不登校やいじめなどに比べ緊急性が高くないため、「ヤングケアラー」に関する実態の把握が後回しになる	6.8%
家族内のことで問題が表に出にくく、実態の把握が難しい	95.5%
ヤングケアラーである子ども自身やその家族が「ヤングケアラー」という問題を認識していない	38.6%
その他	6.8%
未回答等	0.0%

※複数回答

問15 ヤングケアラー支援のために必要なこと

ヤングケアラーを支援するために必要だと思うことは、「子ども自身がヤングケアラーについて知ること」(82.0%)が最も高くなっている。次いで、「保護者がヤングケアラーについて知ること」(74.8%)、「教職員がヤングケアラーについて知ること」(69.4%)、「子どもが教員に相談しやすい関係をつくること」(55.9%)、「SSWやSCなどの専門職の配置が充実すること」(42.3%)となっている。

サンプル数 (n)	111
子ども自身がヤングケアラーについて知ること	82.0%
保護者がヤングケアラーについて知ること	74.8%
教職員がヤングケアラーについて知ること	69.4%
学校にヤングケアラーが何人いるか把握すること	36.0%
SSWやSCなどの専門職の配置が充実すること	42.3%
子どもが教員に相談しやすい関係をつくること	55.9%
ヤングケアラーについて検討する組織を校内につくること	5.4%
学校にヤングケアラー本人や保護者が相談できる窓口があること	24.3%
学校がヤングケアラーの支援について相談できる機関があること	40.5%
ヤングケアラーを支援するNPOなどの団体が増えること	22.5%
福祉と教育の連携を進めること	16.2%
その他	6.3%
特にない	0.0%
未回答等	4.5%

※複数回答

問16 ヤングケアラーへの支援に関する自由意見

- ・ヤングケアラーについての周知活動を広げること。
- ・保護者の「困り感」が根本にあるケースが多いように感じています。子どもはもちろんですが、保護者を支援する体制（団体、窓口等）と広報が広がればと思います。
- ・ヤングケアラーは、家庭の中にまで踏み込むことなので、非常にデリケートな問題である。よって、それを知り得た時の対応について、教職員で共有しておくことが、これからも必要である。また、多くの関係機関の連携がとても大切になってくると考える。それぞれの立場で、できること、できないことがあるので、連携を密にすることは大切である。
- ・本校は生徒数が多いが、SCの配置は1名で、週1回のカウンセリング日しか設定されておらず、相談したくても順番待ちになることが多い。SCから様々なアドバイスを受け、外部機関につなげたり、保護者への支援が可能になることも多いので、是非複数配置をお願いしたい。
- ・家庭内の状況のため、普段、ヤングケアラーかどうかの判断は情報が少なく難しい。むしろ、不登校や様々なトラブルへの対応を行う中で、家庭内のようにすが見えてきて、子どもが家の中でどんな立場で、どんな役割を担っていたのかを把握することが多い。また子どもも家庭内の状況を他人に話すことで家庭がこわれることを不安に感じ、虐待のケースでさえも覚悟をもって証言するまで時間がかかる。学校としては、常に子供に寄り沿う姿勢をつらぬくことと、子どもが相談しやすい関係性をつくることに力を注ぎたい。
- ・各家庭なりの事情もあり、判断するには難しいケースもあると思う。ただ難しい部分だけが先行して、現場でその問題がいつも先送りになることは避けたいと考える。
- ・近年、両親共働きで早朝から夜まで子供だけになる等、十分子どもに目をかけることができている家庭が非常に多くなっている傾向があり、それにともない、ネグレクトやヤングケアラーとなる可能性も高まっていると思います。学校でも早期発見、早期対応できるよう注意深く見守っていますが、中々家庭内のことということもあり把握しづらいことです。また、把握できた場合でも、どのように対応するべきか悩むところです。早期発見と適切な対応のためには、上記問15の選択肢の内容を促進することが必要不可欠だと思います。
- ・ヤングケアラーと呼ばれる生徒の家庭に対して、人的支援、場合によっては経済的支援が必要と思う。支援が必要となる時間帯は、下校後～登校前の、いわゆる家庭で過ごす時間であるため、その時間に対応できる機関があるとよいと感じる。

IV 集計表

1 中高生の生活実態に関するアンケート調査

問1 回答者の学年

択一

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	3,018	826	3,844	100.0%	100.0%	100.0%
1年生	1,183	242	1,425	39.2%	29.3%	37.1%
2年生	1,003	261	1,264	33.2%	31.6%	32.9%
3年生	832	315	1,147	27.6%	38.1%	29.8%
4年生	0	8	8	0.0%	1.0%	0.2%
未回答等	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

問2 回答者の性別

択一

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	3,018	826	3,844	100.0%	100.0%	100.0%
男性	1,226	301	1,527	40.6%	36.4%	39.7%
女性	1,681	478	2,159	55.7%	57.9%	56.2%
どちらともいえない	39	20	59	1.3%	2.4%	1.5%
答えたくない	72	27	99	2.4%	3.3%	2.6%
未回答等	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

問3-① 家族の人数

数字入力

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	3,018	826	3,844	100.0%	100.0%	100.0%
1人	0	10	10	0.0%	1.2%	0.3%
2人	174	66	240	5.8%	8.0%	6.2%
3人	715	199	914	23.7%	24.1%	23.8%
4人	1,322	360	1,682	43.8%	43.6%	43.8%
5人	560	151	711	18.6%	18.3%	18.5%
6人以上	247	40	287	8.2%	4.8%	7.5%
未回答等	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

問3-② 家族の内訳

複数回答

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	3,018	826	3,844	100.0%	100.0%	100.0%
母親	2,966	784	3,750	98.3%	94.9%	97.6%
父親	2,384	611	2,995	79.0%	74.0%	77.9%
祖母	311	82	393	10.3%	9.9%	10.2%
祖父	182	60	242	6.0%	7.3%	6.3%
兄	586	126	712	19.4%	15.3%	18.5%
姉	596	135	731	19.7%	16.3%	19.0%
弟	810	226	1,036	26.8%	27.4%	27.0%
妹	775	204	979	25.7%	24.7%	25.5%
その他	82	29	111	2.7%	3.5%	2.9%
未回答等	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

問3-② 別掲 家族構成

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	3,018	826	3,844	100.0%	100.0%	100.0%
二世帯世帯	2,130	539	2,669	70.6%	65.3%	69.4%
三世帯世帯	342	90	432	11.3%	10.9%	11.2%
ひとり親家庭	524	170	694	17.4%	20.6%	18.1%
その他の世帯	22	27	49	0.7%	3.3%	1.3%
未回答等	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

問3-③ 単身赴任している父母の有無

択一

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	3,018	826	3,844	100.0%	100.0%	100.0%
いる	356	118	474	11.8%	14.3%	12.3%
いない	2,662	708	3,370	88.2%	85.7%	87.7%
未回答等	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

問4 世帯の中でお世話が必要な人の有無

択一

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	3,018	826	3,844	100.0%	100.0%	100.0%
いる	227	62	289	7.5%	7.5%	7.5%
いない	2,791	764	3,555	92.5%	92.5%	92.5%
未回答等	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

問5 お世話が必要な人の内訳

複数回答

条件(問4-いる)

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	227	62	289	100.0%	100.0%	100.0%
母親	23	8	31	10.1%	12.9%	10.7%
父親	15	4	19	6.6%	6.5%	6.6%
祖母	38	13	51	16.7%	21.0%	17.6%
祖父	28	17	45	12.3%	27.4%	15.6%
きょうだい	140	23	163	61.7%	37.1%	56.4%
その他	10	0	10	4.4%	0.0%	3.5%
未回答等	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

問6 別掲1 自分が世話をしている家族の有無(ヤングケアラーの割合)

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	3,018	826	3,844	100.0%	100.0%	100.0%
自分が世話をしている家族がいる	129	34	163	4.3%	4.1%	4.2%

問6 別掲2 ヤングケアラーが世話をしている家族の続柄

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	129	34	163	100.0%	100.0%	100.0%
母親	18	6	24	14.0%	17.6%	14.7%
父親	9	2	11	7.0%	5.9%	6.7%
祖母	12	6	18	9.3%	17.6%	11.0%
祖父	6	2	8	4.7%	5.9%	4.9%
きょうだい	93	20	113	72.1%	58.8%	69.3%
その他	2	0	2	1.6%	0.0%	1.2%

【お世話が必要な人=母親】について】

問6-① お世話を必要としている人の状況

複数回答

条件 (問5-母親)

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	23	8	31	100.0%	100.0%	100.0%
高齢 (65歳以上)	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
若い	0	2	2	0.0%	25.0%	6.5%
要介護 (介護が必要な状態)	0	2	2	0.0%	25.0%	6.5%
認知症	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
身体が不自由 (身体障がい、視覚障がい、聴覚障がいを含む)	4	3	7	17.4%	37.5%	22.6%
知的障がい	1	0	1	4.3%	0.0%	3.2%
発達障がい (知的障がいを除く)	2	0	2	8.7%	0.0%	6.5%
精神的な病気 (気分の不安定さや極度の不安などがあり生活に支障がある状態) (疑い含む)	15	4	19	65.2%	50.0%	61.3%
依存症 (お酒の飲み過ぎや、かけごとのしすぎなどにより生活に支障の出る状態) (疑い含む)	4	1	5	17.4%	12.5%	16.1%
上記以外の病気やけが	4	1	5	17.4%	12.5%	16.1%
その他	2	0	2	8.7%	0.0%	6.5%
未回答等	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

問6-② お世話をしている人の内訳

複数回答

条件 (問4-いる)

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	23	8	31	100.0%	100.0%	100.0%
母親	2	1	3	8.7%	12.5%	9.7%
父親	8	3	11	34.8%	37.5%	35.5%
祖母	5	1	6	21.7%	12.5%	19.4%
祖父	1	0	1	4.3%	0.0%	3.2%
きょうだい	11	4	15	47.8%	50.0%	48.4%
しんせきの人	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
自分	18	6	24	78.3%	75.0%	77.4%
福祉サービス (ヘルパーなど) を利用	1	1	2	4.3%	12.5%	6.5%
その他	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
未回答等	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

問6-③ 自分が担っている役割

複数回答

条件 (問6②-自分を含む)

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	18	6	24	100.0%	100.0%	100.0%
家事 (食事の準備や掃除、洗濯)	9	6	15	50.0%	100.0%	62.5%
きょうだいの世話や保育所等への送迎など	2	1	3	11.1%	16.7%	12.5%
身体的な介護 (入浴やトイレのお世話など)	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
外出の付き添い (買い物、散歩など)	6	4	10	33.3%	66.7%	41.7%
病院への付き添い	2	0	2	11.1%	0.0%	8.3%
感情面のサポート (ぐちを聞く、話し相手、遊び相手になるなど)	13	3	16	72.2%	50.0%	66.7%
見守り	7	3	10	38.9%	50.0%	41.7%
通訳 (日本語や手話など)	1	0	1	5.6%	0.0%	4.2%
金銭管理	0	1	1	0.0%	16.7%	4.2%
薬の管理 (薬を小分けにしたり、渡したりするなど)	1	1	2	5.6%	16.7%	8.3%
医療的ケア (たんの吸引や経管栄養の管理など)	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
家計のサポート (家計を支えるためにアルバイトや労働をするなど)	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
福祉サービス (ホームヘルパーやデイサービスなど) の申込みや連絡	0	1	1	0.0%	16.7%	4.2%
その他	1	0	1	5.6%	0.0%	4.2%
未回答等	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

問6-④ お世話が必要な人の医療機関の利用状況

択一

条件（問6②-自分を含む）

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	18	6	24	100.0%	100.0%	100.0%
はい	11	5	16	61.1%	83.3%	66.7%
いいえ	4	1	5	22.2%	16.7%	20.8%
わからない	3	0	3	16.7%	0.0%	12.5%
未回答等	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

問6-⑤ お世話が必要な人について医療関係者に相談した経験の有無

択一

条件（問6④-はい）

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	11	5	16	100.0%	100.0%	100.0%
はい	0	2	2	0.0%	40.0%	12.5%
いいえ	11	3	14	100.0%	60.0%	87.5%
未回答等	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

問6-⑥ お世話が必要な人の福祉サービスなどの利用状況

択一

条件（問6②-自分を含む）

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	18	6	24	100.0%	100.0%	100.0%
はい	0	1	1	0.0%	16.7%	4.2%
いいえ	15	4	19	83.3%	66.7%	79.2%
わからない	3	1	4	16.7%	16.7%	16.7%
未回答等	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

問6-⑦ お世話が必要な人について福祉サービス職員に相談した経験の有無

択一

条件（問6⑥-はい）

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	0	1	1	-	100.0%	100.0%
はい	0	1	1	-	100.0%	100.0%
いいえ	0	0	0	-	0.0%	0.0%
未回答等	0	0	0	-	0.0%	0.0%

【お世話が必要な人=父親】について】

問6-① お世話を必要としている人の状況

複数回答

条件 (問5-父親)

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	15	4	19	100.0%	100.0%	100.0%
高齢 (65歳以上)	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
若い	1	0	1	6.7%	0.0%	5.3%
要介護 (介護が必要な状態)	3	0	3	20.0%	0.0%	15.8%
認知症	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
身体が不自由 (身体障がい、視覚障がい、聴覚障がいを含む)	7	2	9	46.7%	50.0%	47.4%
知的障がい	1	0	1	6.7%	0.0%	5.3%
発達障がい (知的障がいを除く)	1	0	1	6.7%	0.0%	5.3%
精神的な病気 (気分の不安定さや極度の不安などがあり生活に支障がある状態) (疑い含む)	2	0	2	13.3%	0.0%	10.5%
依存症 (お酒の飲み過ぎや、かけごとのしすぎなどにより生活に支障の出る状態) (疑い含む)	4	0	4	26.7%	0.0%	21.1%
上記以外の病気やけが	1	1	2	6.7%	25.0%	10.5%
その他	0	1	1	0.0%	25.0%	5.3%
未回答等	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

問6-② お世話をしている人の内訳

複数回答

条件 (問4-いる)

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	15	4	19	100.0%	100.0%	100.0%
母親	11	4	15	73.3%	100.0%	78.9%
父親	1	0	1	6.7%	0.0%	5.3%
祖母	1	0	1	6.7%	0.0%	5.3%
祖父	1	0	1	6.7%	0.0%	5.3%
きょうだい	5	2	7	33.3%	50.0%	36.8%
しんせきの人	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
自分	9	2	11	60.0%	50.0%	57.9%
福祉サービス (ヘルパーなど) を利用	2	0	2	13.3%	0.0%	10.5%
その他	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
未回答等	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

問6-③ 自分が担っている役割

複数回答

条件 (問6②-自分を含む)

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	9	2	11	100.0%	100.0%	100.0%
家事 (食事の準備や掃除、洗濯)	3	1	4	33.3%	50.0%	36.4%
きょうだいの世話や保育所等への送迎など	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
身体的な介護 (入浴やトイレのお世話など)	2	0	2	22.2%	0.0%	18.2%
外出の付き添い (買い物、散歩など)	0	1	1	0.0%	50.0%	9.1%
病院への付き添い	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
感情面のサポート (ぐちを聞く、話し相手、遊び相手になるなど)	4	0	4	44.4%	0.0%	36.4%
見守り	5	0	5	55.6%	0.0%	45.5%
通訳 (日本語や手話など)	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
金銭管理	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
薬の管理 (薬を小分けにしたり、渡したりするなど)	0	1	1	0.0%	50.0%	9.1%
医療的ケア (たんの吸引や経管栄養の管理など)	1	0	1	11.1%	0.0%	9.1%
家計のサポート (家計を支えるためにアルバイトや労働をするなど)	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
福祉サービス (ホームヘルパーやデイサービスなど) の申込みや連絡	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
未回答等	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

問6-④ お世話が必要な人の医療機関の利用状況

択一

条件（問6②-自分を含む）

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	9	2	11	100.0%	100.0%	100.0%
はい	5	2	7	55.6%	100.0%	63.6%
いいえ	3	0	3	33.3%	0.0%	27.3%
わからない	1	0	1	11.1%	0.0%	9.1%
未回答等	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

問6-⑤ お世話が必要な人について医療関係者に相談した経験の有無

択一

条件（問6④-はい）

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	5	2	7	100.0%	100.0%	100.0%
はい	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
いいえ	5	2	7	100.0%	100.0%	100.0%
未回答等	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

問6-⑥ お世話が必要な人の福祉サービスなどの利用状況

択一

条件（問6②-自分を含む）

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	9	2	11	100.0%	100.0%	100.0%
はい	1	0	1	11.1%	0.0%	9.1%
いいえ	7	0	7	77.8%	0.0%	63.6%
わからない	1	2	3	11.1%	100.0%	27.3%
未回答等	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

問6-⑦ お世話が必要な人について福祉サービス職員に相談した経験の有無

択一

条件（問6⑥-はい）

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	1	0	1	100.0%	-	100.0%
はい	0	0	0	0.0%	-	0.0%
いいえ	1	0	1	100.0%	-	100.0%
未回答等	0	0	0	0.0%	-	0.0%

【お世話が必要な人=祖母】について】

問6-① お世話を必要としている人の状況

複数回答

条件（問5-祖母）

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	38	13	51	100.0%	100.0%	100.0%
高齢（65歳以上）	37	13	50	97.4%	100.0%	98.0%
幼い	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
要介護（介護が必要な状態）	8	0	8	21.1%	0.0%	15.7%
認知症	12	3	15	31.6%	23.1%	29.4%
身体が不自由（身体障がい、視覚障がい、聴覚障がいを含む）	8	2	10	21.1%	15.4%	19.6%
知的障がい	1	0	1	2.6%	0.0%	2.0%
発達障がい（知的障がいを除く）	1	0	1	2.6%	0.0%	2.0%
精神的な病気（気分の不安定さや極度の不安などがあり生活に支障がある状態）（疑い含む）	4	0	4	10.5%	0.0%	7.8%
依存症（お酒の飲み過ぎや、かけごとのしすぎなどにより生活に支障の出る状態）（疑い含む）	1	0	1	2.6%	0.0%	2.0%
上記以外の病気やけが	8	2	10	21.1%	15.4%	19.6%
その他	1	1	2	2.6%	7.7%	3.9%
未回答等	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

問6-② お世話をしている人の内訳

複数回答

条件（問4-いる）

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	38	13	51	100.0%	100.0%	100.0%
母親	30	12	42	78.9%	92.3%	82.4%
父親	6	7	13	15.8%	53.8%	25.5%
祖母	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
祖父	5	3	8	13.2%	23.1%	15.7%
きょうだい	3	1	4	7.9%	7.7%	7.8%
しんせきの人	6	2	8	15.8%	15.4%	15.7%
自分	12	6	18	31.6%	46.2%	35.3%
福祉サービス（ヘルパーなど）を利用	12	1	13	31.6%	7.7%	25.5%
その他	1	0	1	2.6%	0.0%	2.0%
未回答等	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

問6-③ 自分が担っている役割

複数回答

条件（問6②-自分を含む）

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	12	6	18	100.0%	100.0%	100.0%
家事（食事の準備や掃除、洗濯）	5	1	6	41.7%	16.7%	33.3%
きょうだいの世話や保育所等への送迎など	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
身体的な介護（入浴やトイレのお世話など）	2	0	2	16.7%	0.0%	11.1%
外出の付き添い（買い物、散歩など）	8	4	12	66.7%	66.7%	66.7%
病院への付き添い	3	1	4	25.0%	16.7%	22.2%
感情面のサポート（ぐちを聞く、話し相手、遊び相手になるなど）	4	2	6	33.3%	33.3%	33.3%
見守り	6	2	8	50.0%	33.3%	44.4%
通訳（日本語や手話など）	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
金銭管理	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
薬の管理（薬を小分けにしたり、渡したりするなど）	2	0	2	16.7%	0.0%	11.1%
医療的ケア（たんの吸引や経管栄養の管理など）	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
家計のサポート（家計を支えるためにアルバイトや労働をするなど）	0	1	1	0.0%	16.7%	5.6%
福祉サービス（ホームヘルパーやデイサービスなど）の申込みや連絡	1	0	1	8.3%	0.0%	5.6%
その他	1	1	2	8.3%	16.7%	11.1%
未回答等	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

問6-④ お世話が必要な人の医療機関の利用状況

択一

条件（問6②-自分を含む）

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	12	6	18	100.0%	100.0%	100.0%
はい	10	6	16	83.3%	100.0%	88.9%
いいえ	2	0	2	16.7%	0.0%	11.1%
わからない	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
未回答等	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

問6-⑤ お世話が必要な人について医療関係者に相談した経験の有無

択一

条件（問6④-はい）

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	10	6	16	100.0%	100.0%	100.0%
はい	2	1	3	20.0%	16.7%	18.8%
いいえ	8	5	13	80.0%	83.3%	81.3%
未回答等	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

問6-⑥ お世話が必要な人の福祉サービスなどの利用状況

択一

条件（問6②-自分を含む）

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	12	6	18	100.0%	100.0%	100.0%
はい	4	0	4	33.3%	0.0%	22.2%
いいえ	6	6	12	50.0%	100.0%	66.7%
わからない	2	0	2	16.7%	0.0%	11.1%
未回答等	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

問6-⑦ お世話が必要な人について福祉サービス職員に相談した経験の有無

択一

条件（問6⑥-はい）

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	4	0	4	100.0%	-	100.0%
はい	1	0	1	25.0%	-	25.0%
いいえ	3	0	3	75.0%	-	75.0%
未回答等	0	0	0	0.0%	-	0.0%

【お世話が必要な人=祖父）について】

問6-① お世話を必要としている人の状況

複数回答

条件（問5-祖父）

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	28	17	45	100.0%	100.0%	100.0%
高齢（65歳以上）	26	15	41	92.9%	88.2%	91.1%
幼い	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
要介護（介護が必要な状態）	8	6	14	28.6%	35.3%	31.1%
認知症	7	4	11	25.0%	23.5%	24.4%
身体が不自由（身体障がい、視覚障がい、聴覚障がいを含む）	8	7	15	28.6%	41.2%	33.3%
知的障がい	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
発達障がい（知的障がいを除く）	1	0	1	3.6%	0.0%	2.2%
精神的な病気（気分の不安定さや極度の不安などがあり生活に支障がある状態）（疑い含む）	0	1	1	0.0%	5.9%	2.2%
依存症（お酒の飲み過ぎや、かけごとのしすぎなどにより生活に支障の出る状態）（疑い含む）	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
上記以外の病気やけが	4	4	8	14.3%	23.5%	17.8%
その他	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
未回答等	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

問6-② お世話をしている人の内訳

複数回答

条件（問4-いる）

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	28	17	45	100.0%	100.0%	100.0%
母親	22	9	31	78.6%	52.9%	68.9%
父親	4	4	8	14.3%	23.5%	17.8%
祖母	13	4	17	46.4%	23.5%	37.8%
祖父	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
きょうだい	5	0	5	17.9%	0.0%	11.1%
しんせきの人	3	3	6	10.7%	17.6%	13.3%
自分	6	2	8	21.4%	11.8%	17.8%
福祉サービス（ヘルパーなど）を利用	7	9	16	25.0%	52.9%	35.6%
その他	0	1	1	0.0%	5.9%	2.2%
未回答等	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

問6-③ 自分が担っている役割

複数回答

条件（問6②-自分を含む）

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	6	2	8	100.0%	100.0%	100.0%
家事（食事の準備や掃除、洗濯）	2	0	2	33.3%	0.0%	25.0%
きょうだいの世話や保育所等への送迎など	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
身体的な介護（入浴やトイレのお世話など）	0	1	1	0.0%	50.0%	12.5%
外出の付き添い（買い物、散歩など）	0	1	1	0.0%	50.0%	12.5%
病院への付き添い	0	1	1	0.0%	50.0%	12.5%
感情面のサポート（ぐちを聞く、話し相手、遊び相手になるなど）	3	1	4	50.0%	50.0%	50.0%
見守り	2	2	4	33.3%	100.0%	50.0%
通訳（日本語や手話など）	0	1	1	0.0%	50.0%	12.5%
金銭管理	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
薬の管理（薬を小分けにしたり、渡したりするなど）	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
医療的ケア（たんの吸引や経管栄養の管理など）	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
家計のサポート（家計を支えるためにアルバイトや労働をするなど）	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
福祉サービス（ホームヘルパーやデイサービスなど）の申込みや連絡	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
未回答等	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

問6-④ お世話が必要な人の医療機関の利用状況

択一

条件（問6②-自分を含む）

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	6	2	8	100.0%	100.0%	100.0%
はい	4	2	6	66.7%	100.0%	75.0%
いいえ	1	0	1	16.7%	0.0%	12.5%
わからない	1	0	1	16.7%	0.0%	12.5%
未回答等	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

問6-⑤ お世話が必要な人について医療関係者に相談した経験の有無

択一

条件（問6④-はい）

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	4	2	6	100.0%	100.0%	100.0%
はい	0	1	1	0.0%	50.0%	16.7%
いいえ	4	1	5	100.0%	50.0%	83.3%
未回答等	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

問6-⑥ お世話が必要な人の福祉サービスなどの利用状況

択一

条件（問6②-自分を含む）

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	6	2	8	100.0%	100.0%	100.0%
はい	2	1	3	33.3%	50.0%	37.5%
いいえ	4	0	4	66.7%	0.0%	50.0%
わからない	0	1	1	0.0%	50.0%	12.5%
未回答等	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

問6-⑦ お世話が必要な人について福祉サービス職員に相談した経験の有無

択一

条件（問6⑥-はい）

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	2	1	3	100.0%	100.0%	100.0%
はい	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
いいえ	2	1	3	100.0%	100.0%	100.0%
未回答等	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

【お世話が必要な人=きょうだい】について

	複数回答			条件 (問5-きょうだい)		
	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	140	23	163	100.0%	100.0%	100.0%
高齢 (65歳以上)	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
若い	103	14	117	73.6%	60.9%	71.8%
要介護 (介護が必要な状態)	1	1	2	0.7%	4.3%	1.2%
認知症	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
身体が不自由 (身体障がい、視覚障がい、聴覚障がいを含む)	16	3	19	11.4%	13.0%	11.7%
知的障がい	20	3	23	14.3%	13.0%	14.1%
発達障がい (知的障がいを除く)	11	5	16	7.9%	21.7%	9.8%
精神的な病気 (気分の不安定さや極度の不安などがあり生活に支障がある状態) (疑い含む)	7	2	9	5.0%	8.7%	5.5%
依存症 (お酒の飲み過ぎや、かけごとのしすぎなどにより生活に支障の出る状態) (疑い含む)	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
上記以外の病気やけが	3	1	4	2.1%	4.3%	2.5%
その他	2	0	2	1.4%	0.0%	1.2%
未回答等	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

	複数回答			条件 (問4-いる)		
	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	140	23	163	100.0%	100.0%	100.0%
母親	129	20	149	92.1%	87.0%	91.4%
父親	89	12	101	63.6%	52.2%	62.0%
祖母	12	3	15	8.6%	13.0%	9.2%
祖父	5	1	6	3.6%	4.3%	3.7%
きょうだい	52	7	59	37.1%	30.4%	36.2%
しんせきの人	1	0	1	0.7%	0.0%	0.6%
自分	93	20	113	66.4%	87.0%	69.3%
福祉サービス (ヘルパーなど) を利用	9	3	12	6.4%	13.0%	7.4%
その他	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
未回答等	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

	複数回答			条件 (問6②-自分を含む)		
	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	93	20	113	100.0%	100.0%	100.0%
家事 (食事の準備や掃除、洗濯)	28	9	37	30.1%	45.0%	32.7%
きょうだいの世話や保育所等への送迎など	45	6	51	48.4%	30.0%	45.1%
身体的な介護 (入浴やトイレのお世話など)	18	3	21	19.4%	15.0%	18.6%
外出の付き添い (買い物、散歩など)	20	5	25	21.5%	25.0%	22.1%
病院への付き添い	0	1	1	0.0%	5.0%	0.9%
感情面のサポート (ぐちを聞く、話し相手、遊び相手になるなど)	56	10	66	60.2%	50.0%	58.4%
見守り	65	13	78	69.9%	65.0%	69.0%
通訳 (日本語や手話など)	3	1	4	3.2%	5.0%	3.5%
金銭管理	0	1	1	0.0%	5.0%	0.9%
薬の管理 (薬を小分けにしたり、渡したりするなど)	3	0	3	3.2%	0.0%	2.7%
医療的ケア (たんの吸引や経管栄養の管理など)	1	1	2	1.1%	5.0%	1.8%
家計のサポート (家計を支えるためにアルバイトや労働をするなど)	0	2	2	0.0%	10.0%	1.8%
福祉サービス (ホームヘルパーやデイサービスなど) の申込みや連絡	3	0	3	3.2%	0.0%	2.7%
その他	1	0	1	1.1%	0.0%	0.9%
未回答等	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

問6-④ お世話が必要な人の医療機関の利用状況

択一

条件（問6②-自分を含む）

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	93	20	113	100.0%	100.0%	100.0%
はい	20	6	26	21.5%	30.0%	23.0%
いいえ	64	14	78	68.8%	70.0%	69.0%
わからない	9	0	9	9.7%	0.0%	8.0%
未回答等	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

問6-⑤ お世話が必要な人について医療関係者に相談した経験の有無

択一

条件（問6④-はい）

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	20	6	26	100.0%	100.0%	100.0%
はい	1	3	4	5.0%	50.0%	15.4%
いいえ	19	3	22	95.0%	50.0%	84.6%
未回答等	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

問6-⑥ お世話が必要な人の福祉サービスなどの利用状況

択一

条件（問6②-自分を含む）

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	93	20	113	100.0%	100.0%	100.0%
はい	20	5	25	21.5%	25.0%	22.1%
いいえ	70	15	85	75.3%	75.0%	75.2%
わからない	3	0	3	3.2%	0.0%	2.7%
未回答等	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

問6-⑦ お世話が必要な人について福祉サービス職員に相談した経験の有無

択一

条件（問6⑥-はい）

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	20	5	25	100.0%	100.0%	100.0%
はい	10	3	13	50.0%	60.0%	52.0%
いいえ	10	2	12	50.0%	40.0%	48.0%
未回答等	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

【お世話が必要な人=その他）について】

問6-① お世話を必要としている人の状況

複数回答

条件（問5-その他）

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	10	0	10	100.0%	-	100.0%
高齢（65歳以上）	5	0	5	50.0%	-	50.0%
若い	2	0	2	20.0%	-	20.0%
要介護（介護が必要な状態）	3	0	3	30.0%	-	30.0%
認知症	2	0	2	20.0%	-	20.0%
身体が不自由（身体障がい、視覚障がい、聴覚障がいを含む）	2	0	2	20.0%	-	20.0%
知的障がい	2	0	2	20.0%	-	20.0%
発達障がい（知的障がいを除く）	1	0	1	10.0%	-	10.0%
精神的な病気（気分の不安定さや極度の不安などがあり生活に支障がある状態）（疑い含む）	0	0	0	0.0%	-	0.0%
依存症（お酒の飲み過ぎや、かけごとのしすぎなどにより生活に支障の出る状態）（疑い含む）	0	0	0	0.0%	-	0.0%
上記以外の病気やけが	0	0	0	0.0%	-	0.0%
その他	0	0	0	0.0%	-	0.0%
未回答等	0	0	0	0.0%	-	0.0%

問6-② お世話をしている人の内訳

複数回答

条件（問4-いる）

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	10	0	10	100.0%	-	100.0%
母親	7	0	7	70.0%	-	70.0%
父親	1	0	1	10.0%	-	10.0%
祖母	7	0	7	70.0%	-	70.0%
祖父	1	0	1	10.0%	-	10.0%
きょうだい	2	0	2	20.0%	-	20.0%
しんせきの人	2	0	2	20.0%	-	20.0%
自分	2	0	2	20.0%	-	20.0%
福祉サービス（ヘルパーなど）を利用	4	0	4	40.0%	-	40.0%
その他	0	0	0	0.0%	-	0.0%
未回答等	0	0	0	0.0%	-	0.0%

問6-③ 自分が担っている役割

複数回答

条件（問6②-自分を含む）

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	2	0	2	100.0%	-	100.0%
家事（食事の準備や掃除、洗濯）	0	0	0	0.0%	-	0.0%
きょうだいの世話や保育所等への送迎など	0	0	0	0.0%	-	0.0%
身体的な介護（入浴やトイレのお世話など）	0	0	0	0.0%	-	0.0%
外出の付き添い（買い物、散歩など）	0	0	0	0.0%	-	0.0%
病院への付き添い	0	0	0	0.0%	-	0.0%
感情面のサポート（ぐちを聞く、話し相手、遊び相手になるなど）	1	0	1	50.0%	-	50.0%
見守り	2	0	2	100.0%	-	100.0%
通訳（日本語や手話など）	0	0	0	0.0%	-	0.0%
金銭管理	1	0	1	50.0%	-	50.0%
薬の管理（薬を小分けにしたり、渡したりするなど）	0	0	0	0.0%	-	0.0%
医療的ケア（たんの吸引や経管栄養の管理など）	0	0	0	0.0%	-	0.0%
家計のサポート（家計を支えるためにアルバイトや労働をするなど）	0	0	0	0.0%	-	0.0%
福祉サービス（ホームヘルパーやデイサービスなど）の申込みや連絡	0	0	0	0.0%	-	0.0%
その他	0	0	0	0.0%	-	0.0%
未回答等	0	0	0	0.0%	-	0.0%

問6-④ お世話が必要な人の医療機関の利用状況

択一

条件（問6②-自分を含む）

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	2	0	2	100.0%	-	100.0%
はい	0	0	0	0.0%	-	0.0%
いいえ	2	0	2	100.0%	-	100.0%
わからない	0	0	0	0.0%	-	0.0%
未回答等	0	0	0	0.0%	-	0.0%

問6-⑤ お世話が必要な人について医療関係者に相談した経験の有無

択一

条件（問6④-はい）

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	0	0	0	-	-	-
はい	0	0	0	-	-	-
いいえ	0	0	0	-	-	-
未回答等	0	0	0	-	-	-

問6-⑥ お世話が必要な人の福祉サービスなどの利用状況

択一

条件（問6②-自分を含む）

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	2	0	2	100.0%	-	100.0%
はい	0	0	0	0.0%	-	0.0%
いいえ	2	0	2	100.0%	-	100.0%
わからない	0	0	0	0.0%	-	0.0%
未回答等	0	0	0	0.0%	-	0.0%

問6-⑦ お世話が必要な人について福祉サービス職員に相談した経験の有無

択一

条件（問6⑥-はい）

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	0	0	0	-	-	-
はい	0	0	0	-	-	-
いいえ	0	0	0	-	-	-
未回答等	0	0	0	-	-	-

問7-① お世話を始めた年齢

数字入力

条件 (問6②-自分を含む)

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	129	34	163	100.0%	100.0%	100.0%
小学校入学前 (7歳未満)	17	2	19	13.2%	5.9%	11.7%
小学生 (7~12歳)	91	11	102	70.5%	32.4%	62.6%
中学生 (13~15歳)	13	13	26	10.1%	38.2%	16.0%
高校生 (16歳以上)	0	3	3	0.0%	8.8%	1.8%
未回答等	8	5	13	6.2%	14.7%	8.0%

問7-② お世話の頻度

択一

条件 (問6②-自分を含む)

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	129	34	163	100.0%	100.0%	100.0%
ほぼ毎日	79	16	95	61.2%	47.1%	58.3%
週に3~5日	23	9	32	17.8%	26.5%	19.6%
週に1~2日	16	7	23	12.4%	20.6%	14.1%
1か月に数日	6	2	8	4.7%	5.9%	4.9%
その他	5	0	5	3.9%	0.0%	3.1%
未回答等	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

問7-③ 平日にお世話をしている時間

数字入力 (一部選択)

条件 (問6②-自分を含む)

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	129	34	163	100.0%	100.0%	100.0%
3時間未満	25	7	32	19.4%	20.6%	19.6%
3~7時間	8	2	10	6.2%	5.9%	6.1%
7時間以上	3	2	5	2.3%	5.9%	3.1%
わからない	41	10	51	31.8%	29.4%	31.3%
日によって違う	52	13	65	40.3%	38.2%	39.9%
未回答等	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

問7-④ 休日にお世話をしている時間

数字入力 (一部選択)

条件 (問6②-自分を含む)

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	129	34	163	100.0%	100.0%	100.0%
3時間未満	17	9	26	13.2%	26.5%	16.0%
3~7時間	12	1	13	9.3%	2.9%	8.0%
7時間以上	6	1	7	4.7%	2.9%	4.3%
わからない	31	8	39	24.0%	23.5%	23.9%
日によって違う	63	15	78	48.8%	44.1%	47.9%
未回答等	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

問8 お世話をすることによる生活への影響 (よくある・たまにある)

複数回答

条件 (問6②-自分を含む)

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	129	34	163	100.0%	100.0%	100.0%
学校に行けないことがある	1	2	3	0.8%	5.9%	1.8%
学校を遅刻・早退してしまう	5	5	10	3.9%	14.7%	6.1%
勉強する時間が取れない	33	9	42	25.6%	26.5%	25.8%
睡眠が十分に取れない	20	7	27	15.5%	20.6%	16.6%
友人と遊べないことがある	20	7	27	15.5%	20.6%	16.6%
部活や習い事が思うようにできない	11	0	11	8.5%	0.0%	6.7%
自分の自由になる時間が取れない	45	12	57	34.9%	35.3%	35.0%
自分が自由に過ごせる場所がない	30	11	41	23.3%	32.4%	25.2%
学校のことをどうでもいと思うことがある	13	8	21	10.1%	23.5%	12.9%
未回答等	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
[別掲] その他	51	12	63	39.5%	35.3%	38.7%

問9 今後の進路への影響

複数回答

条件 (問6②-自分を含む)

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	129	34	163	100.0%	100.0%	100.0%
進学をあきらめ、就職を考えている	1	2	3	0.8%	5.9%	1.8%
進学や就職をあきらめ、お世話に専念しようと考えている	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
進学先は、自宅から通えるところを選択しようと考えている	32	4	36	24.8%	11.8%	22.1%
就職先は、自宅から通えるところを選択しようと考えている	6	2	8	4.7%	5.9%	4.9%
進学先は、自宅外から通えるところを選択しようと考えている	7	3	10	5.4%	8.8%	6.1%
就職先は、自宅外から通えるところを選択しようと考えている	2	2	4	1.6%	5.9%	2.5%
進学先は、お世話の経験から、医療や福祉関係を選択しようと考えている	5	4	9	3.9%	11.8%	5.5%
就職先は、お世話の経験から、医療や福祉関係を選択しようと考えている	4	0	4	3.1%	0.0%	2.5%
特に進路に影響は受けていない	87	22	109	67.4%	64.7%	66.9%
その他	3	0	3	2.3%	0.0%	1.8%
未回答等	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

問10 お世話をすることについて感じていること

複数回答

条件 (問6②-自分を含む)

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	129	34	163	100.0%	100.0%	100.0%
やりがいを感じている	35	10	45	27.1%	29.4%	27.6%
楽しい	50	13	63	38.8%	38.2%	38.7%
充実している	28	6	34	21.7%	17.6%	20.9%
身体的につらい	12	5	17	9.3%	14.7%	10.4%
精神的につらい	32	5	37	24.8%	14.7%	22.7%
時間的余裕がない	33	9	42	25.6%	26.5%	25.8%
特に感じていない	35	10	45	27.1%	29.4%	27.6%
その他	6	3	9	4.7%	8.8%	5.5%
未回答等	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

問11 お世話の悩みを相談した経験の有無

択一

条件 (問6②-自分を含む)

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	129	34	163	100.0%	100.0%	100.0%
ある	35	11	46	27.1%	32.4%	28.2%
ない	94	23	117	72.9%	67.6%	71.8%
未回答等	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

問12 相談した相手

複数回答

条件 (問11-ある)

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	35	11	46	100.0%	100.0%	100.0%
家族 (母、父、祖母、祖父、きょうだい)	26	6	32	74.3%	54.5%	69.6%
しんせきの人 (おじ、おばなど)	1	0	1	2.9%	0.0%	2.2%
友人	15	6	21	42.9%	54.5%	45.7%
学校の先生 (保健室の先生以外)	6	1	7	17.1%	9.1%	15.2%
保健室の先生	2	1	3	5.7%	9.1%	6.5%
スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー	3	0	3	8.6%	0.0%	6.5%
相談窓口 (電話)	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
相談窓口 (SNS、メール)	1	0	1	2.9%	0.0%	2.2%
医師や看護師、その他病院の人	3	1	4	8.6%	9.1%	8.7%
ヘルパーやケアマネジャー、福祉サービスの人	1	0	1	2.9%	0.0%	2.2%
役所や保健センターの人	0	1	1	0.0%	9.1%	2.2%
近所の人	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
SNS上での知り合い	2	1	3	5.7%	9.1%	6.5%
その他	1	0	1	2.9%	0.0%	2.2%
未回答等	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

問13 相談していない理由

複数回答

条件（問11-ない）

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	94	23	117	100.0%	100.0%	100.0%
誰かに相談するほどの悩みではない	64	12	76	68.1%	52.2%	65.0%
家族外の人に相談するような悩みではない	19	2	21	20.2%	8.7%	17.9%
誰に相談するのがよいかわからない	9	0	9	9.6%	0.0%	7.7%
相談できる人が身近にいない	9	0	9	9.6%	0.0%	7.7%
家族のこのため、話しにくい	11	3	14	11.7%	13.0%	12.0%
家族のことを知られたくない	7	0	7	7.4%	0.0%	6.0%
家族に対して偏見を持たれたくない	8	1	9	8.5%	4.3%	7.7%
相談しても状況が変わるとは思わない	17	4	21	18.1%	17.4%	17.9%
相談しても状況を理解してもらえないと思わない	10	2	12	10.6%	8.7%	10.3%
相談した相手を困らせたくない	17	3	20	18.1%	13.0%	17.1%
その他	11	0	11	11.7%	0.0%	9.4%
未回答等	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

問14 お世話をしている現状を知っている人

複数回答

条件（問6②-自分を含む）

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	129	34	163	100.0%	100.0%	100.0%
学校の先生（保健室の先生以外）	44	6	50	34.1%	17.6%	30.7%
保健室の先生	9	3	12	7.0%	8.8%	7.4%
スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー	4	1	5	3.1%	2.9%	3.1%
しんせきの人（おじ、おばなど）	57	13	70	44.2%	38.2%	42.9%
SNS上での知り合い	6	1	7	4.7%	2.9%	4.3%
医師や看護師、その他病院の人	7	3	10	5.4%	8.8%	6.1%
ヘルパーやケアマネジャー、福祉サービスの人	9	4	13	7.0%	11.8%	8.0%
その他	13	2	15	10.1%	5.9%	9.2%
知っている人はいないと思う	43	14	57	33.3%	41.2%	35.0%
未回答等	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

問15 学校の先生や周りの大人に支援してほしいこと

複数回答

条件（問6②-自分を含む）

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	129	34	163	100.0%	100.0%	100.0%
自分の今の状況について話を聞いてほしい	14	8	22	10.9%	23.5%	13.5%
家族のお世話について相談にのってほしい	5	2	7	3.9%	5.9%	4.3%
家族の病気や障がい、お世話の仕方などについて分かりやすく説明してほしい	4	2	6	3.1%	5.9%	3.7%
家族での相談や、話し合いのときにいっしょに参加してほしい	4	0	4	3.1%	0.0%	2.5%
自分が行っているお世話のすべてを代わってくれる人やサービスがほしい	4	0	4	3.1%	0.0%	2.5%
自分が行っているお世話の一部を代わってくれる人やサービスがほしい	3	1	4	2.3%	2.9%	2.5%
自由に使える時間がほしい	23	5	28	17.8%	14.7%	17.2%
自分の自由に過ごせる場所がほしい	25	3	28	19.4%	8.8%	17.2%
進路や就職など将来の相談にのってほしい	11	1	12	8.5%	2.9%	7.4%
学校の勉強や受験勉強など学習のサポートをしてほしい	20	1	21	15.5%	2.9%	12.9%
家庭への金銭面での支援をしてほしい	15	3	18	11.6%	8.8%	11.0%
その他	3	0	3	2.3%	0.0%	1.8%
特にない	73	18	91	56.6%	52.9%	55.8%
わからない	11	4	15	8.5%	11.8%	9.2%
未回答等	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

問16 悩んだり困ったりしていること

複数回答

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	3,018	826	3,844	100.0%	100.0%	100.0%
友人との関係のこと	482	100	582	16.0%	12.1%	15.1%
学業成績のこと	1,096	308	1,404	36.3%	37.3%	36.5%
進路のこと	1,015	367	1,382	33.6%	44.4%	36.0%
部活動のこと	273	65	338	9.0%	7.9%	8.8%
学費（授業料）など学校生活に必要なお金のこと	125	108	233	4.1%	13.1%	6.1%
塾（通信教育やオンライン授業を含む）や習い事ができないこと	60	9	69	2.0%	1.1%	1.8%
家庭の経済的状況のこと	146	67	213	4.8%	8.1%	5.5%
自分と家族との関係のこと	192	65	257	6.4%	7.9%	6.7%
家族内の人間関係のこと（両親の仲が良くないなど）	138	58	196	4.6%	7.0%	5.1%
病気や障がいのある家族のこと	48	7	55	1.6%	0.8%	1.4%
自分のために使える時間が少ないこと	169	60	229	5.6%	7.3%	6.0%
自分が自由に過ごせる場所がないこと	132	39	171	4.4%	4.7%	4.4%
自分に自信が持てないこと	690	194	884	22.9%	23.5%	23.0%
その他	87	36	123	2.9%	4.4%	3.2%
特になし	1,311	256	1,567	43.4%	31.0%	40.8%
未回答等	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

問17 ヤングケアラーという言葉の認知度

択一

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	3,018	826	3,844	100.0%	100.0%	100.0%
聞いたことがあり、内容も知っている	658	265	923	21.8%	32.1%	24.0%
聞いたことはあるが、よく知らない	569	127	696	18.9%	15.4%	18.1%
聞いたことはない	1,790	434	2,224	59.3%	52.5%	57.9%
未回答等	1	0	1	0.0%	0.0%	0.0%

問18 ヤングケアラーという言葉を知ったきっかけ

複数回答

条件（問17聞いたことがある）

	人数			割合		
	中学生	高校生	計	中学生	高校生	計
サンプル数	1,227	392	1,619	100.0%	100.0%	100.0%
テレビや新聞、ラジオ	817	240	1,057	66.6%	61.2%	65.3%
雑誌や本	99	29	128	8.1%	7.4%	7.9%
SNSやインターネット	280	125	405	22.8%	31.9%	25.0%
広報やチラシ、掲示物	144	28	172	11.7%	7.1%	10.6%
イベントや交流会など	10	4	14	0.8%	1.0%	0.9%
学校	360	130	490	29.3%	33.2%	30.3%
友人・知人から聞いた	45	10	55	3.7%	2.6%	3.4%
その他	42	6	48	3.4%	1.5%	3.0%
未回答等	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

2 学校におけるヤングケアラーへの対応に関するアンケート調査

	人数				割合			
	中学校	高等学校	その他	計	中学校	高等学校	その他	計
サンプル数	97	7	7	111	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
校長	6	0	0	6	6.2%	0.0%	0.0%	5.4%
教頭	68	7	3	78	70.1%	100.0%	42.9%	70.3%
主幹・主任教諭	22	0	1	23	22.7%	0.0%	14.3%	20.7%
養護教諭	1	0	0	1	1.0%	0.0%	0.0%	0.9%
スクールソーシャルワーカー	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
スクールカウンセラー	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	1	0	2	3	1.0%	0.0%	28.6%	2.7%
未回答等	0	0	1	1	0.0%	0.0%	14.3%	0.9%

問2 学校区分

	人数				割合			
	中学校	高等学校	その他	計	中学校	高等学校	その他	計
サンプル数	97	7	7	111	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
中学校	97	0	0	97	100.0%	0.0%	0.0%	87.4%
中等教育学校	0	0	1	1	0.0%	0.0%	14.3%	0.9%
高等学校（全日制）	0	6	0	6	0.0%	85.7%	0.0%	5.4%
高等学校（定時制）	0	1	0	1	0.0%	14.3%	0.0%	0.9%
特別支援学校	0	0	5	5	0.0%	0.0%	71.4%	4.5%
未回答等	0	0	1	1	0.0%	0.0%	14.3%	0.9%

問3 学校規模（全校生徒数）

	人数				割合			
	中学校	高等学校	その他	計	中学校	高等学校	その他	計
サンプル数	97	7	7	111	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
150人未満	7	0	4	11	7.2%	0.0%	57.1%	9.9%
150人以上～300人未満	13	0	1	14	13.4%	0.0%	14.3%	12.6%
300人以上～500人未満	43	0	0	43	44.3%	0.0%	0.0%	38.7%
500人以上	32	7	1	40	33.0%	100.0%	14.3%	36.0%
未回答等	2	0	1	3	2.1%	0.0%	14.3%	2.7%

問4 支援が必要と思われる子どもについての校内での共有ケース

	人数				割合			
	中学校	高等学校	その他	計	中学校	高等学校	その他	計
サンプル数	97	7	7	111	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
学校を休みがちである	96	7	5	108	99.0%	100.0%	71.4%	97.3%
遅刻や早退が多い	71	5	6	82	73.2%	71.4%	85.7%	73.9%
保健室で過ごしていることが多い	74	7	4	85	76.3%	100.0%	57.1%	76.6%
精神的な不安定さがある	81	7	4	92	83.5%	100.0%	57.1%	82.9%
身だしなみが整っていない	36	2	3	41	37.1%	28.6%	42.9%	36.9%
学力が低下している	36	5	3	44	37.1%	71.4%	42.9%	39.6%
宿題や持ち物の忘れ物が多い	34	3	2	39	35.1%	42.9%	28.6%	35.1%
保護者の承諾が必要な書類等の提出遅れや提出忘れが多い	33	3	3	39	34.0%	42.9%	42.9%	35.1%
学校に必要なものを家庭で用意してもらえない	25	3	3	31	25.8%	42.9%	42.9%	27.9%
部活を途中でやめてしまった	34	2	3	39	35.1%	28.6%	42.9%	35.1%
修学旅行や宿泊行事等を欠席する	48	5	4	57	49.5%	71.4%	57.1%	51.4%
諸納金の支払いが遅れる、未払い	47	3	2	52	48.5%	42.9%	28.6%	46.9%
居眠りが多い	34	2	3	39	35.1%	28.6%	42.9%	35.1%
非常に疲れている様子がある	26	5	3	34	26.8%	71.4%	42.9%	30.6%
その他	11	1	1	13	11.3%	14.3%	14.3%	11.7%
未回答等	1	0	0	1	1.0%	0.0%	0.0%	0.9%

問5 情報共有・対応の検討を行う体制の状況

	人数				割合			
	中学校	高等学校	その他	計	中学校	高等学校	その他	計
サンプル数	97	7	7	111	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
不登校の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している	71	3	1	75	73.2%	42.9%	14.3%	67.6%
不登校以外の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している	18	3	3	24	18.6%	42.9%	42.9%	21.6%
個別に対応している（決まった検討体制はない）	8	1	2	11	8.3%	14.3%	28.6%	9.9%
未回答等	0	0	1	1	0.0%	0.0%	14.3%	0.9%

問6-(1) 情報共有・対応の種類

条件 (問5-1,2)

	人数				割合			
	中学校	高等学校	その他	計	中学校	高等学校	その他	計
サンプル数	89	6	4	99	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
スクリーニング会議	11	1	0	12	12.4%	16.7%	0.0%	12.1%
ケース会議	48	5	3	56	53.9%	83.3%	75.0%	56.6%
生徒指導部・委員会など	71	2	1	74	79.8%	33.3%	25.0%	74.8%
児童生徒理解・支援シートなど共通様式による情報共有	43	2	1	46	48.3%	33.3%	25.0%	46.5%
教育相談コーディネーターなど調整役として活動する教職員の配置	42	4	2	48	47.2%	66.7%	50.0%	48.5%
その他	14	0	2	16	15.7%	0.0%	50.0%	16.2%
未回答等	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問6-(2)-(ア) スクリーニング会議について

【開催頻度】

条件 (問6(1)-1)

	人数				割合			
	中学校	高等学校	その他	計	中学校	高等学校	その他	計
サンプル数	11	1	0	12	100.0%	100.0%	-	100.0%
2週間に1回以上	1	0	0	1	9.1%	0.0%	-	8.3%
月に1回程度	6	0	0	6	54.6%	0.0%	-	50.0%
半年に1回程度	3	1	0	4	27.3%	100.0%	-	33.3%
年に1回程度	1	0	0	1	9.1%	0.0%	-	8.3%
必要な時に随時開催	0	0	0	0	0.0%	0.0%	-	0.0%
未回答等	0	0	0	0	0.0%	0.0%	-	0.0%

【参加者】

	人数				割合			
	中学校	高等学校	その他	計	中学校	高等学校	その他	計
サンプル数	11	1	0	12	100.0%	100.0%	-	100.0%
校長	9	0	0	9	81.8%	0.0%	-	75.0%
教頭	10	1	0	11	90.9%	100.0%	-	91.7%
学年主任	9	1	0	10	81.8%	100.0%	-	83.3%
担任教諭	7	1	0	8	63.6%	100.0%	-	66.7%
生徒指導担当	10	0	0	10	90.9%	0.0%	-	83.3%
養護教諭	7	1	0	8	63.6%	100.0%	-	66.7%
SSW	0	0	0	0	0.0%	0.0%	-	0.0%
SC	4	0	0	4	36.4%	0.0%	-	33.3%
外部の関係機関	1	0	0	1	9.1%	0.0%	-	8.3%
その他	2	1	0	3	18.2%	100.0%	-	25.0%
未回答等	0	0	0	0	0.0%	0.0%	-	0.0%

問6-(2)-(イ) ケース会議について

【開催頻度】

条件 (問6(1)-2)

	人数				割合			
	中学校	高等学校	その他	計	中学校	高等学校	その他	計
サンプル数	48	5	3	56	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
2週間に1回以上	4	1	0	5	8.3%	20.0%	0.0%	8.9%
月に1回程度	5	0	0	5	10.4%	0.0%	0.0%	8.9%
半年に1回程度	7	1	1	9	14.6%	20.0%	33.3%	16.1%
年に1回程度	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
必要な時に随時開催	32	3	2	37	66.7%	60.0%	66.7%	66.1%
未回答等	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【参加者】

	人数				割合			
	中学校	高等学校	その他	計	中学校	高等学校	その他	計
サンプル数	48	5	3	56	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
校長	29	0	0	29	60.4%	0.0%	0.0%	51.8%
教頭	46	5	2	53	95.8%	100.0%	66.7%	94.6%
学年主任	39	4	3	46	81.3%	80.0%	100.0%	82.1%
担任教諭	40	4	3	47	83.3%	80.0%	100.0%	83.9%
生徒指導担当	46	2	1	49	95.8%	40.0%	33.3%	87.5%
養護教諭	31	4	1	36	64.6%	80.0%	33.3%	64.3%
SSW	10	0	0	10	20.8%	0.0%	0.0%	17.9%
SC	30	5	1	36	62.5%	100.0%	33.3%	64.3%
外部の関係機関	7	0	0	7	14.6%	0.0%	0.0%	12.5%
その他	12	2	1	15	25.0%	40.0%	33.3%	26.8%
未回答等	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問6-(2)-(ウ) 生徒指導部・委員会など

【開催頻度】 条件 (問6(1)-3)

	人数				割合			
	中学校	高等学校	その他	計	中学校	高等学校	その他	計
サンプル数	71	2	1	74	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
2週間に1回以上	9	0	0	9	12.7%	0.0%	0.0%	12.2%
月に1回程度	39	2	0	41	54.9%	100.0%	0.0%	55.4%
半年に1回程度	9	0	1	10	12.7%	0.0%	100.0%	13.5%
年に1回程度	2	0	0	2	2.8%	0.0%	0.0%	2.7%
必要な時に随時開催	10	0	0	10	14.1%	0.0%	0.0%	13.5%
未回答等	2	0	0	2	2.8%	0.0%	0.0%	2.7%

【参加者】

	人数				割合			
	中学校	高等学校	その他	計	中学校	高等学校	その他	計
サンプル数	71	2	1	74	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
校長	41	0	1	42	57.8%	0.0%	100.0%	56.8%
教頭	50	2	1	53	70.4%	100.0%	100.0%	71.6%
学年主任	44	1	1	46	62.0%	50.0%	100.0%	62.2%
担任教諭	26	1	1	28	36.6%	50.0%	100.0%	37.8%
生徒指導担当	68	1	1	70	95.8%	50.0%	100.0%	94.6%
養護教諭	38	2	1	41	53.5%	100.0%	100.0%	55.4%
SSW	2	0	0	2	2.8%	0.0%	0.0%	2.7%
SC	28	1	0	29	39.4%	50.0%	0.0%	39.2%
外部の関係機関	1	0	0	1	1.4%	0.0%	0.0%	1.4%
その他	11	1	0	12	15.5%	50.0%	0.0%	16.2%
未回答等	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問6-(2)-(エ) その他

【開催頻度】 条件 (問6(1)-6)

	人数				割合			
	中学校	高等学校	その他	計	中学校	高等学校	その他	計
サンプル数	14	0	2	16	100.0%	-	100.0%	100.0%
2週間に1回以上	4	0	1	5	28.6%	-	50.0%	31.3%
月に1回程度	6	0	0	6	42.9%	-	0.0%	37.5%
半年に1回程度	3	0	0	3	21.4%	-	0.0%	18.8%
年に1回程度	0	0	0	0	0.0%	-	0.0%	0.0%
必要な時に随時開催	0	0	1	1	0.0%	-	50.0%	6.3%
未回答等	1	0	0	1	7.1%	-	0.0%	6.3%

【参加者】

	人数				割合			
	中学校	高等学校	その他	計	中学校	高等学校	その他	計
サンプル数	14	0	2	16	100.0%	-	100.0%	100.0%
校長	7	0	0	7	50.0%	-	0.0%	43.8%
教頭	10	0	2	12	71.4%	-	100.0%	75.0%
学年主任	9	0	1	10	64.3%	-	50.0%	62.5%
担任教諭	9	0	1	10	64.3%	-	50.0%	62.5%
生徒指導担当	10	0	2	12	71.4%	-	100.0%	75.0%
養護教諭	9	0	2	11	64.3%	-	100.0%	68.8%
SSW	1	0	1	2	7.1%	-	50.0%	12.5%
SC	4	0	1	5	28.6%	-	50.0%	31.3%
外部の関係機関	1	0	0	1	7.1%	-	0.0%	6.3%
その他	6	0	1	7	42.9%	-	50.0%	43.8%
未回答等	0	0	0	0	0.0%	-	0.0%	0.0%

問7 個別対応の場合の情報共有・対応の検討方法など

46ページを参照

問8-ア 学校と関係機関との連携体制の状況（不登校ケース）

【学校と関係機関との連携体制の有無】

	人数				割合			
	中学校	高等学校	その他	計	中学校	高等学校	その他	計
サンプル数	97	7	7	111	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
ある	89	4	5	98	91.8%	57.1%	71.4%	88.3%
特にない	5	2	0	7	5.2%	28.6%	0.0%	6.3%
未回答等	3	1	2	6	3.1%	14.3%	28.6%	5.4%

【その関係機関】

	人数				割合			
	中学校	高等学校	その他	計	中学校	高等学校	その他	計
サンプル数	97	7	7	111	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
教育委員会	44	3	1	48	45.4%	42.9%	14.3%	43.2%
S S W、S C	65	4	5	74	67.0%	57.1%	71.4%	66.7%
各区の福祉部門（保健センターを除く）	16	0	1	17	16.5%	0.0%	14.3%	15.3%
各区の保健部門（保健センター）	8	0	1	9	8.3%	0.0%	14.3%	8.1%
各区家庭児童相談室（要対協調整機関/虐待対応部門）	60	1	2	63	61.9%	14.3%	28.6%	56.8%
教育支援センター（適応指導教室）	57	0	1	58	58.8%	0.0%	14.3%	52.3%
フリースクール・子ども食堂などの民間団体・施設	23	0	1	24	23.7%	0.0%	14.3%	21.6%
児童相談所	51	2	3	56	52.6%	28.6%	42.9%	50.5%
民生委員	10	0	1	11	10.3%	0.0%	14.3%	9.9%
医療機関	22	2	3	27	22.7%	28.6%	42.9%	24.3%
警察や刑事司法関係機関	7	2	2	11	7.2%	28.6%	28.6%	9.9%
その他	2	0	1	3	2.1%	0.0%	14.3%	2.7%
未回答等	3	1	2	6	3.1%	14.3%	28.6%	5.4%

問8-イ 学校と関係機関との連携体制の状況（その他ケース）

【学校と関係機関との連携体制の有無】

	人数				割合			
	中学校	高等学校	その他	計	中学校	高等学校	その他	計
サンプル数	97	7	7	111	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
ある	42	6	4	52	43.3%	85.7%	57.1%	46.9%
特にない	6	0	1	7	6.2%	0.0%	14.3%	6.3%
未回答等	49	1	2	52	50.5%	14.3%	28.6%	46.9%

【その関係機関】

	人数				割合			
	中学校	高等学校	その他	計	中学校	高等学校	その他	計
サンプル数	97	7	7	111	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
教育委員会	20	6	3	29	20.6%	85.7%	42.9%	26.1%
S S W、S C	27	6	4	37	27.8%	85.7%	57.1%	33.3%
各区の福祉部門（保健センターを除く）	6	0	1	7	6.2%	0.0%	14.3%	6.3%
各区の保健部門（保健センター）	5	0	1	6	5.2%	0.0%	14.3%	5.4%
各区家庭児童相談室（要対協調整機関/虐待対応部門）	32	2	3	37	33.0%	28.6%	42.9%	33.3%
教育支援センター（適応指導教室）	13	0	0	13	13.4%	0.0%	0.0%	11.7%
フリースクール・子ども食堂などの民間団体・施設	3	1	2	6	3.1%	14.3%	28.6%	5.4%
児童相談所	31	4	4	39	32.0%	57.1%	57.1%	35.1%
民生委員	10	0	1	11	10.3%	0.0%	14.3%	9.9%
医療機関	8	3	2	13	8.3%	42.9%	28.6%	11.7%
警察や刑事司法関係機関	8	4	2	14	8.3%	57.1%	28.6%	12.6%
その他	2	0	1	3	2.1%	0.0%	14.3%	2.7%
未回答等	49	1	2	52	50.5%	14.3%	28.6%	46.9%

問9 ヤングケアラーという言葉の認知度

	人数				割合			
	中学校	高等学校	その他	計	中学校	高等学校	その他	計
サンプル数	97	7	7	111	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
言葉を知らない	3	0	0	3	3.1%	0.0%	0.0%	2.7%
言葉を聞いたことがあるが、具体的には知らない	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
言葉は知っているが、学校としては特別な対応をしていない	66	6	4	76	68.0%	85.7%	57.1%	68.5%
言葉を知っており、学校として意識して対応している	28	1	3	32	28.9%	14.3%	42.9%	28.8%
未回答等	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問10 ヤングケアラーの実態の把握の有無

条件（問9-4）

	人数				割合			
	中学校	高等学校	その他	計	中学校	高等学校	その他	計
サンプル数	28	1	3	32	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
把握している	19	0	2	21	67.9%	0.0%	66.7%	65.6%
「ヤングケアラー」と思われる子どもはいるが、その実態は把握していない	6	0	0	6	21.4%	0.0%	0.0%	18.8%
該当する子どもはいない（これまでいなかった）	3	0	1	4	10.7%	0.0%	33.3%	12.5%
未回答等	0	1	0	1	0.0%	100.0%	0.0%	3.1%

問11 把握方法

条件 (問10-1)

	人数				割合			
	中学校	高等学校	その他	計	中学校	高等学校	その他	計
サンプル数	19	0	2	21	100.0%	-	100.0%	100.0%
アセスメントシートやチェックリストなどのツールを用いている	1	0	0	1	5.3%	-	0.0%	4.8%
特定のツールはないが、できるだけ「ヤングケアラー」の視点を持って検討・対応している	12	0	2	14	63.2%	-	100.0%	66.7%
その他	7	0	0	7	36.8%	-	0.0%	33.3%
未回答等	0	0	0	0	0.0%	-	0.0%	0.0%

問12 ヤングケアラーの有無

	人数				割合			
	中学校	高等学校	その他	計	中学校	高等学校	その他	計
サンプル数	97	7	7	111	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
いる	43	3	3	49	44.3%	42.9%	42.9%	44.1%
いない	14	1	3	18	14.4%	14.3%	42.9%	16.2%
わからない	40	3	1	44	41.2%	42.9%	14.3%	39.6%
未回答等	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問13(1) ヤングケアラーの人数

条件 (問12-1)

	人数				割合			
	中学校	高等学校	その他	計	中学校	高等学校	その他	計
サンプル数	43	3	3	49	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1人	14	0	1	15	32.6%	0.0%	33.3%	30.6%
2人	18	1	2	21	41.9%	33.3%	66.7%	42.9%
3人	7	0	0	7	16.3%	0.0%	0.0%	14.3%
4人	2	1	0	3	4.7%	33.3%	0.0%	6.1%
5人以上	2	1	0	3	4.7%	33.3%	0.0%	6.1%
未回答等	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問13(2) 上記のうち、子どもの権利が守られていない子どもの人数

条件 (問12-1)

	人数				割合			
	中学校	高等学校	その他	計	中学校	高等学校	その他	計
サンプル数	43	3	3	49	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
0人	10	2	1	13	23.3%	66.7%	33.3%	26.5%
1人	15	0	2	17	34.9%	0.0%	66.7%	34.7%
2人	13	1	0	14	30.2%	33.3%	0.0%	28.6%
3人	3	0	0	3	7.0%	0.0%	0.0%	6.1%
4人	1	0	0	1	2.3%	0.0%	0.0%	2.0%
5人以上	1	0	0	1	2.3%	0.0%	0.0%	2.0%
未回答等	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問13(3) ヤングケアラーと思われる子どもの状況 (お世話の内容)

条件 (問12-1)

	人数				割合			
	中学校	高等学校	その他	計	中学校	高等学校	その他	計
サンプル数	43	3	3	49	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
障がいや病気のある家族に代わり、家事（買い物、料理、洗濯、掃除など）をしている	13	2	0	15	30.2%	66.7%	0.0%	30.6%
家族の代わりに、幼いきょうだいの世話をしている	35	1	2	38	81.4%	33.3%	66.7%	77.6%
家族の代わりに、障がいや病気のあるきょうだいの世話をしている	3	0	0	3	7.0%	0.0%	0.0%	6.1%
目を離せない家族の見守りや声かけをしている	7	0	0	7	16.3%	0.0%	0.0%	14.3%
家族の通訳をしている	3	1	0	4	7.0%	33.3%	0.0%	8.2%
家計を支えるために、アルバイト等をしている	0	2	0	2	0.0%	66.7%	0.0%	4.1%
アルコール・薬物・ギャンブルなどの問題のある家族に対応している	4	0	0	4	9.3%	0.0%	0.0%	8.2%
病気の家族の看病をしている（たんの吸引や経管栄養の管理等、医療的ケアを含む）	1	0	0	1	2.3%	0.0%	0.0%	2.0%
障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている	2	0	0	2	4.7%	0.0%	0.0%	4.1%
障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
精神的に不安定な家族のケアをしている	5	1	0	6	11.6%	33.3%	0.0%	12.2%
障がいや病気の家族の世話や介護のことをいつも気にかけている	2	0	1	3	4.7%	0.0%	33.3%	6.1%
その他	4	0	2	6	9.3%	0.0%	66.7%	12.2%
未回答等	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問13(4) 学校以外の外部の支援につないだケースの有無

	人数				割合			
	中学校	高等学校	その他	計	中学校	高等学校	その他	計
サンプル数	43	3	3	49	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
区家庭児童相談室又は児童相談所に児童虐待通告したケースがある	9	0	0	9	20.9%	0.0%	0.0%	18.4%
児童虐待通告の対象とまで言えないが、学校以外の外部の支援につないだケースがある	11	0	1	12	25.6%	0.0%	33.3%	24.5%
外部の支援にはつないでいない（学校内で対応している）	26	3	2	31	60.5%	100.0%	66.7%	63.3%
未回答等	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問13(5) ①区家庭児童相談室又は児童相談所に児童虐待通告したケース

性別

	人数				割合			
	中学校	高等学校	その他	計	中学校	高等学校	その他	計
サンプル数	9	0	0	9	100.0%	-	-	100.0%
女性	4	0	0	4	44.4%	-	-	44.4%
男性	4	0	0	4	44.4%	-	-	44.4%
その他	0	0	0	0	0.0%	-	-	0.0%
未回答	1	0	0	1	11.1%	-	-	11.1%

学年

	人数				割合			
	中学校	高等学校	その他	計	中学校	高等学校	その他	計
サンプル数	9	0	0	9	100.0%	-	-	100.0%
中学1年	2	0	0	2	22.2%	-	-	22.2%
中学2年	4	0	0	4	44.4%	-	-	44.4%
中学3年	2	0	0	2	22.2%	-	-	22.2%
未回答	1	0	0	1	11.1%	-	-	11.1%

学校生活の状況

	人数				割合			
	中学校	高等学校	その他	計	中学校	高等学校	その他	計
サンプル数	9	0	0	9	100.0%	-	-	100.0%
学校を休みがちである	5	0	0	5	55.6%	-	-	55.6%
遅刻や早退が多い	3	0	0	3	33.3%	-	-	33.3%
保健室で過ごしていることが多い	2	0	0	2	22.2%	-	-	22.2%
精神的な不安定さがある	3	0	0	3	33.3%	-	-	33.3%
身だしなみが整っていない	2	0	0	2	22.2%	-	-	22.2%
学力が低下している	3	0	0	3	33.3%	-	-	33.3%
宿題や持ち物の忘れ物が多い	1	0	0	1	11.1%	-	-	11.1%
保護者の承諾が必要な書類等の提出遅れや提出忘れが多い	2	0	0	2	22.2%	-	-	22.2%
学校に必要なものを家庭で用意してもらえない	2	0	0	2	22.2%	-	-	22.2%
部活を途中でやめてしまった	0	0	0	0	0.0%	-	-	0.0%
修学旅行や宿泊行事等を欠席する	1	0	0	1	11.1%	-	-	11.1%
諸納金の支払いが遅れる、未払い	2	0	0	2	22.2%	-	-	22.2%
居眠りが多い	0	0	0	0	0.0%	-	-	0.0%
非常に疲れている様子がある	0	0	0	0	0.0%	-	-	0.0%
その他	2	0	0	2	22.2%	-	-	22.2%
未回答	1	0	0	1	11.1%	-	-	11.1%

家族構成

	人数				割合			
	中学校	高等学校	その他	計	中学校	高等学校	その他	計
サンプル数	9	0	0	9	100.0%	-	-	100.0%
母親	8	0	0	8	88.9%	-	-	88.9%
父親	1	0	0	1	11.1%	-	-	11.1%
祖母	0	0	0	0	0.0%	-	-	0.0%
祖父	0	0	0	0	0.0%	-	-	0.0%
きょうだい	7	0	0	7	77.8%	-	-	77.8%
その他	0	0	0	0	0.0%	-	-	0.0%
未回答	1	0	0	1	11.1%	-	-	11.1%

ケアの状況を把握しているか

	人数				割合			
	中学校	高等学校	その他	計	中学校	高等学校	その他	計
サンプル数	9	0	0	9	100.0%	-	-	100.0%
はい	7	0	0	7	77.8%	-	-	77.8%
いいえ	1	0	0	1	11.1%	-	-	11.1%
未回答	1	0	0	1	11.1%	-	-	11.1%

ケアを必要としている人

	人数				割合			
	中学校	高等学校	その他	計	中学校	高等学校	その他	計
サンプル数	7	0	0	7	100.0%	-	-	100.0%
母親	3	0	0	3	42.9%	-	-	42.9%
父親	0	0	0	0	0.0%	-	-	0.0%
祖母	0	0	0	0	0.0%	-	-	0.0%
祖父	0	0	0	0	0.0%	-	-	0.0%
きょうだい	2	0	0	2	28.6%	-	-	28.6%
その他	0	0	0	0	0.0%	-	-	0.0%
未回答	2	0	0	2	28.6%	-	-	28.6%

ケアを必要としている人の状況

	人数				割合			
	中学校	高等学校	その他	計	中学校	高等学校	その他	計
サンプル数	7	0	0	7	100.0%	-	-	100.0%
高齢（65歳以上）	0	0	0	0	0.0%	-	-	0.0%
幼い	3	0	0	3	42.9%	-	-	42.9%
要介護（介護が必要な状態）	0	0	0	0	0.0%	-	-	0.0%
認知症	0	0	0	0	0.0%	-	-	0.0%
身体障がい	0	0	0	0	0.0%	-	-	0.0%
知的障がい	1	0	0	1	14.3%	-	-	14.3%
発達障がい	0	0	0	0	0.0%	-	-	0.0%
精神疾患（疑い含む）	2	0	0	2	28.6%	-	-	28.6%
依存症（疑い含む）	1	0	0	1	14.3%	-	-	14.3%
精神疾患（疑い含む）・依存症（疑い含む）以外の病気やけが	0	0	0	0	0.0%	-	-	0.0%
その他	0	0	0	0	0.0%	-	-	0.0%
わからない	0	0	0	0	0.0%	-	-	0.0%
未回答	1	0	0	1	14.3%	-	-	14.3%

ケアの内容

	人数				割合			
	中学校	高等学校	その他	計	中学校	高等学校	その他	計
サンプル数	7	0	0	7	100.0%	-	-	100.0%
家事（食事の準備や掃除、洗濯）	0	0	0	0	0.0%	-	-	0.0%
きょうだいの世話や保育所等への送迎	3	0	0	3	42.9%	-	-	42.9%
身体的な介護（入浴やトイレのお世話など）	4	0	0	4	57.1%	-	-	57.1%
外出の付き添い（買い物、散歩など）	0	0	0	0	0.0%	-	-	0.0%
通院の付き添い	2	0	0	2	28.6%	-	-	28.6%
感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手や遊び相手になるなど）	3	0	0	3	42.9%	-	-	42.9%
見守り	2	0	0	2	28.6%	-	-	28.6%
通訳（日本語や手話など）	1	0	0	1	14.3%	-	-	14.3%
金銭管理	0	0	0	0	0.0%	-	-	0.0%
薬の管理	0	0	0	0	0.0%	-	-	0.0%
医療的ケア（たんの吸引や経管栄養の管理など）	0	0	0	0	0.0%	-	-	0.0%
家計のサポート（家計を支えるためにアルバイトや労働をするなど）	0	0	0	0	0.0%	-	-	0.0%
福祉サービス（ホームヘルパーやデイサービス等）の申込みや連絡	0	0	0	0	0.0%	-	-	0.0%
その他	1	0	0	1	14.3%	-	-	14.3%
わからない	0	0	0	0	0.0%	-	-	0.0%
未回答	0	0	0	0	0.0%	-	-	0.0%

この世帯がどのような機関とつながっていたか

	人数				割合			
	中学校	高等学校	その他	計	中学校	高等学校	その他	計
サンプル数	9	0	0	9	100.0%	-	-	100.0%
医療機関や訪問医療	2	0	0	2	22.2%	-	-	22.2%
介護保険や障がいなどの福祉サービス	1	0	0	1	11.1%	-	-	11.1%
その他	5	0	0	5	55.6%	-	-	55.6%
わからない	2	0	0	2	22.2%	-	-	22.2%
未回答	1	0	0	1	11.1%	-	-	11.1%

学校が直接連携した機関はどこか(つないだ機関)

	人数				割合			
	中学校	高等学校	その他	計	中学校	高等学校	その他	計
サンプル数	9	0	0	9	100.0%	-	-	100.0%
教育委員会	2	0	0	2	22.2%	-	-	22.2%
S S W、S C	4	0	0	4	44.4%	-	-	44.4%
各区の福祉部門（保健センターを除く）	1	0	0	1	11.1%	-	-	11.1%
各区の保健部門（保健センター）	3	0	0	3	33.3%	-	-	33.3%
教育支援センター（適応指導教室）	1	0	0	1	11.1%	-	-	11.1%
フリースクール・子ども食堂などの民間団体・施設	0	0	0	0	0.0%	-	-	0.0%
民生委員	2	0	0	2	22.2%	-	-	22.2%
医療機関	1	0	0	1	11.1%	-	-	11.1%
警察や刑事司法関係機関	0	0	0	0	0.0%	-	-	0.0%
その他	4	0	0	4	44.4%	-	-	44.4%
未回答	1	0	0	1	11.1%	-	-	11.1%

区家庭児童相談室又は児童相談所への通告ルート

	人数				割合			
	中学校	高等学校	その他	計	中学校	高等学校	その他	計
サンプル数	9	0	0	9	100.0%	-	-	100.0%
教育委員会経由	0	0	0	0	0.0%	-	-	0.0%
S S W・S C経由	0	0	0	0	0.0%	-	-	0.0%
学校から直接連絡	8	0	0	8	88.9%	-	-	88.9%
その他	1	0	0	1	11.1%	-	-	11.1%
未回答	1	0	0	1	11.1%	-	-	11.1%

問13(5) ②児童虐待通告の対象とまで言えないが、学校以外の外部の支援につないだケース
性別

	人数				割合			
	中学校	高等学校	その他	計	中学校	高等学校	その他	計
サンプル数	11	0	1	12	100.0%	-	100.0%	100.0%
女性	8	0	0	8	72.7%	-	0.0%	66.7%
男性	3	0	1	4	27.3%	-	100.0%	33.3%
その他	0	0	0	0	0.0%	-	0.0%	0.0%
未回答	0	0	0	0	0.0%	-	0.0%	0.0%

学年

	人数				割合			
	中学校	高等学校	その他	計	中学校	高等学校	その他	計
サンプル数	11	0	1	12	100.0%	-	100.0%	100.0%
中学1年	1	0	0	1	9.1%	-	0.0%	8.3%
中学2年	3	0	0	3	27.3%	-	0.0%	25.0%
中学3年	7	0	0	7	63.6%	-	0.0%	58.3%
高校1年生	0	0	0	0	0.0%	-	0.0%	0.0%
高校2年生	0	0	1	1	0.0%	-	100.0%	8.3%
高校3年生	0	0	0	0	0.0%	-	0.0%	0.0%
高校4年生	0	0	0	0	0.0%	-	0.0%	0.0%
未回答	0	0	0	0	0.0%	-	0.0%	0.0%

学校生活の状況

	人数				割合			
	中学校	高等学校	その他	計	中学校	高等学校	その他	計
サンプル数	11	0	1	12	100.0%	-	100.0%	100.0%
学校を休みがちである	7	0	1	8	63.6%	-	100.0%	66.7%
遅刻や早退が多い	4	0	0	4	36.4%	-	0.0%	33.3%
保健室で過ごしていることが多い	1	0	0	1	9.1%	-	0.0%	8.3%
精神的な不安定さがある	4	0	1	5	36.4%	-	100.0%	41.7%
身だしなみが整っていない	0	0	0	0	0.0%	-	0.0%	0.0%
学力が低下している	4	0	0	4	36.4%	-	0.0%	33.3%
宿題や持ち物の忘れ物が多い	0	0	0	0	0.0%	-	0.0%	0.0%
保護者の承諾が必要な書類等の提出遅れや提出忘れが多い	3	0	1	4	27.3%	-	100.0%	33.3%
学校に必要なものを家庭で用意してもらえない	1	0	0	1	9.1%	-	0.0%	8.3%
部活を途中でやめてしまった	1	0	0	1	9.1%	-	0.0%	8.3%
修学旅行や宿泊行事等を欠席する	1	0	0	1	9.1%	-	0.0%	8.3%
諸納金の支払いが遅れる、未払い	1	0	1	2	9.1%	-	100.0%	16.7%
居眠りが多い	0	0	0	0	0.0%	-	0.0%	0.0%
非常に疲れている様子がある	2	0	0	2	18.2%	-	0.0%	16.7%
その他	2	0	0	2	18.2%	-	0.0%	16.7%
未回答	1	0	0	1	9.1%	-	0.0%	8.3%

家族構成

	人数				割合			
	中学校	高等学校	その他	計	中学校	高等学校	その他	計
サンプル数	11	0	1	12	100.0%	-	100.0%	100.0%
母親	10	0	1	11	90.9%	-	100.0%	91.7%
父親	3	0	0	3	27.3%	-	0.0%	25.0%
祖母	2	0	0	2	18.2%	-	0.0%	16.7%
祖父	0	0	0	0	0.0%	-	0.0%	0.0%
きょうだい	10	0	0	10	90.9%	-	0.0%	83.3%
その他	1	0	0	1	9.1%	-	0.0%	8.3%
未回答	0	0	0	0	0.0%	-	0.0%	0.0%

ケアの状況を把握しているか

	人数				割合			
	中学校	高等学校	その他	計	中学校	高等学校	その他	計
サンプル数	11	0	1	12	100.0%	-	100.0%	100.0%
はい	9	0	1	10	81.8%	-	100.0%	83.3%
いいえ	2	0	0	2	18.2%	-	0.0%	16.7%
未回答	0	0	0	0	0.0%	-	0.0%	0.0%

ケアを必要としている人

	人数				割合			
	中学校	高等学校	その他	計	中学校	高等学校	その他	計
サンプル数	9	0	1	10	100.0%	-	100.0%	100.0%
母親	3	0	1	4	33.3%	-	100.0%	40.0%
父親	0	0	0	0	0.0%	-	0.0%	0.0%
祖母	1	0	0	1	11.1%	-	0.0%	10.0%
祖父	0	0	0	0	0.0%	-	0.0%	0.0%
きょうだい	7	0	0	7	77.8%	-	0.0%	70.0%
その他	1	0	0	1	11.1%	-	0.0%	10.0%
未回答	0	0	0	0	0.0%	-	0.0%	0.0%

ケアを必要としている人の状況

	人数				割合			
	中学校	高等学校	その他	計	中学校	高等学校	その他	計
サンプル数	9	0	1	10	100.0%	-	100.0%	100.0%
高齢（65歳以上）	0	0	0	0	0.0%	-	0.0%	0.0%
若い	5	0	0	5	55.6%	-	0.0%	50.0%
要介護（介護が必要な状態）	1	0	0	1	11.1%	-	0.0%	10.0%
認知症	1	0	0	1	11.1%	-	0.0%	10.0%
身体障がい	1	0	0	1	11.1%	-	0.0%	10.0%
知的障がい	0	0	0	0	0.0%	-	0.0%	0.0%
発達障がい	0	0	0	0	0.0%	-	0.0%	0.0%
精神疾患（疑い含む）	2	0	1	3	22.2%	-	100.0%	30.0%
依存症（疑い含む）	0	0	0	0	0.0%	-	0.0%	0.0%
精神疾患（疑い含む）・依存症（疑い含む）以外の病気やけが	0	0	0	0	0.0%	-	0.0%	0.0%
その他	2	0	0	2	22.2%	-	0.0%	20.0%
わからない	0	0	0	0	0.0%	-	0.0%	0.0%
未回答	0	0	0	0	0.0%	-	0.0%	0.0%

ケアの内容

	人数				割合			
	中学校	高等学校	その他	計	中学校	高等学校	その他	計
サンプル数	9	0	1	10	100.0%	-	100.0%	100.0%
家事（食事の準備や掃除、洗濯）	0	0	0	0	0.0%	-	0.0%	0.0%
きょうだいの世話や保育所等への送迎	7	0	0	7	77.8%	-	0.0%	70.0%
身体的な介護（入浴やトイレのお世話など）	5	0	0	5	55.6%	-	0.0%	50.0%
外出の付き添い（買い物、散歩など）	0	0	0	0	0.0%	-	0.0%	0.0%
通院の付き添い	1	0	0	1	11.1%	-	0.0%	10.0%
感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手や遊び相手になるなど）	1	0	0	1	11.1%	-	0.0%	10.0%
見守り	1	0	1	2	11.1%	-	100.0%	20.0%
通訳（日本語や手話など）	2	0	1	3	22.2%	-	100.0%	30.0%
金銭管理	0	0	0	0	0.0%	-	0.0%	0.0%
薬の管理	0	0	1	1	0.0%	-	100.0%	10.0%
医療的ケア（たんの吸引や経管栄養の管理など）	0	0	0	0	0.0%	-	0.0%	0.0%
家計のサポート（家計を支えるためにアルバイトや労働をするなど）	0	0	0	0	0.0%	-	0.0%	0.0%
福祉サービス（ホームヘルパーやデイサービス等）の申込みや連絡	0	0	0	0	0.0%	-	0.0%	0.0%
その他	0	0	0	0	0.0%	-	0.0%	0.0%
わからない	1	0	0	1	11.1%	-	0.0%	10.0%
未回答	0	0	0	0	0.0%	-	0.0%	0.0%

この世帯がどのような機関とつながっていたか

	人数				割合			
	中学校	高等学校	その他	計	中学校	高等学校	その他	計
サンプル数	11	0	1	12	100.0%	-	100.0%	100.0%
医療機関や訪問医療	2	0	0	2	18.2%	-	0.0%	16.7%
介護保険や障がいなどの福祉サービス	0	0	0	0	0.0%	-	0.0%	0.0%
その他	6	0	1	7	54.6%	-	100.0%	58.3%
わからない	3	0	0	3	27.3%	-	0.0%	25.0%
未回答	1	0	0	1	9.1%	-	0.0%	8.3%

外部機関へのつながり方

	人数				割合			
	中学校	高等学校	その他	計	中学校	高等学校	その他	計
サンプル数	11	0	1	12	100.0%	-	100.0%	100.0%
教育委員会経由	2	0	0	2	18.2%	-	0.0%	16.7%
S S W ・ S C 経由	0	0	1	1	0.0%	-	100.0%	8.3%
学校から直接連絡	7	0	0	7	63.6%	-	0.0%	58.3%
その他	2	0	0	2	18.2%	-	0.0%	16.7%
未回答	0	0	0	0	0.0%	-	0.0%	0.0%

学校が直接連携した機関はどこか(つないだ機関)

	人数				割合			
	中学校	高等学校	その他	計	中学校	高等学校	その他	計
サンプル数	11	0	1	12	100.0%	-	100.0%	100.0%
教育委員会	1	0	0	1	9.1%	-	0.0%	8.3%
S S W、S C	5	0	1	6	45.5%	-	100.0%	50.0%
各区の福祉部門（保健センターを除く）	3	0	1	4	27.3%	-	100.0%	33.3%
各区の保健部門（保健センター）	2	0	0	2	18.2%	-	0.0%	16.7%
教育支援センター（適応指導教室）	1	0	0	1	9.1%	-	0.0%	8.3%
フリースクール・子ども食堂などの民間団体・施設	0	0	0	0	0.0%	-	0.0%	0.0%
民生委員	0	0	0	0	0.0%	-	0.0%	0.0%
医療機関	0	0	0	0	0.0%	-	0.0%	0.0%
警察や刑事司法関係機関	0	0	0	0	0.0%	-	0.0%	0.0%
その他	3	0	0	3	27.3%	-	0.0%	25.0%
未回答	0	0	0	0	0.0%	-	0.0%	0.0%

問13 (6) ~ (9)

56~57ページを参照

問14 ヤングケアラーを把握していない理由

条件 (問12-3)

	人数				割合			
	中学校	高等学校	その他	計	中学校	高等学校	その他	計
サンプル数	40	3	1	44	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
学校において、「ヤングケアラー」の概念や支援対象としての認識が不足している	6	0	0	6	15.0%	0.0%	0.0%	13.6%
不登校やいじめなどに比べ緊急性が高くないため、「ヤングケアラー」に関する実態の把握が後回しになる	3	0	0	3	7.5%	0.0%	0.0%	6.8%
家族内のことで問題が表に出にくく、実態の把握が難しい	39	2	1	42	97.5%	66.7%	100.0%	95.5%
ヤングケアラーである子ども自身やその家族が「ヤングケアラー」という問題を認識していない	15	2	0	17	37.5%	66.7%	0.0%	38.6%
その他	2	1	0	3	5.0%	33.3%	0.0%	6.8%
未回答等	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問15 ヤングケアラー支援のために必要なこと

	人数				割合			
	中学校	高等学校	その他	計	中学校	高等学校	その他	計
サンプル数	97	7	7	111	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
子ども自身がヤングケアラーについて知ること	80	6	5	91	82.5%	85.7%	71.4%	82.0%
保護者がヤングケアラーについて知ること	73	4	6	83	75.3%	57.1%	85.7%	74.8%
教職員がヤングケアラーについて知ること	69	4	4	77	71.1%	57.1%	57.1%	69.4%
学校にヤングケアラーが何人いるか把握すること	35	2	3	40	36.1%	28.6%	42.9%	36.0%
S S WやS Cなどの専門職の配置が充実すること	42	2	3	47	43.3%	28.6%	42.9%	42.3%
子どもが教員に相談しやすい関係をつくること	55	3	4	62	56.7%	42.9%	57.1%	55.9%
ヤングケアラーについて検討する組織を校内につくること	6	0	0	6	6.2%	0.0%	0.0%	5.4%
学校にヤングケアラー本人や保護者が相談できる窓口があること	22	3	2	27	22.7%	42.9%	28.6%	24.3%
学校がヤングケアラーの支援について相談できる機関があること	37	4	4	45	38.1%	57.1%	57.1%	40.5%
ヤングケアラーを支援するN P Oなどの団体が増えること	18	3	4	25	18.6%	42.9%	57.1%	22.5%
福祉と教育の連携を進めること	18	0	0	18	18.6%	0.0%	0.0%	16.2%
その他	7	0	0	7	7.2%	0.0%	0.0%	6.3%
特になし	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
未回答等	4	1	0	5	4.1%	14.3%	0.0%	4.5%

V 資料（調査票及び協力依頼文）

【生徒用】中高生の生活実態に関するアンケート調査

(札幌市ヤングケアラーに関する実態調査)

札幌市では「子どもの権利条例」をつくり、子どもの権利を大切にしながら、子どもたち一人ひとりが安心して暮らし、健やかに成長していくまちを目指しています。

このアンケート調査は、札幌市立の中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校(中学部・高等部)に通う生徒を対象に実施しており、みなさんに学校や家庭での生活状況の中で抱える悩みや困りごとなど(特に家族の方のお世話に関すること)をお聞かせいただき、それらの解決に必要な支援策を検討するために行うものです。

調査結果は、これからの札幌をより一層「子どもにやさしいまち」にしていくために役立てていきたいと考えていますので、回答のご協力をお願いします。

調査の回答期限

返信用封筒に調査票を入れて、**令和3年11月30日(火)まで**

に郵便ポストに投函してください。(切手は不要です)

◆この調査に関するお知らせ

- ・調査は無記名で行います。回答は自由です。
回答しなくてもあなたに不利益は全くありません。
- ・答えにくい質問は答えなくても構いません。無理のない範囲でご協力をお願いします。
- ・集計データを統計的に処理して行いますので、個人が特定されることはありません。
- ・あなたの回答内容を先生が見ることもありません。
- ・集計結果は、札幌市のホームページなどで公表します。
調査結果は今後のヤングケアラー支援の取組に生かしていきます。
- ・同じ人が2回以上回答しないようにしてください。

《お問い合わせ先》

札幌市子ども未来局子どもの権利推進課(担当:長谷川、福島)

電話:011-211-2942 ファックス:011-211-2943

電子メール:kodomo.kenri@city.sapporo.jp

《発送者・調査業務受注者》

キャリアフィット株式会社(担当:小倉、青木、石田)

電話:011-206-9654 ファックス:011-211-4694

B. 家庭や家族のこと

※以下、今年の4月以降の状況についてお答えください。

問4 家族の中に高齢や病気、身体が不自由、^{おさな}幼いなどの理由により、お世話が必要な方はいますか。(あてはまる番号1つに○)

- | |
|---------------|
| 1. いる ⇒ 問5へ |
| 2. いない ⇒ 問16へ |

※お世話とは、以下のようなことです

家事（食事の準備や掃除、洗濯）	きょうだいの世話や保育所等への送迎など
身体的な介護（入浴やトイレのお世話など）	外出の付き添い（買い物、散歩など）
病院への付き添い	感情面のサポート（ぐちを聞く、話し相手、遊び相手になるなど）
見守り	通訳（日本語や手話など）
金銭管理	薬の管理（薬を小分けにしたり、渡したりするなど）
医療的ケア（たんの吸引や経管栄養の管理など）	家計のサポート（家計を支えるためにアルバイトや労働をするなど）
福祉サービス（ホームヘルパーやデイサービスなど）の申込みや連絡	その他の世話や手伝い

問5 問4で「1. いる」と回答した方にお聞きします。お世話を必要としている方は次のどなたですか。(義理の関係なども含む。)(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 母親 | 2. 父親 |
| 3. 祖母 | 4. 祖父 |
| 5. きょうだい | 6. その他() |

問6 お世話を必要としている方について教えてください。

※お世話を必要としている方が複数いる場合はそれぞれの方についてお答えください。

<問6①～③の記載方法について>

「問5 お世話を必要としている方」で選んだ方についてそれぞれ回答します。

問6①～③ 回答例（問5で祖母、祖父を選んだ場合）

記入箇所すべてに○をつける

	問5 お世話を必要としている方					
	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	その他
1. 高齢(65歳以上)			○	○		
2. 幼い						
3. 要介護(介護が必要な状態)			○	○		
4. 認知症			○	○		

問5で選ばなかった項目は記入しない

① お世話を必要としている方の状況を教えてください。(該当箇所すべてに○をつけてください)

	問5 お世話を必要としている方					
	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	その他
1. 高齢(65歳以上)						
2. 幼い						
3. 要介護(介護が必要な状態)						
4. 認知症						
5. 身体が不自由(身体障がい、視覚障がい、聴覚障がいを含む)						
6. 知的障がい						
7. 発達障がい(知的障がいを除く)						
8. 精神的な病気(気分の不安定さや極度の不安などがあり生活に支障がある状態)(疑い含む)						
9. 依存症(お酒の飲み過ぎや、かけごとのしすぎなどにより生活に支障の出る状態)(疑い含む)						
10. 上記以外の病気やけが						
11. その他()						

② その方へのお世話は誰がしていますか。(該当箇所すべてに○をつけてください)

	問5 お世話を必要としている方					
	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	その他
1. 母親						
2. 父親						
3. 祖母						
4. 祖父						
5. きょうだい						
6. しんせきの人						
7. 自分						
8. 福祉サービス(ヘルパーなど)を利用						
9. その他()						

1つでも「7.自分」に○をつけた → 引き続き③へお進みください。
 1つも「7.自分」に○をつけなかった → 問16へお進みください。

③ ②で「7. 自分」を含む回答をした方にお聞きします。あなたがしているお世話の内容を教えてください。(該当箇所すべてに○をつけてください)

	問5 お世話を必要としている方					
	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	その他
1. 家事(食事の準備や掃除、洗濯)						
2. きょうだいの世話や保育所等への送迎など						
3. 身体的な介護(入浴やトイレのお世話など)						
4. 外出の付き添い(買い物、散歩など)						
5. 病院への付き添い						
6. 感情面のサポート(ぐちを聞く、話し相手、遊び相手になるなど)						
7. 見守り						
8. 通訳(日本語や手話など)						
9. 金銭管理						
10. 薬の管理(薬を小分けにしたり、渡したりするなど)						
11. 医療的ケア(たんの吸引や経管栄養の管理など)						
12. 家計のサポート(家計を支えるためにアルバイトや労働をするなど)						
13. 福祉サービス(ホームヘルパーやデイサービスなど)の申込みや連絡						
14. その他()						

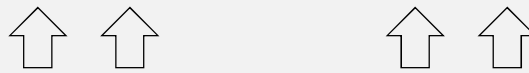
<問6④～⑦の記載方法について>

「問5 お世話を必要としている方」で選んだ方についてそれぞれ回答します。

問6④～⑦ 回答例（問5で祖母、祖父を選んだ場合）

記入箇所1つに○をつける

	問5 お世話を必要としている方					
	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	その他
1. はい				○		
2. いいえ						
3. わからない			○			



問5で選ばなかった項目は記入しない

- ④ お世話を必要としている方は、病院に通院したり訪問医療などを利用したりしていますか。(該当箇所1つに○をつけてください)

	問5 お世話を必要としている方					
	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	その他
1. はい ⇒ ⑤へ進む						
2. いいえ						
3. わからない						

- ⑤ ④で「1. はい」と答えた方にお聞きします。あなたは、病院の医師や看護師など、医療関係者の方々と、お世話を必要としている方のことでお話したことがありますか。(該当箇所1つに○をつけてください)

	問5 お世話を必要としている方					
	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	その他
1. はい						
2. いいえ						

- ⑥ お世話を必要としている方は、福祉サービス(ホームヘルパー、デイサービス等)などを利用していますか。(該当箇所1つに○をつけてください)

	問5 お世話を必要としている方					
	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	その他
1. はい ⇒ ⑦へ進む						
2. いいえ						
3. わからない						

- ⑦ ⑥で「1. はい」と答えた方にお聞きします。あなたは、ホームヘルパーやケアマネジャーなどの福祉サービス職員の方々と、お世話を必要としている方のことでお話したことがありますか。(該当箇所1つに○をつけてください)

	問5 お世話を必要としている方					
	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	その他
1. はい						
2. いいえ						

問7 あなたがしているお世話の状況について教えてください。

※お世話を必要としている方が複数いる場合も、それぞれの方ごとではなくまとめてお答えください。

- ① あなたがお世話を始めたのは、あなたが何歳の時からですか。(お世話を必要としている方が複数いる場合は、あなたが最初にお世話を始めた年齢を教えてください。また、はっきりとわからない場合は、だいたいの年齢でかまいません。)

()歳頃から

- ② あなたがお世話をしている日数を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

1. ほぼ毎日	2. 週に3~5日
3. 週に1~2日	4. 1か月に数日
5. その他()	

- ③ あなたは、平日(月~金など学校がある日)にお世話をどれくらいしていますか。だいたいの時間数をお答えください。

1. 1日()時間程度	2. わからない
3. 日によってずいぶんちがう	

- ④ あなたは、休日にお世話をどれくらいしていますか。だいたいの時間数をお答えください。
※休日とは、③の平日以外で学校がお休みの日です。

- | | |
|-----------------|----------|
| 1. 1日()時間程度 | 2. わからない |
| 3. 日によってずいぶんちがう | |

問8 あなたは、お世話をしていることで、次のようなことはありますか。(()内のあてはまるものに○)

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 学校に行けないことがある | (よくある ・ たまにある ・ ほぼない) |
| 2. 学校を遅刻・早退してしまう | (よくある ・ たまにある ・ ほぼない) |
| 3. 勉強する時間が取れない | (よくある ・ たまにある ・ ほぼない) |
| 4. 睡眠が十分に取れない | (よくある ・ たまにある ・ ほぼない) |
| 5. 友人と遊べないことがある | (よくある ・ たまにある ・ ほぼない) |
| 6. 部活や習い事が思うようにできない | (よくある ・ たまにある ・ ほぼない) |
| 7. 自分の自由になる時間が取れない | (よくある ・ たまにある ・ ほぼない) |
| 8. 自分が自由に過ごせる場所がない | (よくある ・ たまにある ・ ほぼない) |
| 9. 学校のことをどうでもいいと思うことがある | (よくある ・ たまにある ・ ほぼない) |
| 10. その他() | |

問9 お世話をしていることが影響して、あなたの今後の進路について考えていることをお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--------------------------------------|--|
| 1. 進学をあきらめ、就職を考えている | |
| 2. 進学や就職をあきらめ、お世話に専念しようと考えている | |
| 3. 進学先は、自宅から通えるところを選択しようと考えている | |
| 4. 就職先は、自宅から通えるところを選択しようと考えている | |
| 5. 進学先は、自宅外から通えるところを選択しようと考えている | |
| 6. 就職先は、自宅外から通えるところを選択しようと考えている | |
| 7. 進学先は、お世話の経験から、医療や福祉関係を選択しようと考えている | |
| 8. 就職先は、お世話の経験から、医療や福祉関係を選択しようと考えている | |
| 9. 特に進路に影響は受けていない | |
| 10. その他() | |

問10 あなたは、お世話をするということについて、次のようなことを感じていますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------|-------------|
| 1. やりがいを感じている | 2. 楽しい |
| 3. 充実している | 4. 身体的につらい |
| 5. 精神的につらい | 6. 時間的余裕がない |
| 7. 特に感じていない | 8. その他() |

問11 あなたは、お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを誰かに相談したことはありますか。(あてはまる番号1つに○)

- 1. ある ⇒ 問12へ
- 2. ない ⇒ 問13へ

問12 問11で「1. ある」と回答した方にお聞きします。その相談相手は誰ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|------------------------|---------------------------------|
| 1. 家族(母、父、祖母、祖父、きょうだい) | 2. しんせきの人(おじ、おばなど) |
| 3. 友人 | 4. 学校の先生(保健室の先生以外) |
| 5. 保健室の先生 | 6. スクールソーシャルワーカーや
スクールカウンセラー |
| 7. 相談窓口(電話) | 8. 相談窓口(SNS、メール) |
| 9. 医師や看護師、その他病院の人 | 10. ヘルパーやケアマネジャー、
福祉サービスの人 |
| 11. 役所や保健センターの人 | 12. 近所の人 |
| 13. SNS上での知り合い | 14. その他() |

問13 問11で「2. ない」と回答した方にお聞きします。相談していない理由を教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------------------|------------------------|
| 1. 誰かに相談するほどの悩みではない | 2. 家族外の人に相談するような悩みではない |
| 3. 誰に相談するのがよいかわからない | 4. 相談できる人が身近にいない |
| 5. 家族のこのため、話しにくい | 6. 家族のことを知られたくない |
| 7. 家族に対して偏見を持たれたくない | 8. 相談しても状況が変わると思わない |
| 9. 相談しても状況を理解してもらえないと思わない | 10. 相談した相手を困らせたくない |
| 11. その他() | |

問14 次の人は、あなたが家族をお世話していることについて、知っていると思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------------------------|--------------------|
| 1. 学校の先生(保健室の先生以外) | 2. 保健室の先生 |
| 3. スクールソーシャルワーカーや
スクールカウンセラー | 4. しんせきの人(おじ、おばなど) |
| 5. SNS上での知り合い | 6. 医師や看護師、その他病院の人 |
| 7. ヘルパーやケアマネジャー、
福祉サービスの人 | 8. その他() |
| 9. 1～8の人で、知っている人はいないと思う | |

問15 あなたは、お世話をしていることに関して、学校の先生や周りの大人にしてほしいこと(支援してほしいこと)はありますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 自分の今の状況について話を聞いてほしい
2. 家族のお世話について相談にのってほしい
3. 家族の病気や障がい、お世話の仕方などについて分かりやすく説明してほしい
4. 家族での相談や、話し合いのときにいっしょに参加してほしい
5. 自分が行っているお世話のすべてを代わってくれる人やサービスがほしい
6. 自分が行っているお世話の一部を代わってくれる人やサービスがほしい
⇒ 具体的にどんなお世話、もしくはどんな時ですか
()
7. 自由に使える時間がほしい
8. 自分の自由に過ごせる場所がほしい
9. 進路や就職など将来の相談にのってほしい
10. 学校の勉強や受験勉強など学習のサポートをしてほしい
11. 家庭への金銭面での支援をしてほしい
12. その他()
13. 特にない
14. わからない

問16 みなさんにお聞きします。現在、悩んだり困ったりしていることはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 友人との関係のこと
2. 学業成績のこと
3. 進路のこと
4. 部活動のこと
5. 学費(授業料)など学校生活に必要なお金のこと
6. 塾(通信教育やオンライン授業を含む)や習い事ができないこと
7. 家庭の経済的状況のこと
8. 自分と家族との関係のこと
9. 家族内の人間関係のこと(両親の仲が良くないなど)
10. 病気や障がいのある家族のこと
11. 自分のために使える時間が少ないこと
12. 自分が自由に過ごせる場所がないこと
13. 自分に自信が持てないこと
14. その他()
15. 特にない

C. ヤングケアラーについて

ヤングケアラーとは、法律上の定義はありませんが、一般に、「本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子ども」のことをいいます。

ヤングケアラーはこんな子どもたちです

家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どもをいいます。



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

©一般社団法人日本ケアラー連盟 / illustration : Izumi Shiga

問17 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありましたか。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|----------------------|--------|
| 1. 聞いたことがあり、内容も知っている | ⇒ 問18へ |
| 2. 聞いたことはあるが、よく知らない | ⇒ 問18へ |
| 3. 聞いたことはない | |

問18 問17で「1. 聞いたことがあり、内容も知っている」「2. 聞いたことはあるが、良く知らない」と回答した方にお聞きします。「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. テレビや新聞、ラジオ | 2. 雑誌や本 |
| 3. SNSやインターネット | 4. 広報やチラシ、掲示物 |
| 5. イベントや交流会など | 6. 学校 |
| 7. 友人・知人から聞いた | 8. その他() |

自由記載欄

(ヤングケアラーへの支援を広げていくために必要だと思うことや、あなたが家族のお世話をしていることで困っていること、要望等なんでも)



調査は以上で終了です。ご協力いただきありがとうございました。

学校におけるヤングケアラーへの対応に関するアンケート調査

(札幌市ヤングケアラーに関する実態調査)

調査の回答期限

返信用封筒に調査票を入れて、**令和3年11月30日(火)まで**
に郵便ポストに投函してください。(切手は不要です)

<お問い合わせ先>

札幌市子ども未来局子ども育成部子どもの権利推進課 (担当: 長谷川、福島)

電話: 011-211-2942 ファクス: 011-211-2943

<発送者・調査業務受注者>

キャリアフィット株式会社 (担当: 小倉、青木、石田)

電話: 011-206-9654 ファクス: 011-211-4694



I. 基本情報

問1 ご回答された方の役職をお教えてください。

1. 校長
2. 教頭
3. 主幹・主任教諭 (具体的に: _____)
4. 養護教諭
5. スクールソーシャルワーカー (SSW)
6. スクールカウンセラー (SC)
7. その他 (_____)

問2 貴校の学校区分をお教えてください。

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 中学校 | 2. 中等教育学校 |
| 3. 高等学校 (全日制) | 4. 高等学校 (定時制) |
| 5. 特別支援学校 | |

問3 全校生徒の人数についてお教えてください。(令和3年5月1日時点)

(_____) 人

Ⅱ. 支援が必要だと思われる子どもへの対応についてお伺いします。

問4 下記の子どもについて校内で共有しているケースはありますか。(複数選択可)

1. 学校を休みがちである
2. 遅刻や早退が多い
3. 保健室で過ごしていることが多い
4. 精神的な不安定さがある
5. 身だしなみが整っていない
6. 学力が低下している
7. 宿題や持ち物の忘れ物が多い
8. 保護者の承諾が必要な書類等の提出遅れや提出忘れが多い
9. 学校に必要なものを家庭で用意してもらえない
10. 部活を途中でやめてしまった
11. 修学旅行や宿泊行事等を欠席する
12. 諸納金の支払いが遅れる、未払い
13. 居眠りが多い
14. 非常に疲れている様子がある
15. その他 ()

問5 問4のケースについて、どのような体制で情報共有・対応の検討を行っていますか。最も多いケースでご回答ください。

1. 不登校の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している ⇒問6へ
2. 不登校以外の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している ⇒問6へ
3. 個別に対応している(決まった検討体制はない) ⇒問7へ

問6 問5で「1. 不登校の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している」、又は「2. 不登校以外の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している」と回答した方にお伺いします。校内ではどのような体制で情報共有・対応の検討をおこなっていますか。

(1) 情報共有・対応の検討の方法等(複数選択可)

1. スクリーニング会議※ ⇒問6(2)(ア)へ
2. ケース会議 ⇒問6(2)(イ)へ
3. 生徒指導部・委員会など ⇒問6(2)(ウ)へ
4. 児童生徒理解・支援シートなど共通様式による情報共有
5. 教育相談コーディネーターなど学校内・関係機関との連絡調整・会議開催の調整など子どもの抱える課題の解決に向けて調整役として活動する教職員の配置
6. その他 () ⇒問6(エ)へ

※すべての子どもを対象として、問題の未然防止のために、データに基づいて、潜在的に支援の必要な子どもや家庭を適切な支援につなぐための迅速な識別を行う会議。

問 8 問 4 のケースについて、学校以外の関係機関と連携して、必要に応じて情報共有や対応の検討を行うための体制がありますか。それぞれのケースについて、お答えください。また、連携体制がある場合は、連携する関係機関を選択肢からお選びください。(複数選択可)

	体制 (1つに○)	関係機関 (あてはまる番号を記入)
ア. 不登校のケース	1. ある _____ 2. 特にない	→
イ. その他 ()	1. ある _____ 2. 特にない	→

[関係機関：選択肢]

1. 教育委員会
2. S S W、S C
3. 各区の福祉部門 (4を除く)
4. 各区の保健部門 (保健センター)
5. 各区家庭児童相談室 (要対協調整機関/虐待対応部門)
6. 教育支援センター (適応指導教室)
7. フリースクール・子ども食堂などの民間団体・施設
8. 児童相談所
9. 民生委員
10. 医療機関
11. 警察や刑事司法関係機関
12. その他 ()

Ⅲ. ヤングケアラーについてお伺いします。

問9 貴校では「ヤングケアラー」という概念を認識していますか。

1. 言葉を知らない ⇒問12へ
2. 言葉を聞いたことがあるが、具体的には知らない ⇒問12へ
3. 言葉は知っているが、学校としては特別な対応をしていない ⇒問12へ
4. 言葉を知っており、学校として意識して対応している ⇒問10へ

問10 問9で「4. 言葉を知っており、学校として意識して対応している」と回答した方にお伺いします。「ヤングケアラー」と思われる子どもの実態を把握していますか。

1. 把握している ⇒問11へ
2. 「ヤングケアラー」と思われる子どもはいるが、その実態は把握していない ⇒問12へ
3. 該当する子どもはいない（これまでもいなかった） ⇒問12へ


問11 問10で「1. 把握している」と回答した方にお伺いします。「ヤングケアラー」と思われる子どもをどのように把握していますか。

1. アセスメントシートやチェックリストなどのツールを用いている
2. 特定のツールはないが、できるだけ「ヤングケアラー」の視点を持って検討・対応している
3. その他（)

問12 ヤングケアラーを把握していない方も含め、全員にお伺いします。

ヤングケアラーとは、「本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子ども」のことを言います。ヤングケアラーの定義を踏まえて、以下の設問にお答えください。

(ヤングケアラーのイメージ(例))

 <p>障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている</p>	 <p>家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている</p>	 <p>障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている</p>	 <p>目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている</p>	 <p>日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている</p>
 <p>家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている</p>	 <p>アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している</p>	 <p>がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている</p>	 <p>障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている</p>	 <p>障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている</p>

©一般社団法人日本ケアラー連盟 / illustration : Izumi Shiga

ヤングケアラーの定義を踏まえて、現在、貴校にヤングケアラーと思われる（可能性を含めて）子どもはいますか。

- | | |
|----------|---------|
| 1. いる | ⇒問 13 へ |
| 2. いない | ⇒問 15 へ |
| 3. わからない | ⇒問 14 へ |

問 13 問 12 で「1. いる」と回答した方にお伺いします。

(1) ヤングケアラーと思われる子どもは何人程度いますか。

() 人程度

(2) (1)のうち、本来大人が担うと想定されるような家事や家族の世話などを日常的に行っていることで、学校に行けない、友達と遊ぶ時間がない、自身がしたいと思っていたクラブ活動ができない、宿題などの勉強に割く時間がつくれないなど、子ども自身の権利が守られていないと思われる子どもは何人程度いますか。

() 人程度

(3) ヤングケアラーと思われる子どもの状況は下記のうちどれですか。(複数選択可)

- | |
|--|
| 1. 障がいや病気のある家族に代わり、家事（買い物、料理、洗濯、掃除など）をしている |
| 2. 家族の代わりに、幼いきょうだいの世話をしている |
| 3. 家族の代わりに、障がいや病気のあるきょうだいの世話をしている |
| 4. 目を離せない家族の見守りや声かけをしている |
| 5. 家族の通訳をしている |
| 6. 家計を支えるために、アルバイト等をしている |
| 7. アルコール・薬物・ギャンブルなどの問題のある家族に対応している |
| 8. 病気の家族の看病をしている（たんの吸引や経管栄養の管理等、医療的ケアを含む） |
| 9. 障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている |
| 10. 障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている |
| 11. 精神的に不安定な家族のケアをしている |
| 12. 障がいや病気の家族の世話や介護のことをいつも気にかけている |
| 13. その他 () |

(4) ヤングケアラーと思われる子どもについて、具体的に学校以外の外部（区家庭児童相談室、児童相談所、教育委員会、区の福祉部門など）の支援につないだケースはありますか。(複数選択可)

- | | |
|--|--------|
| 1. 区家庭児童相談室又は児童相談所に児童虐待通告したケースがある | ⇒(5)①へ |
| 2. 児童虐待通告の対象とまで言えないが、学校以外の外部の支援につないだケースがある | ⇒(5)②へ |
| 3. 外部の支援にはつないでいない（学校内で対応している） | ⇒(6)へ |

(5) (4)で「1. 区家庭児童相談室又は児童相談所に児童虐待通告したケースがある」、又は「2. 児童虐待通告の対象とまで言えないが、学校以外の外部の支援につないだケースがある」と回答した方にお伺いします。それぞれの該当する直近のケースについて、1件ずつ（複数の場合は任意）お教えてください。

① 区家庭児童相談室又は児童相談所に児童虐待通告したケース

性別	1. 女性	2. 男性	3. その他
学年	1. 中学（ ）年	2. 高校（ ）年	
学校生活の状況 (複数選択可)	1. 学校を休みがちである 2. 遅刻や早退が多い 3. 保健室で過ごしていることが多い 4. 精神的な不安定さがある 5. 身だしなみが整っていない 6. 学力が低下している 7. 宿題や持ち物の忘れ物が多い 8. 保護者の承諾が必要な書類等の提出遅れや提出忘れが多い 9. 学校に必要なものを家庭で用意してもらえない 10. 部活を途中でやめてしまった 11. 修学旅行や宿泊行事等を欠席する 12. 諸納金の支払いが遅れる、未払い 13. 居眠りが多い 14. 非常に疲れている様子がある 15. その他（ ）		
家族構成 (すべて選択)	1. 母親	2. 父親	
	3. 祖母	4. 祖父	
	5. きょうだい	6. その他（ ）	
家庭での ケアの状況	① ケアの状況を把握しているか ⇒ はい ・ いいえ		
	② 「はい」の場合、ケアの具体的な内容 (すべて選択)		
	<u>(ア) ケアを必要としている人</u>		
	1. 母親	2. 父親	
	3. 祖母	4. 祖父	
	5. きょうだい	6. その他（ ）	
<u>(イ) ケアを必要としている人の状況</u>			
	1. 高齢（65歳以上）	2. 若い	
	3. 要介護（介護が必要な状態）	4. 認知症	
	5. 身体障がい	6. 知的障がい	
	7. 発達障がい	8. 精神疾患（疑い含む）	
	9. 依存症（疑い含む）	10. 8, 9以外の病気やけが	
	11. その他（ ）		
	12. わからない		

	<p>(ウ) ケアの内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 家事（食事の準備や掃除、洗濯） 2. きょうだいの世話や保育所等への送迎 3. 身体的な介護（入浴やトイレのお世話など） 4. 外出の付き添い（買い物、散歩など） 5. 通院の付き添い 6. 感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手や遊び相手になるなど） 7. 見守り 8. 通訳（日本語や手話など） 9. 金銭管理 10. 薬の管理 11. 医療的ケア（たんの吸引や経管栄養の管理など） 12. 家計のサポート（家計を支えるためにアルバイトや労働をするなど） 13. 福祉サービス（ホームヘルパーやデイサービス等）の申込みや連絡 14. その他（ ） 15. わからない
ヤングケアラーと気づいた理由 ・きっかけ	
この世帯がどのような機関とつながっていたか (複数選択可)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療機関や訪問医療 2. 介護保険や障がいなどの福祉サービス 3. その他（ ） 4. わからない
学校が直接連携した機関はどこか (つないだ機関) (複数選択可)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育委員会 2. S S W、S C 3. 各区の福祉部門（4を除く） 4. 各区の保健部門（保健センター） 5. 教育支援センター（適応指導教室） 6. フリースクール・子ども食堂などの民間団体・施設 7. 民生委員 8. 医療機関 9. 警察や刑事司法関係機関 10. その他（ ）
区家庭児童相談室 又は児童相談所への の通告ルート	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育委員会経由 2. S S W・S C経由 3. 学校から直接連絡 4. その他（ ）
学校で行った支援 (区家児相、児相との 連携も含めて)	
支援した結果 子どもの変化	

学校から見た 支援の難しさ	
------------------	--

(6) (4)で「3. 外部の支援にはつないでいない（学校内で対応している）」と回答した方にお伺いします。外部の支援につながらなかった理由をお教えてください。また、どのように対応しているのかお教えてください。

ア. 理由	
イ. 対応方法	

(7) ヤングケアラーの把握や支援にあたって工夫していること、気を付けていることはどのようなことですか。具体的にお答えください。

--

(8) ヤングケアラーの把握や支援にあたって難しいと感じることはどのようなことですか。具体的にお答えください。

--

(9) 問4の選択肢は、「ヤングケアラー」と思われる子どもを把握するためのチェック項目として作成したのですが、追加すべき項目や分かりにくい点や案があればお書きください。

ア. ご意見	
イ. 変更項目案	
ウ. 追加項目案	

[参考：問4の選択肢]

1. 学校を休みがちである	2. 遅刻や早退が多い
3. 保健室で過ごしていることが多い	4. 精神的な不安定さがある
5. 身だしなみが整っていない	6. 学力が低下している
7. 宿題や持ち物の忘れ物が多い	8. 保護者の承諾が必要な書類等の提出遅れや提出忘れが多い
9. 学校に必要なものを家庭で用意してもらえない	11. 修学旅行や宿泊行事等を欠席する
10. 部活を途中でやめてしまった	13. 居眠りが多い
12. 諸納金の納入が遅れる、未払い	
14. 非常に疲れている様子がある	

問 14 問 12 で「3. わからない」と回答した方にお伺いします。その理由をお教えてください。(複数選択可)

1. 学校において、「ヤングケアラー」の概念や支援対象としての認識が不足している
2. 不登校やいじめなどに比べ緊急性が高くないため、「ヤングケアラー」に関する実態の把握が後回しになる
3. 家族内のことで問題が表に出にくく、実態の把握が難しい
4. ヤングケアラーである子ども自身やその家族が「ヤングケアラー」という問題を認識していない
5. その他 ()

問 15 ヤングケアラーを支援するために、必要だと思うことはどのようなことですか。(複数選択可)

1. 子ども自身がヤングケアラーについて知ること
2. 保護者がヤングケアラーについて知ること
3. 教職員がヤングケアラーについて知ること
4. 学校にヤングケアラーが何人いるか把握すること
5. SSWやSCなどの専門職の配置が充実すること
6. 子どもが教員に相談しやすい関係をつくること
7. ヤングケアラーについて検討する組織を校内につくること
8. 学校にヤングケアラー本人や保護者が相談できる窓口があること
9. 学校がヤングケアラーの支援について相談できる機関があること
10. ヤングケアラーを支援するNPOなどの団体が増えること
11. 福祉と教育の連携を進めること
(具体的に:)
12. その他 ()
13. 特にない

問 16 ヤングケアラーへの支援に関して自由にご意見をお書きください。

アンケートは以上で終了です。ご協力いただきありがとうございました。

【生徒用】中高生の生活実態に関するアンケート調査 ご協力をお願い

(札幌市ヤングケアラーに関する実態調査)

札幌市では「子どもの権利条例」をつくり、子どもの権利を大切にしながら、子どもたち一人ひとりが安心して暮らし、健やかに成長していくまちを目指しています。

このアンケート調査は、札幌市立の中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校(中学部・高等部)に通う生徒を対象に実施しており、みなさんに学校や家庭での生活状況の中で抱える悩みや困りごとなど(特に家族の方のお世話に関すること)をお聞かせいただき、それらの解決に必要な支援策を検討するために行うものです。

調査結果は、これからの札幌をより一層「子どもにやさしいまち」にしていくために役立てていきたいと考えていますので、お手数ですが、回答のご協力をお願いします。

◆調査方法

- ・次のURL にアクセス、又は2次元バーコードを読み取って、アンケートフォームに直接回答を入力してください。

回答用 URL

<https://questant.jp/q/LC1LJGR7>

2次元バーコード



◆注意事項

- ・同じ人が2回以上回答しないようにしてください。
- ・筆記での回答を希望する場合は、紙の調査票と返信用の封筒を配布しますので、先生に声をかけてください。

◆調査の回答期限

令和3年11月30日(火)まで

◆この調査に関するお知らせ

- ・調査は無記名で行います。回答は自由です。
回答しなくてもあなたに不利益は全くありません。
- ・答えにくい質問は答えなくても構いません。無理のない範囲でご協力をお願いします。
- ・集計はデータを統計的に処理して行いますので、個人が特定されることはありません。
- ・あなたの回答内容を先生が見ることもありません。
- ・集計結果は、札幌市のホームページなどで公表します。
調査結果は今後のヤングケアラー支援の取組に生かしていきます。

《お問い合わせ先》

札幌市子ども未来局子どもの権利推進課(担当:長谷川、福島)

電話:011-211-2942 ファクス:011-211-2943

電子メール:kodomo.kenri@city.sapporo.jp

《発送者・調査業務受注者》

キャリアフィット株式会社(担当:小倉、青木、石田)

電話:011-206-9654 ファクス:011-211-4694



さっぽろ市
02-G01-21-1819
R3-2-1194

大切にしよう！子どもの権利

「子どもの権利」とは、全ての子どもが生まれながらにもっている基本的な権利のことです。子どもを一人の人間として尊重し、守り・支え・育むため、札幌市では「子どもの権利条例」をつくり、子どもにやさしいまちを目指しています。



子どもにとって大切な4つの権利

●安心して生きる

- ・愛情をもって育まれること
- ・いじめや虐待から守られること

●豊かに育つ

- ・学び、遊び、休むこと
- ・夢に向かってチャレンジすること

●自分らしく生きる

- ・それぞれの性格や考え方など、その人らしさが大切にされること

●参加する

- ・自分に関わることに意見を言うこと
- ・伝えた意見が大切にされること

お互いの権利を大切にすること

権利は自分も他の人ももっています。権利がぶつかり合ったときは、お互いの気持ちや考えを尊重しながら話し合うことが大切です。こうした経験を通して子どもたちは成長していきます。

困ったときは相談しよう

困ったことやつらいことがあったら、いつでも学校の先生や家族、周りの人に相談しましょう。周りに相談相手がいない場合や、周りの人には話にくい相談をしたい場合は、以下の相談機関をご利用ください。

子どもアシストセンター（札幌市子どもの権利救済機関）

学校のこと、家庭のこと、友達や自分のことなど、様々な悩みの相談を受け付けています。

<例えば…>

- ・誰かに話をきいてほしい
- ・友達とケンカした
- ・家の人が分かってくれない

マスコットキャラクター
ハッピー



電話
相談

子ども専用（通話料無料）

0120-66-3783

※大人の方は（011-211-3783）

メール
相談

assist@city.sapporo.jp

LINE
相談



（子ども専用）

受付
時間

月～金 午前 10 時～午後 8 時
土 午前 10 時～午後 4 時
（日曜日・祝日・年末年始はお休み）

子ども安心ホットライン（札幌市児童相談所）

家庭のことなどで困っていることや、困っている友達のことなどについて、夜間も相談できる電話相談です。

<例えば…>

- ・お父さんやお母さんとの関係で困っている
- ・家族と一緒にいることがつらい

24 時間
対応

011-622-0010

24 時間子供 SOS ダイヤル（札幌市教育委員会）

いじめや不登校、その他様々な悩みについて相談のつてくれたり、援助したりしてくれる相談窓口です。

24 時間
対応

0120-0-78310